

第3次障がい者計画

第7期始良市障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画

策定のためのアンケート調査報告書

令和5年5月

始良市

目次

目次.....	3
第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査時期.....	1
3 調査対象.....	1
4 調査方法.....	1
5 調査票配布・回収状況.....	1
6 調査結果利用上の注意.....	1
第2章 調査結果.....	2
1 回答者について.....	2
2 対象者の属性について.....	4
(1)年齢.....	4
(2)居住場所.....	6
(3)同居者.....	7
(4)介護(支援)者.....	9
(5)障害者手帳所持等の状況.....	17
3 発達の不安や障がいに気づいたときについて.....	19
(1)障がいに気づいたきっかけ.....	19
(2)障がいに気づいた際の相談先.....	22
(3)障害者手帳の交付時期.....	24
(4)早期支援に必要なこと.....	25
4 医療に関する状況について.....	26
5 暮らしについて.....	32
(1)日中の生活状況.....	32
(2)充実すべき療育・教育・支援.....	34
(3)将来について気になること.....	36
6 外出について.....	40
(1)外出時の困りごと.....	40
(2)外出時に必要な支援・サービス.....	46
7 就労について.....	48
(1)就労状況.....	48
(2)今後の就労希望.....	49
(3)必要な就労支援.....	50

8 障害福祉サービス等について	52
(1)サービス利用時の困りごと.....	52
(2)介護保険認定状況.....	56
9 相談相手について	57
10 成年後見制度について	61
11 情報の入手方法について	63
12 災害時の避難などについて.....	67
(1)自力での避難の可否	67
(2)災害時における支援者の有無	69
(3)災害発生時や避難所生活について不安に思うこと	72
13 権利擁護について	76
14 障がい者(児)のための取組について.....	80
(1)障がい者の自立に必要な取組	80
(2)障がい児の家族に対する必要な支援	84
(3)自由意見	86
資料編.....	100
1 障がい者調査・調査票	100
2 障がい児調査・調査票.....	114

第1章 調査の概要

1 調査の目的

障がい者の生活の状況や福祉に関する意向などを把握し、「第3次障がい者計画、第7期始良市障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画」の策定に必要な基礎資料を作成することを目的とする。

2 調査時期

令和5年2～3月

3 調査対象

始良市に在住する障がい者手帳所持者、自立支援医療受給者、難病の受給者証所持者、障害福祉サービス利用者及び障がい児通所支援サービス利用者から、障がい者調査の対象として18歳以上の市民800人、障がい児調査の対象として18歳未満の市民200人をそれぞれ抽出し、障がい児調査については、保護者を対象者として調査を実施した。

4 調査方法

郵送配布、郵送回収及びWEBフォームへの回答

5 調査票配布・回収状況

調査種別	障がい者調査（18歳以上）	障がい児調査（18歳未満）
配布数	800	200
有効回答数	390	99
有効回答率	48.8%	49.5%

6 調査結果利用上の注意

- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・2つ以上の回答を可とする設問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合がある。
- ・集計表においては、該当区分の数値が全体値と比較して10ポイント以上高い場合を赤、低い場合を青の網掛けで示している。

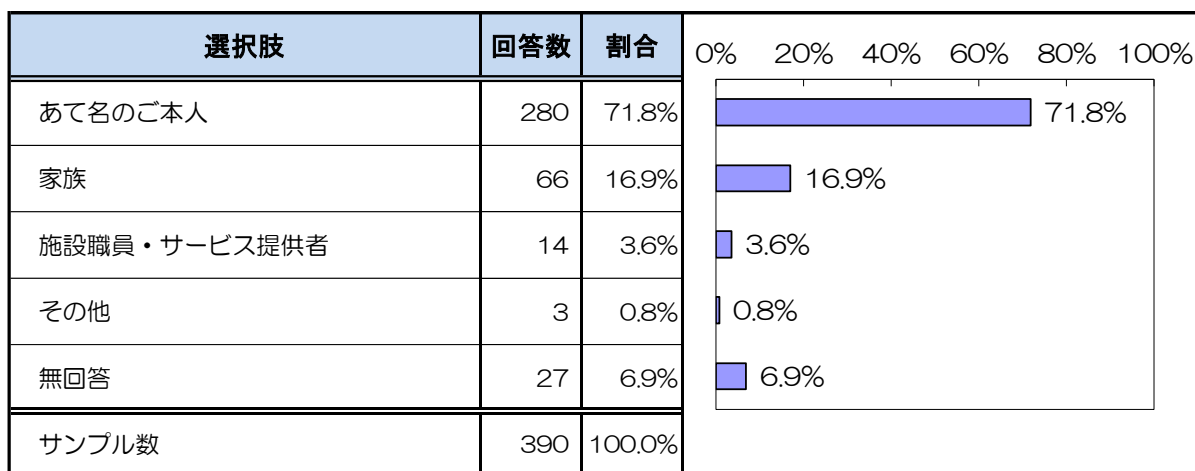
第2章 調査結果

1 回答者について

【障がい者調査】

問. この調査に回答していただく方はどなたですか。(〇は1つだけ)

「あて名のご本人」が 71.8%と最も高く、次いで、「家族」の 16.9%、「施設職員・サービス提供者」の 3.6%の順となっている。

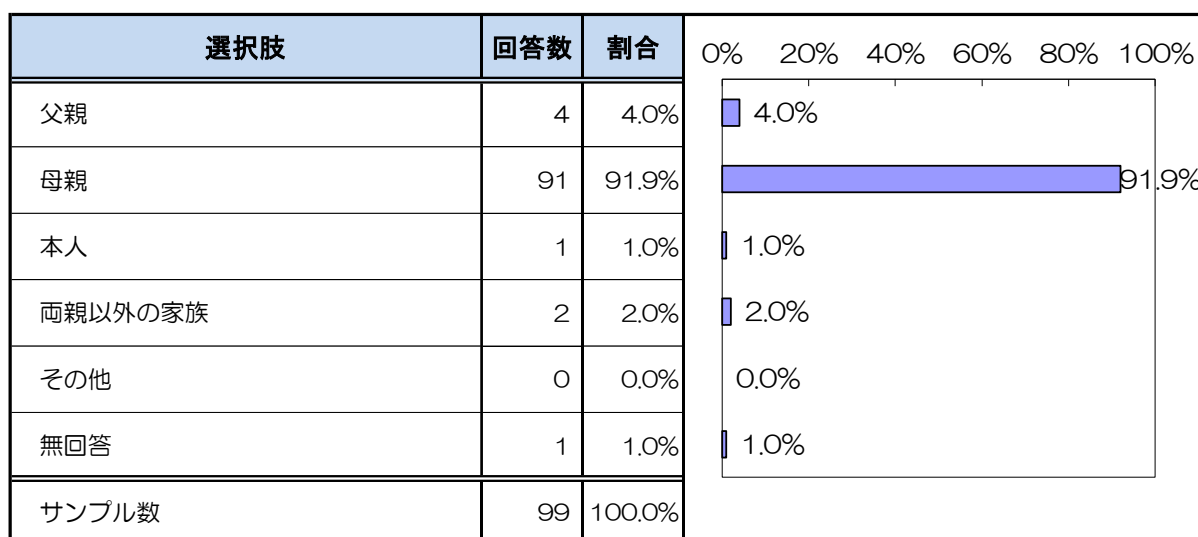


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
あて名のご本人 (回答の代筆者を含む)	280	35	89	153	190	35	34	27
	71.8%	68.6%	73.6%	72.5%	72.8%	49.3%	81.0%	79.4%
家族	66	13	19	33	47	20	3	4
	16.9%	25.5%	15.7%	15.6%	18.0%	28.2%	7.1%	11.8%
施設職員・サービス提供者	14	0	4	10	6	10	0	1
	3.6%	0.0%	3.3%	4.7%	2.3%	14.1%	0.0%	2.9%
その他	3	0	2	1	2	1	0	0
	0.8%	0.0%	1.7%	0.5%	0.8%	1.4%	0.0%	0.0%
無回答	27	3	7	14	16	5	5	2
	6.9%	5.9%	5.8%	6.6%	6.1%	7.0%	11.9%	5.9%

【障がい児調査】

問. この調査に回答していただく方はどなたですか。(〇は1つだけ)

「母親」が91.9%と最も高く、次いで、「父親」の4.0%、「両親以外の家族」の2.0%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
父親	4	1	3	0
	4.0%	3.7%	5.8%	0.0%
母親	91	26	47	18
	91.9%	96.3%	90.4%	94.7%
本人	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%
両親以外の家族	2	0	2	0
	2.0%	0.0%	3.8%	0.0%
その他	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	0
	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%

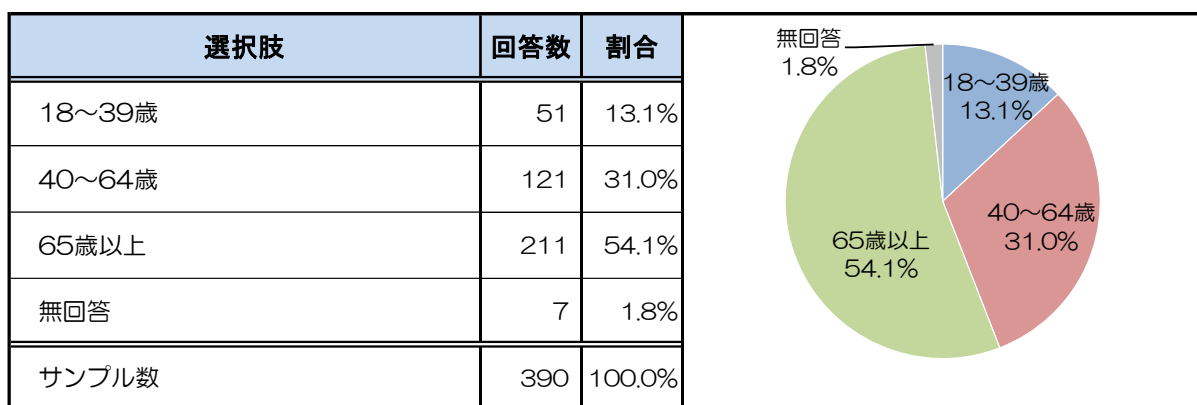
2 対象者の属性について

(1) 年齢

【障がい者調査】

問. あて名のご本人の年齢をお答えください。

「18～39歳」が13.1%、「40～64歳」が31.0%、「65歳以上」が54.1%となっている。

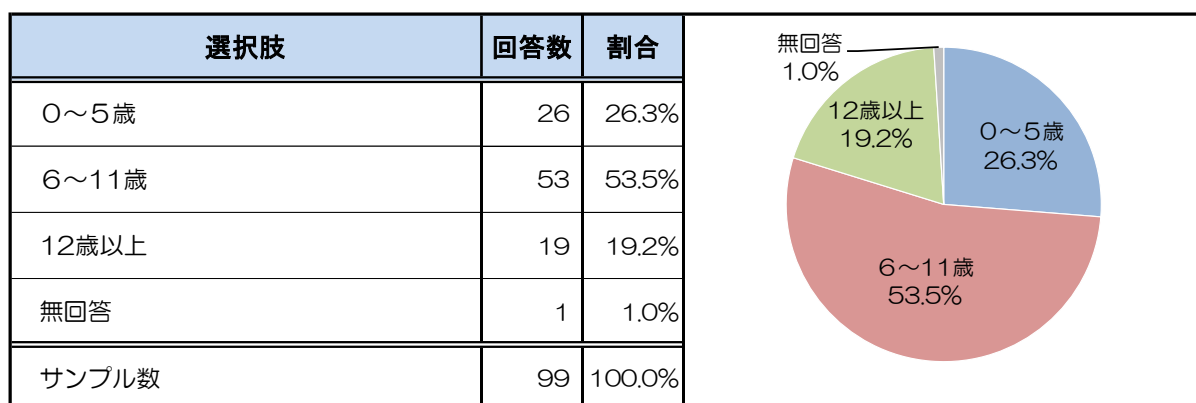


	単純集計 全体	年齢			手帳等所持状況			
		18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
18～39歳	51	51	0	0	11	28	14	1
	13.1%	100.0%	0.0%	0.0%	4.2%	39.4%	33.3%	2.9%
40～64歳	121	0	121	0	69	28	18	14
	31.0%	0.0%	100.0%	0.0%	26.4%	39.4%	42.9%	41.2%
65歳以上	211	0	0	211	179	14	8	19
	54.1%	0.0%	0.0%	100.0%	68.6%	19.7%	19.0%	55.9%
無回答	7	0	0	0	2	1	2	0
	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.4%	4.8%	0.0%

【障がい児調査】

問. お子さんの年齢をお答えください。

「0～5歳」が26.3%、「6～11歳」が53.5%、「12歳以上」が19.2%となっている。



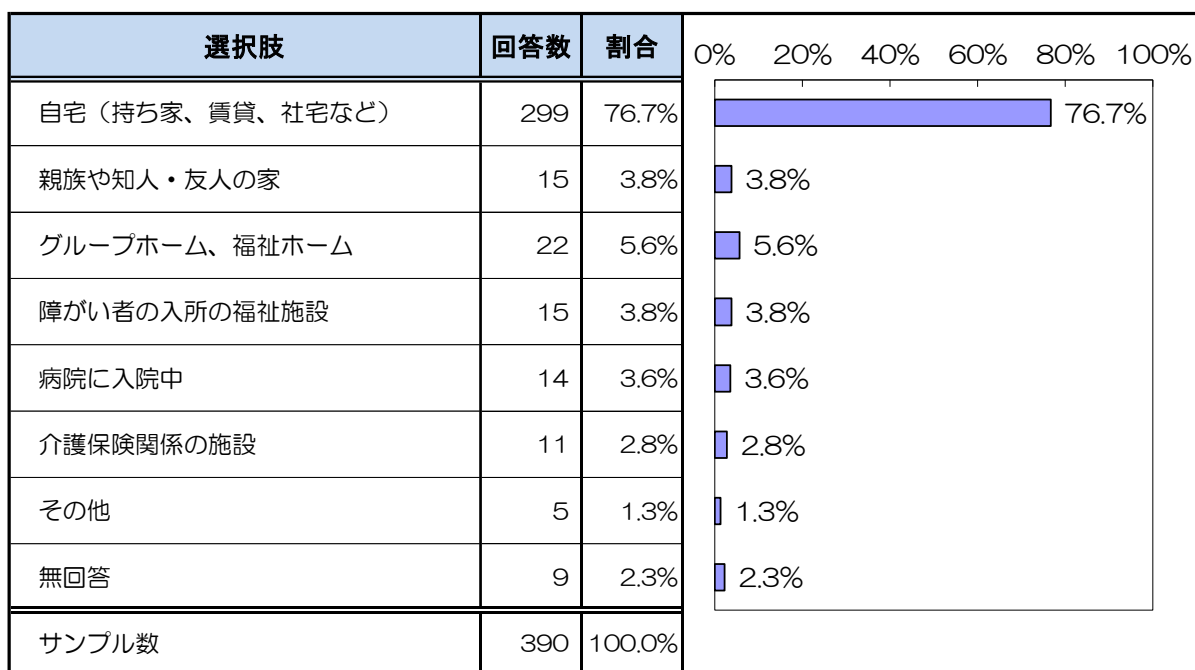
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	26	53	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～5歳	26	26	0	0
	26.3%	100.0%	0.0%	0.0%
6～11歳	53	0	53	0
	53.5%	0.0%	100.0%	0.0%
12歳以上	19	0	0	19
	19.2%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	1	0	0	0
	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 居住場所

【障がい者調査】

問. 現在、暮らしているところはどこですか。(〇は1つだけ)

「自宅（持ち家、賃貸、社宅など）」が76.7%と最も高く、次いで、「グループホーム、福祉ホーム」の5.6%、「親族や知人・友人の家」「障がい者の入所の福祉施設」の3.8%の順となっている。



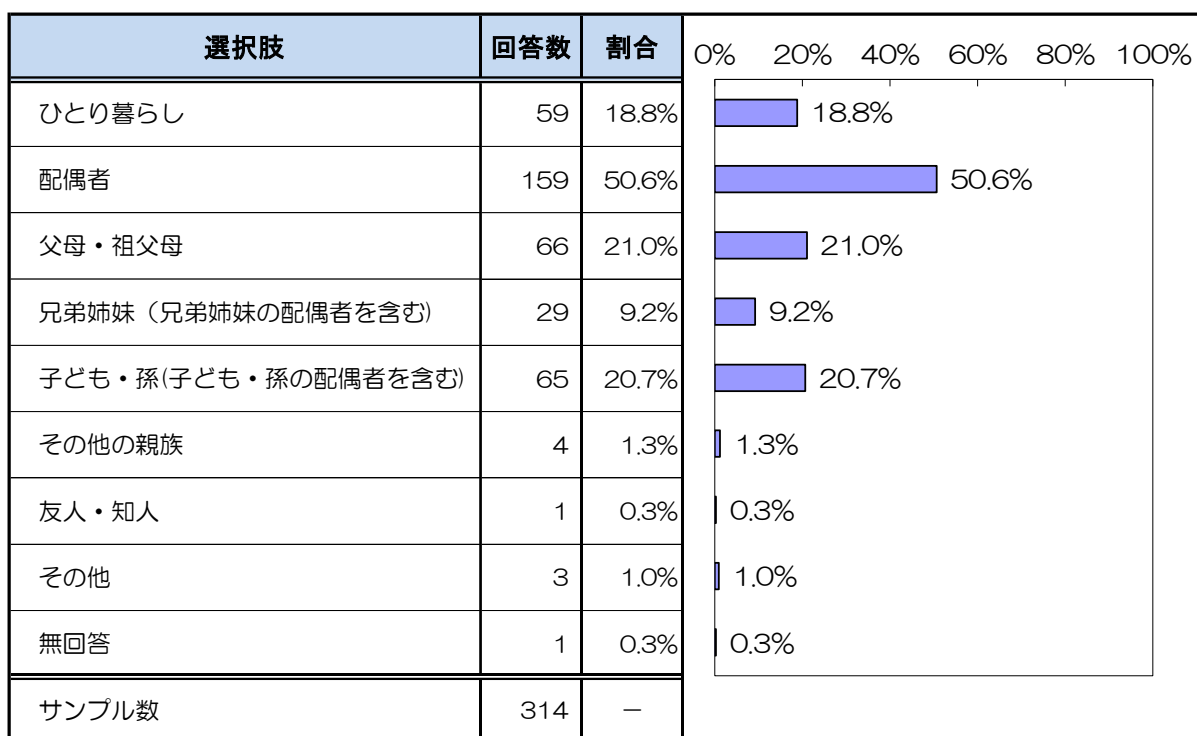
	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自宅（持ち家、賃貸、社宅など）	299	41	84	171	214	31	31	26
	76.7%	80.4%	69.4%	81.0%	82.0%	43.7%	73.8%	76.5%
親族や知人・友人の家	15	5	8	2	6	4	4	1
	3.8%	9.8%	6.6%	0.9%	2.3%	5.6%	9.5%	2.9%
グループホーム、福祉ホーム	22	3	13	6	5	18	2	1
	5.6%	5.9%	10.7%	2.8%	1.9%	25.4%	4.8%	2.9%
障がい者の入所の福祉施設	15	1	7	6	4	14	2	0
	3.8%	2.0%	5.8%	2.8%	1.5%	19.7%	4.8%	0.0%
病院に入院中	14	0	5	9	13	1	0	2
	3.6%	0.0%	4.1%	4.3%	5.0%	1.4%	0.0%	5.9%
介護保険関係の施設	11	0	1	10	9	1	1	4
	2.8%	0.0%	0.8%	4.7%	3.4%	1.4%	2.4%	11.8%
その他	5	1	1	3	4	1	0	0
	1.3%	2.0%	0.8%	1.4%	1.5%	1.4%	0.0%	0.0%
無回答	9	0	2	4	6	1	2	0
	2.3%	0.0%	1.7%	1.9%	2.3%	1.4%	4.8%	0.0%

(3) 同居者

【障がい者調査】

問. どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が50.6%と最も高く、次いで、「父母・祖父母」の21.0%、「子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む)」の20.7%の順となっている。

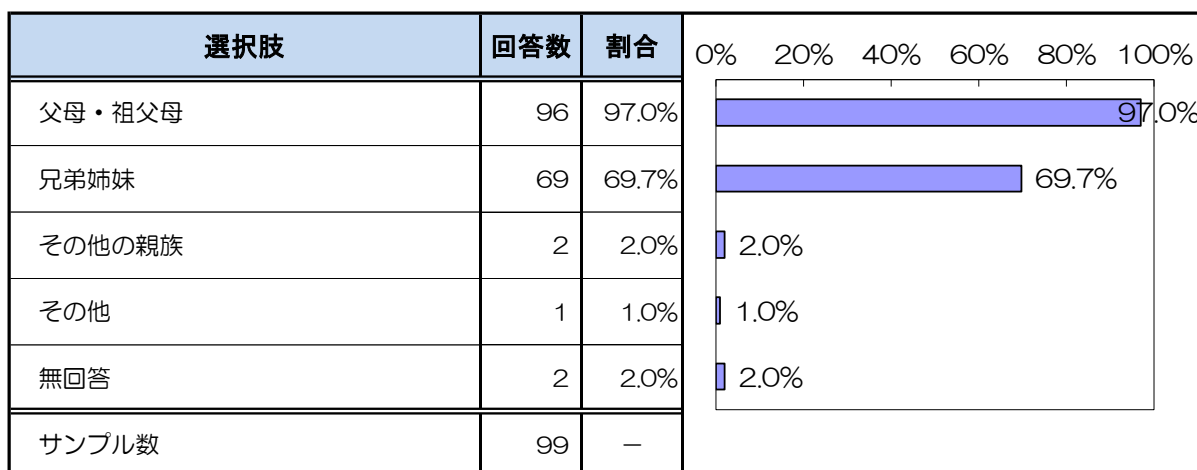


	単純集計 全体	年齢			手帳等所持状況			
		18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	314	46	92	173	220	35	35	27
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ひとり暮らし	59	8	17	34	38	6	9	3
	18.8%	17.4%	18.5%	19.7%	17.3%	17.1%	25.7%	11.1%
配偶者	159	2	40	117	141	2	4	20
	50.6%	4.3%	43.5%	67.6%	64.1%	5.7%	11.4%	74.1%
父母・祖父母	66	36	26	1	21	24	17	4
	21.0%	78.3%	28.3%	0.6%	9.5%	68.6%	48.6%	14.8%
兄弟姉妹(兄弟姉妹の配偶者を含む)	29	13	12	3	10	11	7	3
	9.2%	28.3%	13.0%	1.7%	4.5%	31.4%	20.0%	11.1%
子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む)	65	3	20	42	50	1	5	9
	20.7%	6.5%	21.7%	24.3%	22.7%	2.9%	14.3%	33.3%
その他の親族	4	1	2	1	2	1	1	0
	1.3%	2.2%	2.2%	0.6%	0.9%	2.9%	2.9%	0.0%
友人・知人	1	0	0	1	1	0	0	0
	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3	0	1	1	1	0	2	0
	1.0%	0.0%	1.1%	0.6%	0.5%	0.0%	5.7%	0.0%
無回答	1	0	0	1	1	0	0	0
	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%

【障がい児調査】

問. お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「父母・祖父母」が 97.0%と最も高く、次いで、「兄弟姉妹」の 69.7%、「その他の親族」の 2.0%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
父母・祖父母	96	27	50	19
	97.0%	100.0%	96.2%	100.0%
兄弟姉妹	69	20	35	14
	69.7%	74.1%	67.3%	73.7%
その他の親族	2	0	1	1
	2.0%	0.0%	1.9%	5.3%
その他	1	0	1	0
	1.0%	0.0%	1.9%	0.0%
無回答	2	0	1	0
	2.0%	0.0%	1.9%	0.0%

(4) 介護（支援）者

【障がい者調査】

問. ご本人の介護や支援をしている人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

具体的な介護・支援者については、「配偶者」が30.9%と最も高く、次いで、「子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）」の17.2%、「父母」の15.6%の順となっており、「介護や支援は必要ない」は28.0%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
配偶者	97	30.9%	30.9%
父母	49	15.6%	15.6%
祖父母	2	0.6%	0.6%
兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	29	9.2%	9.2%
子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	54	17.2%	17.2%
その他の親族	2	0.6%	0.6%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	17	5.4%	5.4%
施設の職員・世話人	22	7.0%	7.0%
友人・知人	5	1.6%	1.6%
その他	12	3.8%	3.8%
介護や支援は必要ない	88	28.0%	28.0%
無回答	26	8.3%	8.3%
サンプル数	314	—	

第2章 調査結果

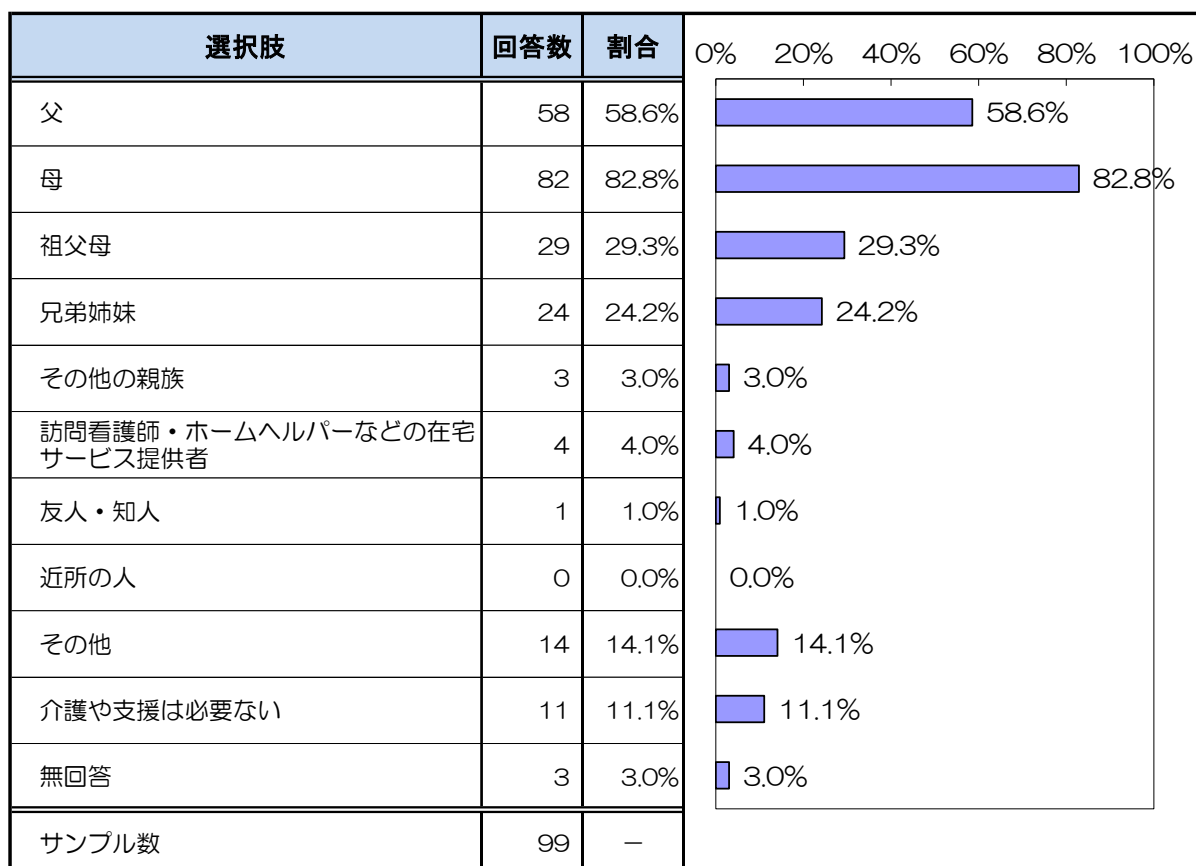
	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	314 100.0%	46 100.0%	92 100.0%	173 100.0%	220 100.0%	35 100.0%	35 100.0%	27 100.0%
配偶者	97 30.9%	1 2.2%	21 22.8%	75 43.4%	88 40.0%	1 2.9%	4 11.4%	15 55.6%
父母	49 15.6%	28 60.9%	19 20.7%	1 0.6%	18 8.2%	23 65.7%	12 34.3%	3 11.1%
祖父母	2 0.6%	1 2.2%	1 1.1%	0 0.0%	1 0.5%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%
兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	29 9.2%	11 23.9%	11 12.0%	7 4.0%	16 7.3%	10 28.6%	6 17.1%	3 11.1%
子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	54 17.2%	1 2.2%	11 12.0%	42 24.3%	46 20.9%	1 2.9%	6 17.1%	10 37.0%
その他の親族	2 0.6%	0 0.0%	1 1.1%	1 0.6%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	17 5.4%	3 6.5%	4 4.3%	10 5.8%	11 5.0%	4 11.4%	3 8.6%	3 11.1%
施設の職員・世話人	22 7.0%	11 23.9%	3 3.3%	8 4.6%	14 6.4%	10 28.6%	3 8.6%	1 3.7%
友人・知人	5 1.6%	1 2.2%	1 1.1%	2 1.2%	3 1.4%	0 0.0%	1 2.9%	1 3.7%
その他	12 3.8%	0 0.0%	7 7.6%	4 2.3%	7 3.2%	1 2.9%	2 5.7%	1 3.7%
介護や支援は必要ない	88 28.0%	9 19.6%	32 34.8%	46 26.6%	63 28.6%	5 14.3%	7 20.0%	4 14.8%
無回答	26 8.3%	4 8.7%	7 7.6%	15 8.7%	11 5.0%	3 8.6%	2 5.7%	0 0.0%

【障がい児調査】

問. お子さんの介護や支援をしている人はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

「母」が82.8%と最も高く、次いで、「父」の58.6%、「祖父母」の29.3%の順となっている。



第2章 調査結果

	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
父	58 58.6%	19 70.4%	27 51.9%	12 63.2%
母	82 82.8%	25 92.6%	40 76.9%	17 89.5%
祖父母	29 29.3%	6 22.2%	16 30.8%	7 36.8%
兄弟姉妹	24 24.2%	6 22.2%	10 19.2%	8 42.1%
その他の親族	3 3.0%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	4 4.0%	1 3.7%	1 1.9%	2 10.5%
友人・知人	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
近所の人	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	14 14.1%	4 14.8%	6 11.5%	4 21.1%
介護や支援は必要ない	11 11.1%	1 3.7%	8 15.4%	2 10.5%
無回答	3 3.0%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%

【障がい者調査】

(介護や支援をしている人がいる方)

問. 主に介護や支援をしている人はどなたですか。(〇は1つだけ)

「配偶者」が42.5%と最も高く、次いで、「父母」の19.5%、「子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む)」の14.0%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
配偶者	85	42.5%	42.5%
父母	39	19.5%	19.5%
祖父母	1	0.5%	0.5%
兄弟姉妹(兄弟姉妹の配偶者を含む)	6	3.0%	3.0%
子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む)	28	14.0%	14.0%
その他の親族	1	0.5%	0.5%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	9	4.5%	4.5%
施設の職員・世話人	4	2.0%	2.0%
友人・知人	0	0.0%	0.0%
その他	7	3.5%	3.5%
無回答	20	10.0%	10.0%
サンプル数	200	100.0%	

第2章 調査結果

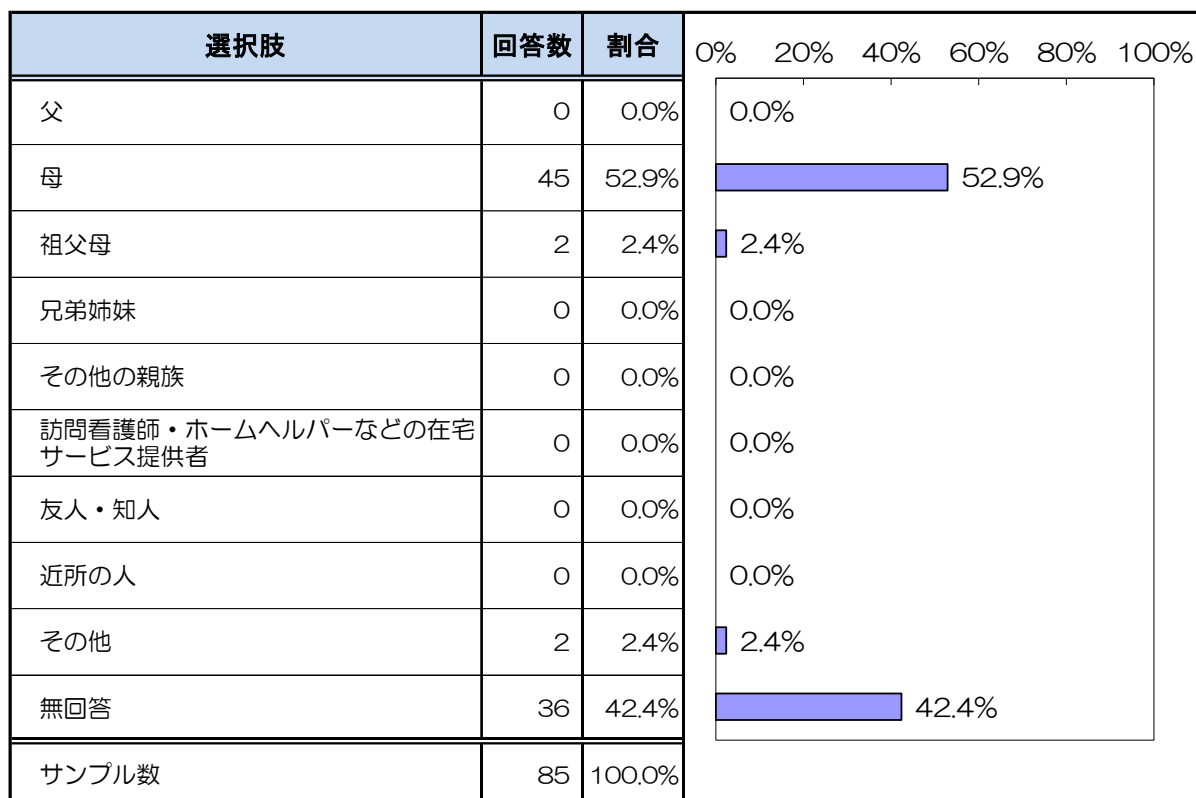
	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	200	33	53	112	146	27	26	23
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
配偶者	85	1	19	65	78	1	3	11
	42.5%	3.0%	35.8%	58.0%	53.4%	3.7%	11.5%	47.8%
父母	39	24	15	0	13	20	10	3
	19.5%	72.7%	28.3%	0.0%	8.9%	74.1%	38.5%	13.0%
祖父母	1	0	1	0	1	0	0	0
	0.5%	0.0%	1.9%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	6	0	2	4	6	1	0	1
	3.0%	0.0%	3.8%	3.6%	4.1%	3.7%	0.0%	4.3%
子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	28	0	3	25	25	0	2	4
	14.0%	0.0%	5.7%	22.3%	17.1%	0.0%	7.7%	17.4%
その他の親族	1	0	0	1	1	0	0	0
	0.5%	0.0%	0.0%	0.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	9	2	3	4	4	2	3	0
	4.5%	6.1%	5.7%	3.6%	2.7%	7.4%	11.5%	0.0%
施設の職員・世話人	4	1	2	1	2	0	2	0
	2.0%	3.0%	3.8%	0.9%	1.4%	0.0%	7.7%	0.0%
友人・知人	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	7	0	2	4	5	0	0	1
	3.5%	0.0%	3.8%	3.6%	3.4%	0.0%	0.0%	4.3%
無回答	20	5	6	8	11	3	6	3
	10.0%	15.2%	11.3%	7.1%	7.5%	11.1%	23.1%	13.0%

【障がい児調査】

(介護や支援をしている人がある方)

問. 主に介護や支援をしている人はどなたですか。(〇は1つだけ)

「母」が52.9%と最も高く、次いで、「祖父母」「その他」の2.4%の順となっている。



第2章 調査結果

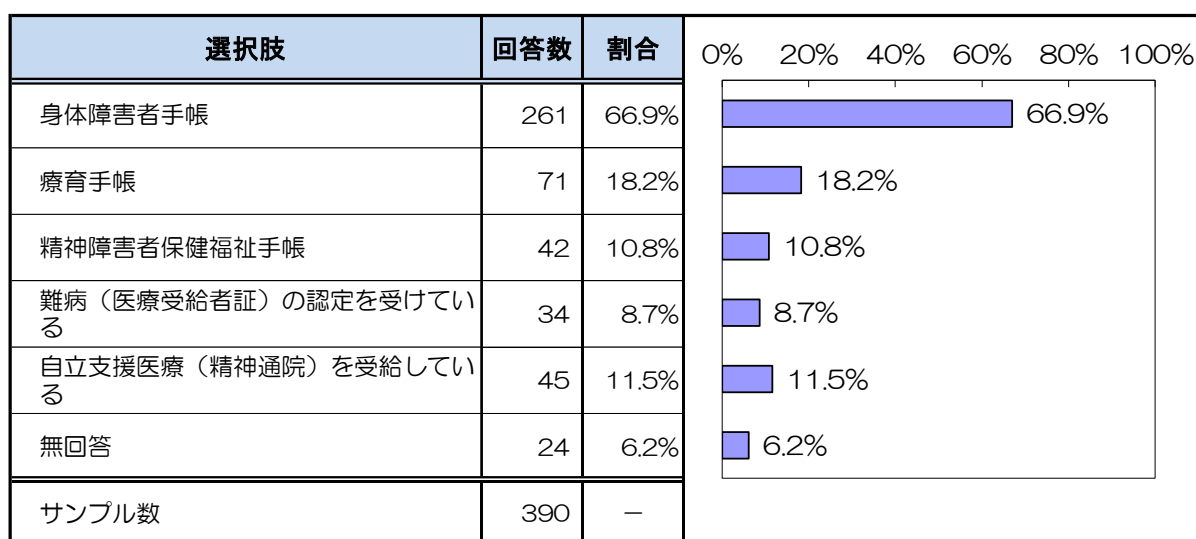
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	85 100.0%	26 100.0%	42 100.0%	17 100.0%
父	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
母	45 52.9%	16 61.5%	18 42.9%	11 64.7%
祖父母	2 2.4%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%
兄弟姉妹	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の親族	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
友人・知人	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
近所の人	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	2 2.4%	1 3.8%	1 2.4%	0 0.0%
無回答	36 42.4%	9 34.6%	21 50.0%	6 35.3%

(5) 障害者手帳所持等の状況

【障がい者調査】

問. お持ちの手帳や障がいについて、あてはまるものすべてに○をしてください。

「身体障害者手帳」が 66.9%と最も高く、次いで、「療育手帳」の 18.2%、「自立支援医療（精神通院）を受給している」の 11.5%の順となっている。

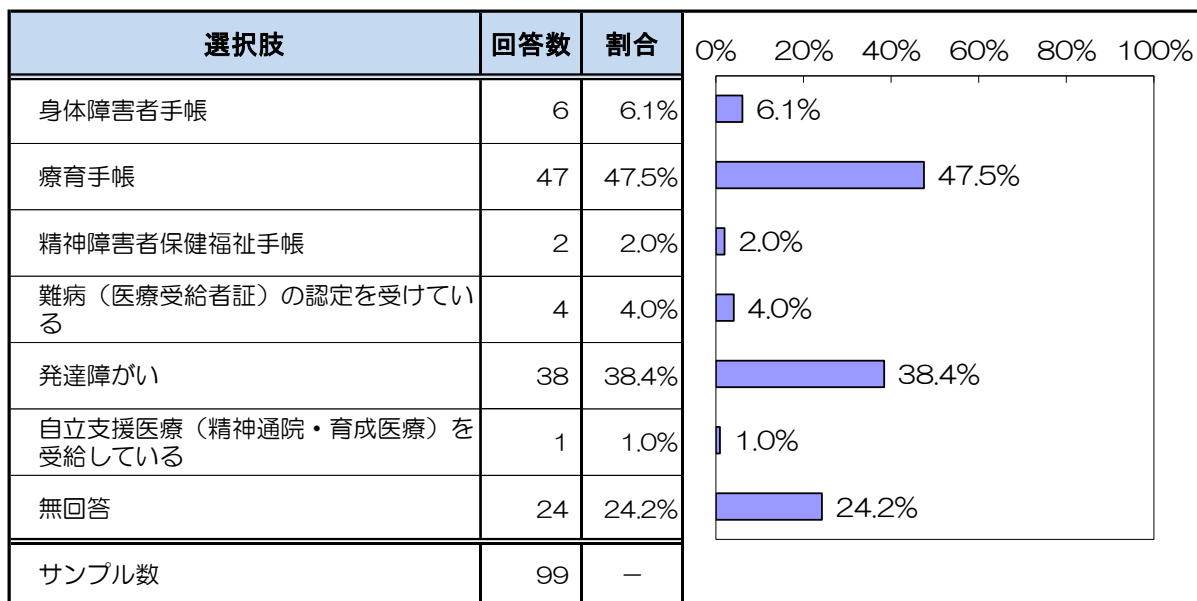


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
身体障害者手帳	261	11	69	179	261	17	3	31
	66.9%	21.6%	57.0%	84.8%	100.0%	23.9%	7.1%	91.2%
療育手帳	71	28	28	14	17	71	4	1
	18.2%	54.9%	23.1%	6.6%	6.5%	100.0%	9.5%	2.9%
精神障害者保健福祉手帳	42	14	18	8	3	4	42	2
	10.8%	27.5%	14.9%	3.8%	1.1%	5.6%	100.0%	5.9%
難病（医療受給者証）の認定を受けている	34	1	14	19	31	1	2	34
	8.7%	2.0%	11.6%	9.0%	11.9%	1.4%	4.8%	100.0%
自立支援医療（精神通院）を受給している	45	9	26	7	5	5	22	2
	11.5%	17.6%	21.5%	3.3%	1.9%	7.0%	52.4%	5.9%
無回答	24	3	5	15	0	0	0	0
	6.2%	5.9%	4.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【障がい児調査】

問. お子さんがお持ちの手帳や、医師から診断を受けているもので該当するものすべてに○をしてください。

「療育手帳」が 47.5%と最も高く、次いで、「発達障がい」の 38.4%、「身体障害者手帳」の 6.1%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
身体障害者手帳	6	1	2	3
	6.1%	3.7%	3.8%	15.8%
療育手帳	47	14	23	10
	47.5%	51.9%	44.2%	52.6%
精神障害者保健福祉手帳	2	0	2	0
	2.0%	0.0%	3.8%	0.0%
難病（医療受給者証）の認定を受けている	4	1	2	1
	4.0%	3.7%	3.8%	5.3%
発達障がい	38	9	24	5
	38.4%	33.3%	46.2%	26.3%
自立支援医療（精神通院・育成医療）を受給している	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%
無回答	24	7	11	5
	24.2%	25.9%	21.2%	26.3%

3 発達の不安や障がいに気づいたときについて

(1) 障がいに気づいたきっかけ

【障がい児調査】

問. お子さんの発達の不安や障がいに気付いたきっかけは何ですか。(〇は1つだけ)

「家族が気付いた」が 36.4%と最も高く、次いで、「保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員から話があった」の 24.2%、「定期健診（乳幼児健康診査）で話があった」の 13.1%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	
家族が気付いた	36	36.4%	36.4%
定期健診（乳幼児健康診査）で話があった	13	13.1%	13.1%
病院で医師から話があった	12	12.1%	12.1%
就学時健康診断の時に話があった	0	0.0%	0.0%
児童発達支援センターで話があった	1	1.0%	1.0%
保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員から話があった	24	24.2%	24.2%
知人からの話で気付いた	0	0.0%	0.0%
その他	4	4.0%	4.0%
無回答	9	9.1%	9.1%
サンプル数	99	100.0%	

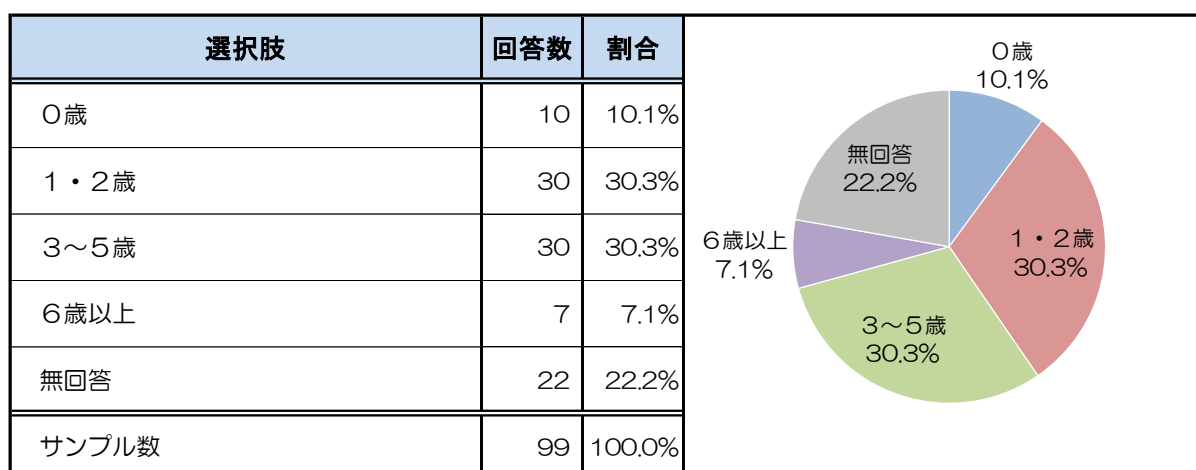
第2章 調査結果

	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
家族が気付いた	36 36.4%	10 37.0%	17 32.7%	8 42.1%
定期健診（乳幼児健康診査）で話があった	13 13.1%	3 11.1%	7 13.5%	3 15.8%
病院で医師から話があった	12 12.1%	4 14.8%	7 13.5%	1 5.3%
就学时健康診断の時に話があった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
児童発達支援センターで話があった	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員から話があった	24 24.2%	6 22.2%	15 28.8%	3 15.8%
知人からの話で気付いた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 4.0%	2 7.4%	0 0.0%	2 10.5%
無回答	9 9.1%	2 7.4%	6 11.5%	1 5.3%

【障がい児調査】

問. 発達の不安や障がいに気付いたときのお子さんの年齢

「1・2歳」「3～5歳」が30.3%と最も高く、次いで、「0歳」の10.1%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0歳	10	5	3	2
	10.1%	18.5%	5.8%	10.5%
1・2歳	30	12	12	5
	30.3%	44.4%	23.1%	26.3%
3～5歳	30	4	20	6
	30.3%	14.8%	38.5%	31.6%
6歳以上	7	3	3	1
	7.1%	11.1%	5.8%	5.3%
無回答	22	3	14	5
	22.2%	11.1%	26.9%	26.3%

(2) 障がいに気づいた際の相談先

【障がい児調査】

問. お子さんの発達の不安や障がいに気付いたとき、最初にどこに相談しましたか。
(○は1つだけ)

「家族・親族」が 28.3%と最も高く、次いで、「健康増進課（市の保健センターを含む）」の 23.2%、「医療機関」の 16.2%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
家族・親族	28	28.3%	28.3%
医療機関	16	16.2%	16.2%
健康増進課（市の保健センターを含む）	23	23.2%	23.2%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	11	11.1%	11.1%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センターを含む）	0	0.0%	0.0%
上記以外の市役所窓口等	0	0.0%	0.0%
保健所	0	0.0%	0.0%
児童発達支援センター	5	5.1%	5.1%
障害児相談支援事業所	0	0.0%	0.0%
お子さんが通っている学校	1	1.0%	1.0%
児童相談所	0	0.0%	0.0%
県こども総合療育センター（発達障害者支援センター）	2	2.0%	2.0%
その他	7	7.1%	7.1%
無回答	6	6.1%	6.1%
サンプル数	99	100.0%	

	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親族	28	11	12	4
	28.3%	40.7%	23.1%	21.1%
医療機関	16	5	8	3
	16.2%	18.5%	15.4%	15.8%
健康増進課（市の保健センターを含む）	23	4	14	5
	23.2%	14.8%	26.9%	26.3%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	11	4	6	1
	11.1%	14.8%	11.5%	5.3%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センターを含む）	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上記以外の市役所窓口等	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保健所	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
児童発達支援センター	5	2	3	0
	5.1%	7.4%	5.8%	0.0%
障害児相談支援事業所	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
お子さんが通っている学校	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%
児童相談所	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
県こども総合療育センター（発達障害者支援センター）	2	0	0	2
	2.0%	0.0%	0.0%	10.5%
その他	7	1	5	1
	7.1%	3.7%	9.6%	5.3%
無回答	6	0	4	2
	6.1%	0.0%	7.7%	10.5%

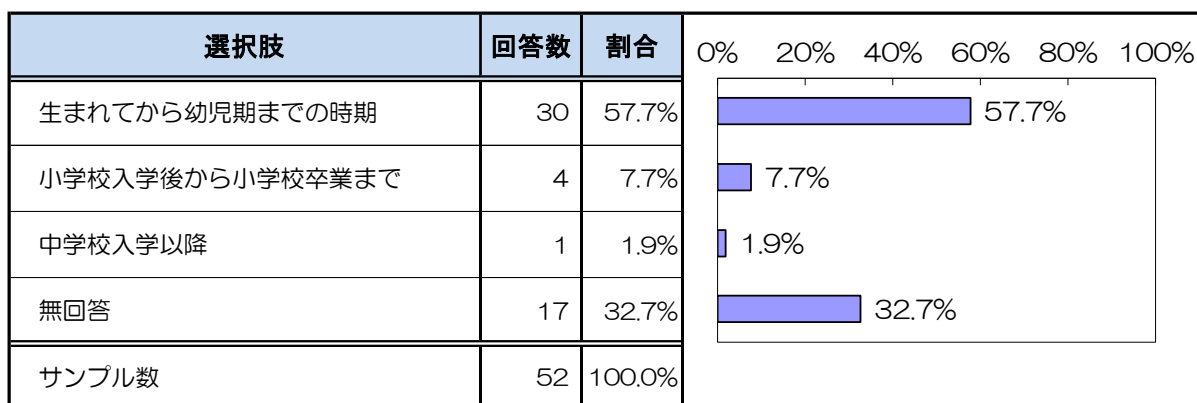
(3) 障害者手帳の交付時期

【障がい児調査】

(お子さんが障害者手帳をお持ちの方)

問. 障害者手帳が初めて交付されたのはいつですか。(〇は1つだけ)

「生まれてから幼児期までの時期」の57.7%が最も高く、次いで、「小学校入学後から小学校卒業まで」の7.7%、「中学校入学以降」の1.9%の順となっている。



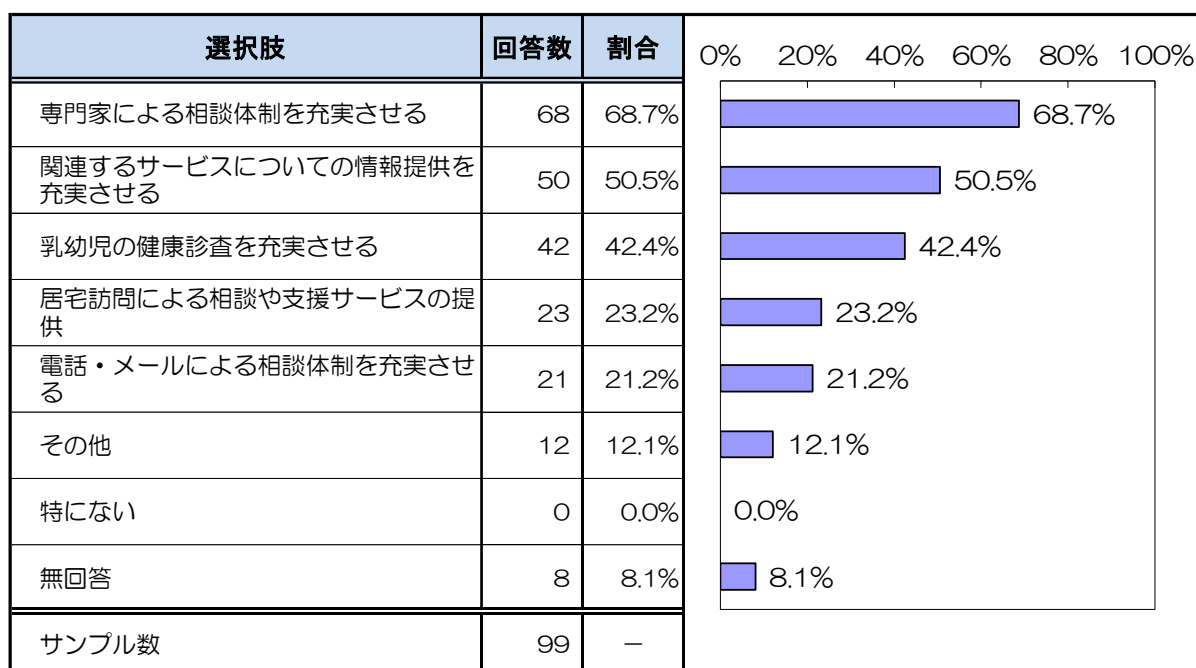
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	52	14	27	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
生まれてから幼児期までの時期	30	9	15	6
	57.7%	64.3%	55.6%	54.5%
小学校入学後から小学校卒業まで	4	0	1	3
	7.7%	0.0%	3.7%	27.3%
中学校入学以降	1	0	0	1
	1.9%	0.0%	0.0%	9.1%
無回答	17	5	11	1
	32.7%	35.7%	40.7%	9.1%

(4) 早期支援に必要なこと

【障がい児調査】

問. 発達に関する不安や障がいのあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「専門家による相談体制を充実させる」が 68.7%と最も高く、次いで、「関連するサービスについての情報提供を充実させる」の 50.5%、「乳幼児の健康診査を充実させる」の 42.4%の順となっている。



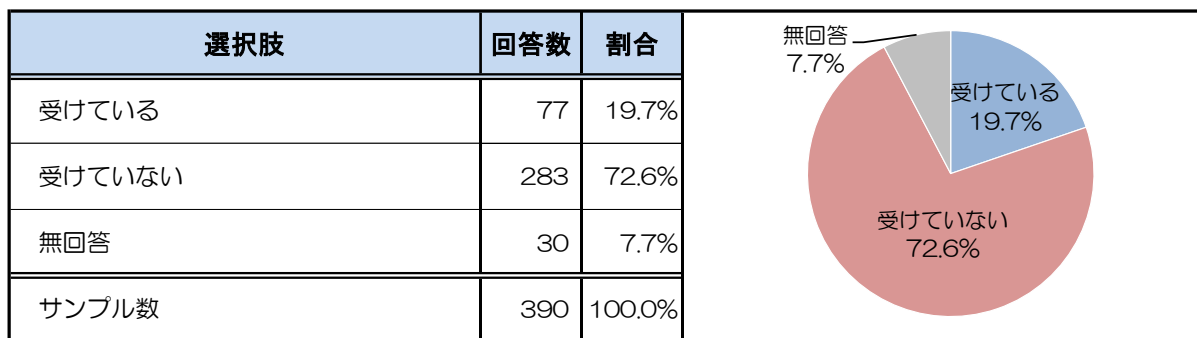
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
専門家による相談体制を充実させる	68	18	36	13
	68.7%	66.7%	69.2%	68.4%
関連するサービスについての情報提供を充実させる	50	13	28	8
	50.5%	48.1%	53.8%	42.1%
乳幼児の健康診査を充実させる	42	12	23	6
	42.4%	44.4%	44.2%	31.6%
居宅訪問による相談や支援サービスの提供	23	8	9	6
	23.2%	29.6%	17.3%	31.6%
電話・メールによる相談体制を充実させる	21	8	9	3
	21.2%	29.6%	17.3%	15.8%
その他	12	4	5	3
	12.1%	14.8%	9.6%	15.8%
特にない	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	8	2	4	2
	8.1%	7.4%	7.7%	10.5%

4 医療に関する状況について

【障がい者調査】

問. 現在、医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」が19.7%、「受けていない」が72.6%となっている。

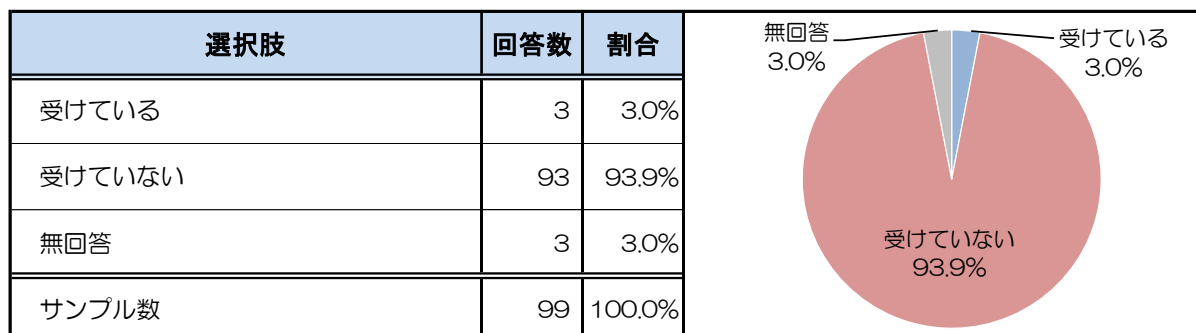


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390 100.0%	51 100.0%	121 100.0%	211 100.0%	261 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	34 100.0%
受けている	77 19.7%	4 7.8%	30 24.8%	43 20.4%	62 23.8%	14 19.7%	6 14.3%	12 35.3%
受けていない	283 72.6%	46 90.2%	85 70.2%	148 70.1%	179 68.6%	56 78.9%	34 81.0%	20 58.8%
無回答	30 7.7%	1 2.0%	6 5.0%	20 9.5%	20 7.7%	1 1.4%	2 4.8%	2 5.9%

【障がい児調査】

問. お子さんは現在、医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」が3.0%、「受けていない」が93.9%となっている。



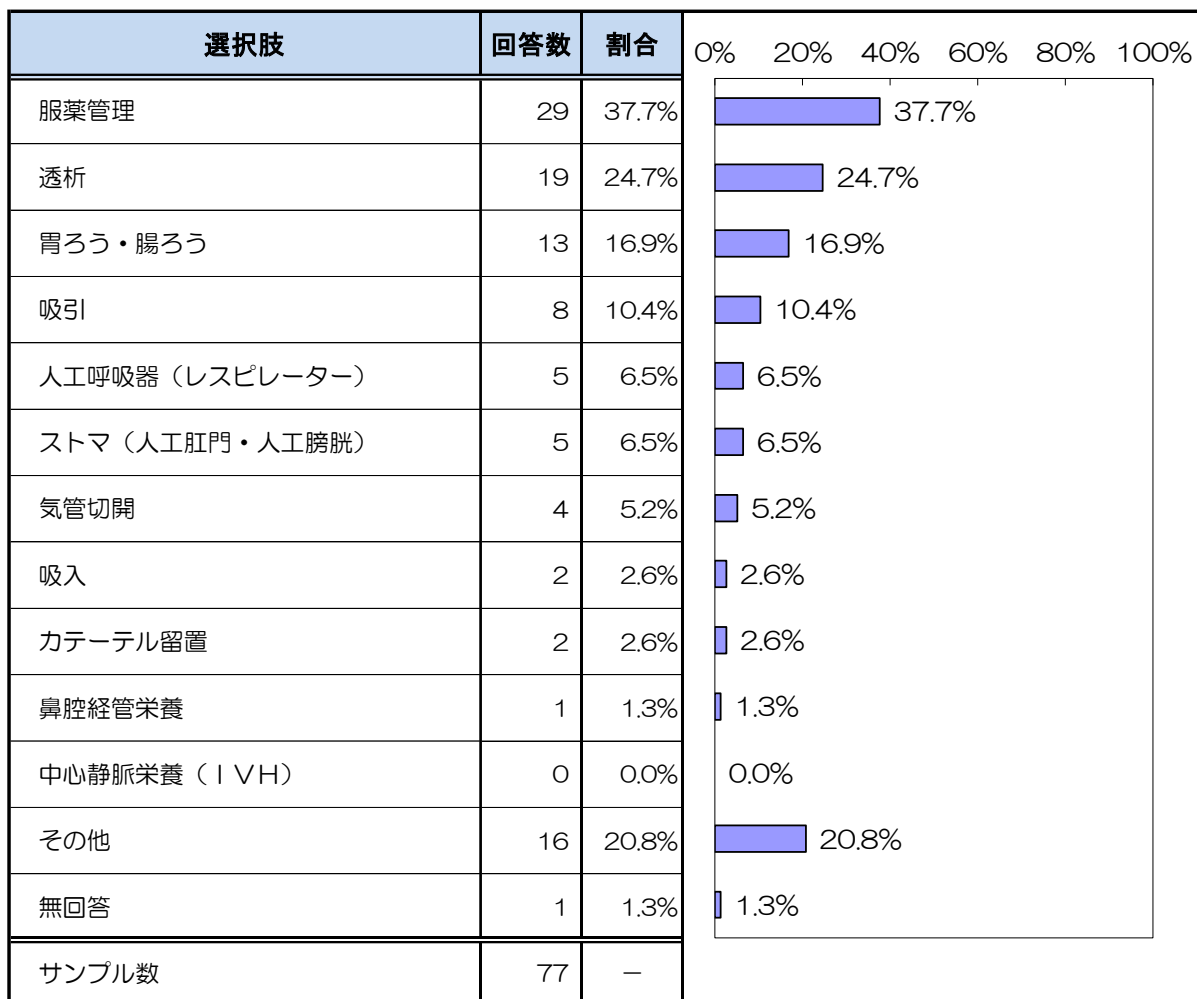
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受けている	3	0	0	3
	3.0%	0.0%	0.0%	15.8%
受けていない	93	27	50	15
	93.9%	100.0%	96.2%	78.9%
無回答	3	0	2	1
	3.0%	0.0%	3.8%	5.3%

【障がい者調査】

(現在、医療的ケアを受けている方)

問. 現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「服薬管理」が 37.7%と最も高く、次いで、「透析」の 24.7%、「その他」の 20.8%の順となっている。



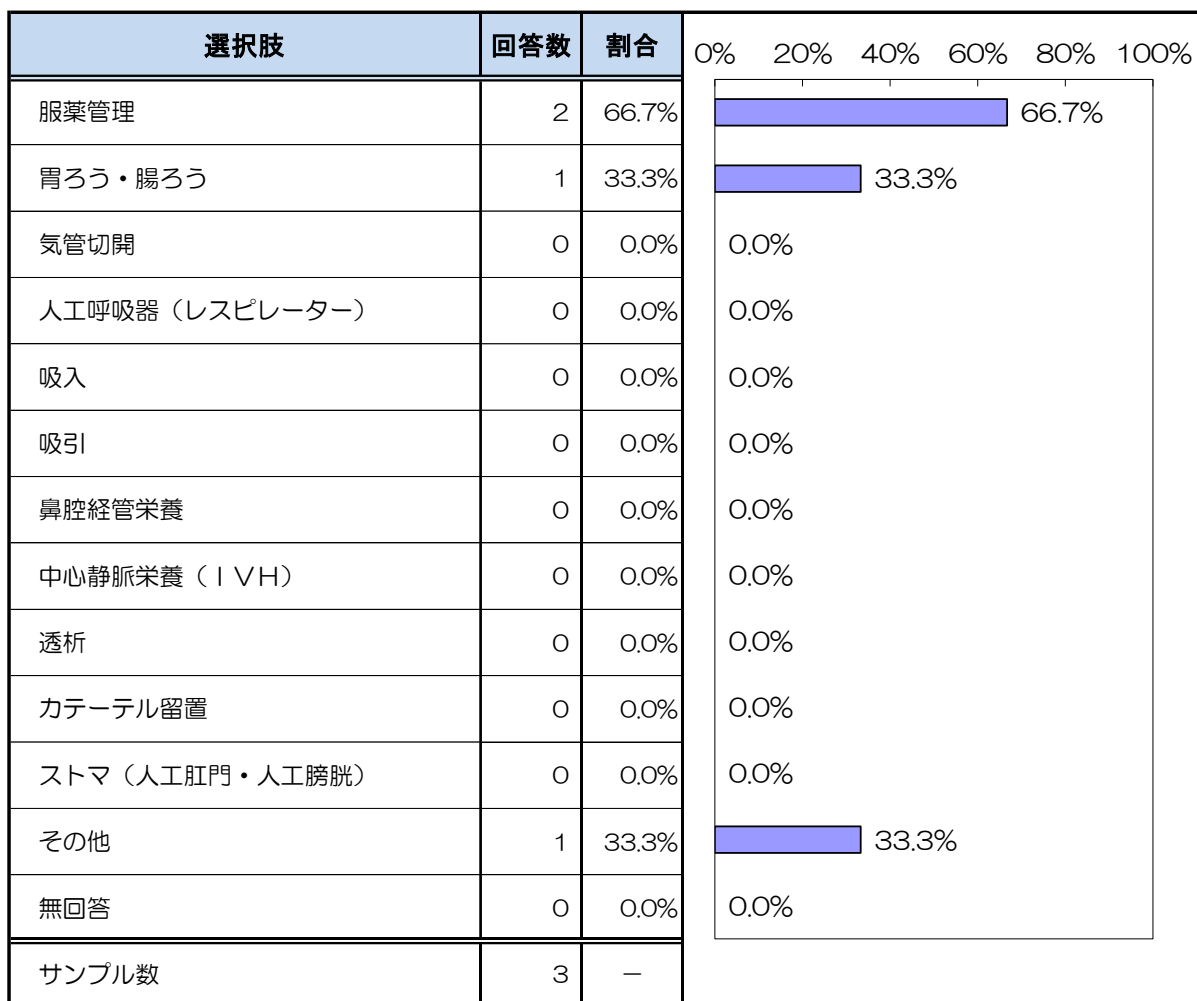
	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	77 100.0%	4 100.0%	30 100.0%	43 100.0%	62 100.0%	14 100.0%	6 100.0%	12 100.0%
服薬管理	29 37.7%	3 75.0%	12 40.0%	14 32.6%	15 24.2%	10 71.4%	6 100.0%	3 25.0%
透析	19 24.7%	0 0.0%	9 30.0%	10 23.3%	18 29.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%
胃ろう・腸ろう	13 16.9%	0 0.0%	5 16.7%	8 18.6%	12 19.4%	3 21.4%	0 0.0%	2 16.7%
吸引	8 10.4%	0 0.0%	5 16.7%	3 7.0%	8 12.9%	3 21.4%	0 0.0%	2 16.7%
人工呼吸器（レスピレーター）	5 6.5%	0 0.0%	2 6.7%	3 7.0%	5 8.1%	1 7.1%	0 0.0%	1 8.3%
ストマ（人工肛門・人工膀胱）	5 6.5%	0 0.0%	2 6.7%	3 7.0%	5 8.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
気管切開	4 5.2%	0 0.0%	3 10.0%	1 2.3%	4 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
吸入	2 2.6%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	2 3.2%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
カテーテル留置	2 2.6%	0 0.0%	1 3.3%	1 2.3%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
鼻腔経管栄養	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
中心静脈栄養（IVH）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 20.8%	2 50.0%	5 16.7%	9 20.9%	15 24.2%	2 14.3%	0 0.0%	4 33.3%
無回答	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	1 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【障がい児調査】

(現在、医療的ケアを受けている方)

問. 現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「服薬管理」、「胃ろう・腸ろう」、「その他」に回答が得られた。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	3 100.0%	0 -	0 -	3 100.0%
服薬管理	2 66.7%	0 -	0 -	2 66.7%
胃ろう・腸ろう	1 33.3%	0 -	0 -	1 33.3%
気管切開	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
人工呼吸器（レスピレーター）	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
吸入	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
吸引	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
鼻腔経管栄養	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
中心静脈栄養（IVH）	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
透析	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
カテーテル留置	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
ストマ（人工肛門・人工膀胱）	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%
その他	1 33.3%	0 -	0 -	1 33.3%
無回答	0 0.0%	0 -	0 -	0 0.0%

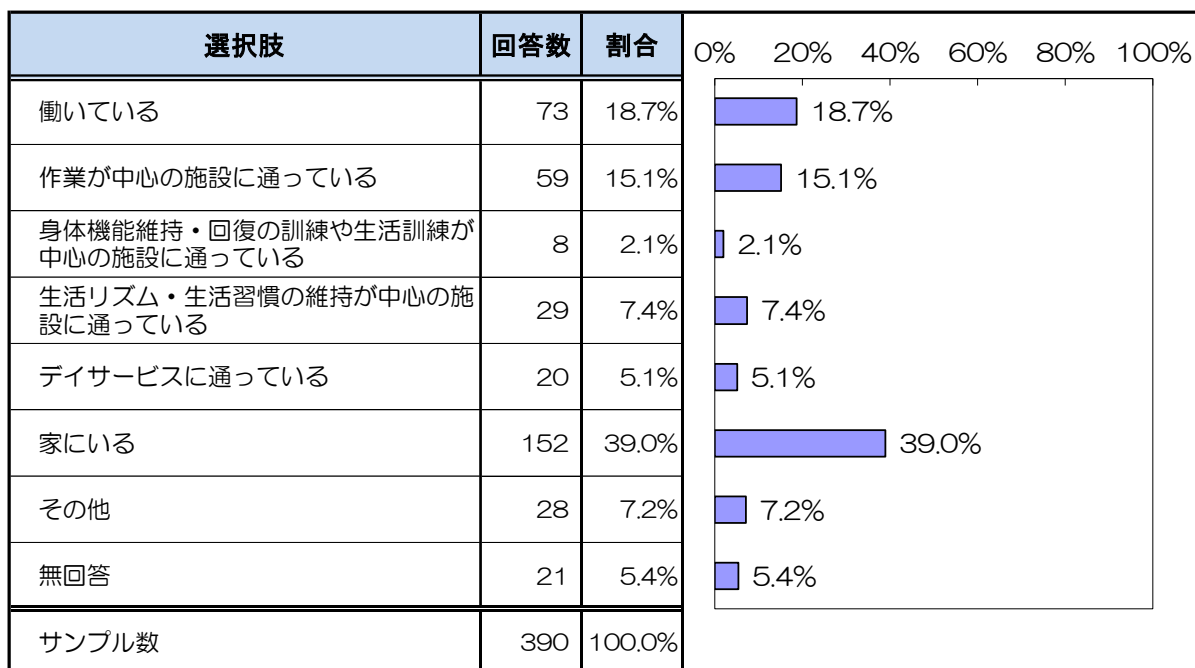
5 暮らしについて

(1) 日中の生活状況

【障がい者調査】

問. 平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(主なもの1つに○)

「家にいる」が39.0%と最も高く、次いで、「働いている」の18.7%、「作業が中心の施設に通っている」の15.1%の順となっている。

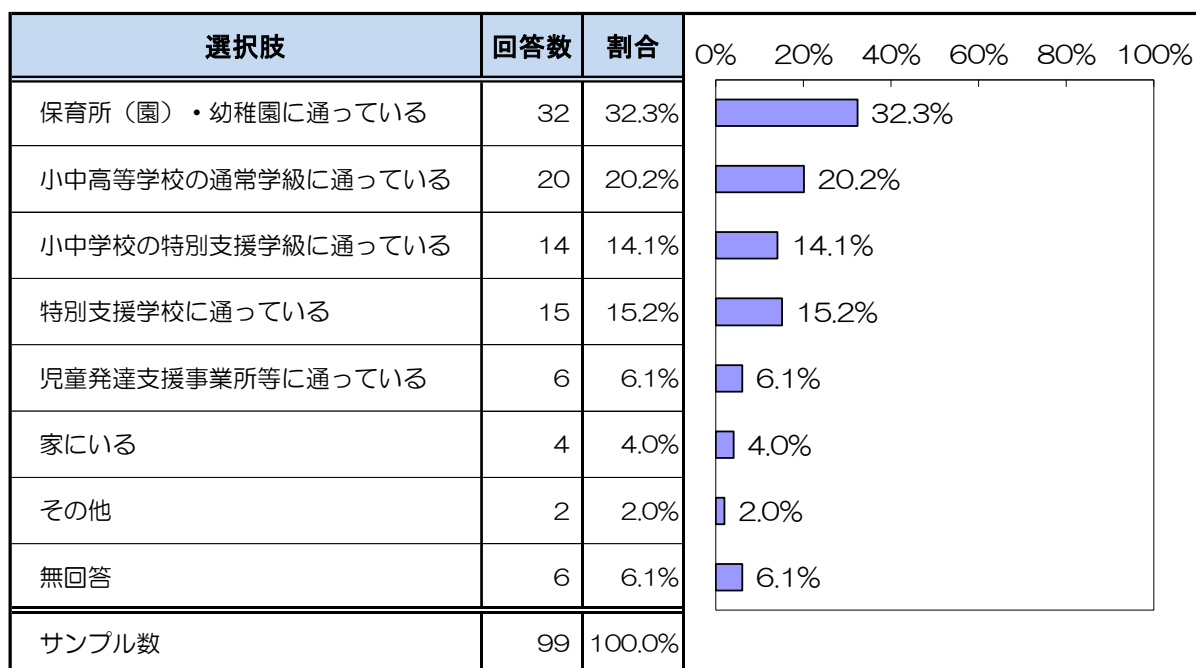


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
働いている	73	16	43	13	43	8	9	5
	18.7%	31.4%	35.5%	6.2%	16.5%	11.3%	21.4%	14.7%
作業が中心の施設に通っている	59	21	27	9	15	28	17	5
	15.1%	41.2%	22.3%	4.3%	5.7%	39.4%	40.5%	14.7%
身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通っている	8	0	2	6	8	2	0	1
	2.1%	0.0%	1.7%	2.8%	3.1%	2.8%	0.0%	2.9%
生活リズム・生活習慣の維持が中心の施設に通っている	29	8	9	12	15	24	1	0
	7.4%	15.7%	7.4%	5.7%	5.7%	33.8%	2.4%	0.0%
デイサービスに通っている	20	0	2	17	17	0	0	3
	5.1%	0.0%	1.7%	8.1%	6.5%	0.0%	0.0%	8.8%
家にいる	152	3	27	120	127	4	12	13
	39.0%	5.9%	22.3%	56.9%	48.7%	5.6%	28.6%	38.2%
その他	28	3	7	17	21	3	2	2
	7.2%	5.9%	5.8%	8.1%	8.0%	4.2%	4.8%	5.9%
無回答	21	0	4	17	15	2	1	5
	5.4%	0.0%	3.3%	8.1%	5.7%	2.8%	2.4%	14.7%

【障がい児調査】

問. お子さんは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

「保育所（園）・幼稚園に通っている」が32.3%と最も高く、次いで、「小中高等学校の通常学級に通っている」の20.2%、「特別支援学校に通っている」の15.2%の順となっている。



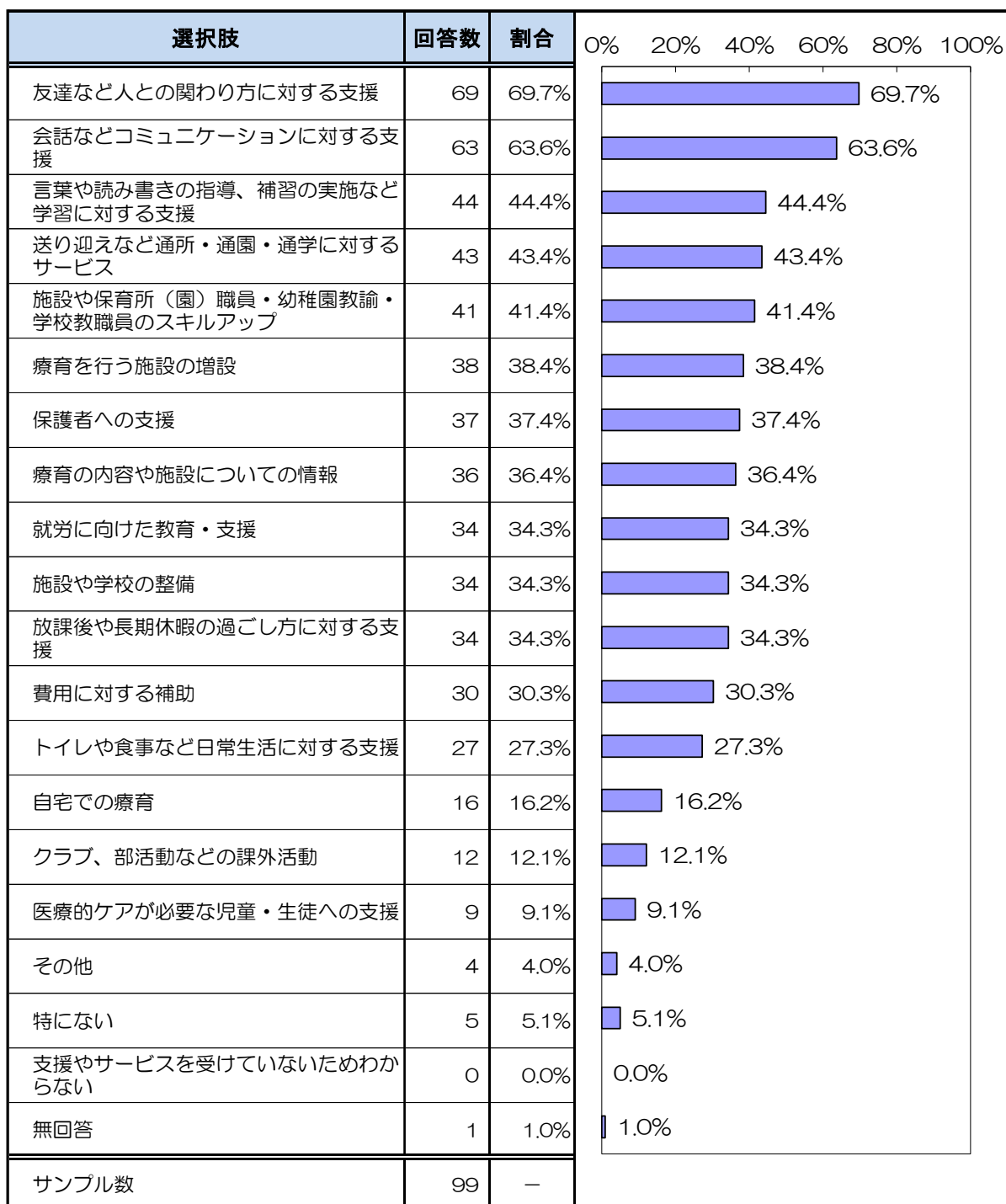
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
保育所（園）・幼稚園に通っている	32	16	12	4
	32.3%	59.3%	23.1%	21.1%
小中高等学校の通常学級に通っている	20	0	18	1
	20.2%	0.0%	34.6%	5.3%
小中学校の特別支援学級に通っている	14	0	10	4
	14.1%	0.0%	19.2%	21.1%
特別支援学校に通っている	15	0	8	7
	15.2%	0.0%	15.4%	36.8%
児童発達支援事業所等に通っている	6	6	0	0
	6.1%	22.2%	0.0%	0.0%
家にいる	4	2	0	2
	4.0%	7.4%	0.0%	10.5%
その他	2	2	0	0
	2.0%	7.4%	0.0%	0.0%
無回答	6	1	4	1
	6.1%	3.7%	7.7%	5.3%

(2) 充実すべき療育・教育・支援

【障がい児調査】

問. お子さんに対する療育や教育、支援について、充実させるべきだと思う点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「友達など人との関わり方に対する支援」が 69.7%と最も高く、次いで、「会話などコミュニケーションに対する支援」の 63.6%、「言葉や読み書きの指導、補習の実施など学習に対する支援」の 44.4%の順となっている。



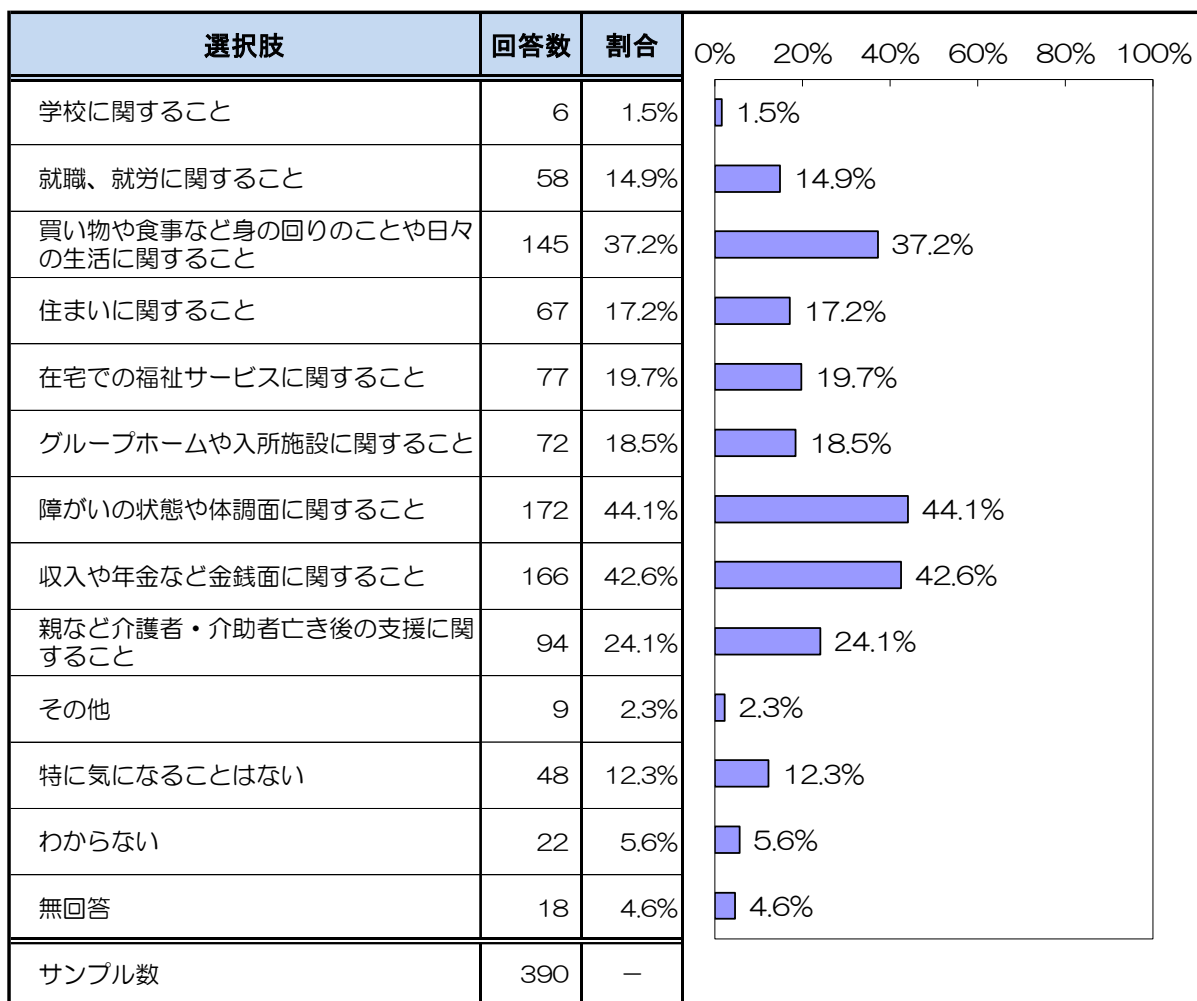
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
友達など人との関わり方に対する支援	69	20	38	10
	69.7%	74.1%	73.1%	52.6%
会話などコミュニケーションに対する支援	63	17	37	9
	63.6%	63.0%	71.2%	47.4%
言葉や読み書きの指導、補習の実施など学習に対する支援	44	14	26	4
	44.4%	51.9%	50.0%	21.1%
送り迎えなど通所・通園・通学に対するサービス	43	11	26	6
	43.4%	40.7%	50.0%	31.6%
施設や保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員のスキルアップ	41	11	23	7
	41.4%	40.7%	44.2%	36.8%
療育を行う施設の増設	38	7	23	8
	38.4%	25.9%	44.2%	42.1%
保護者への支援	37	11	16	10
	37.4%	40.7%	30.8%	52.6%
療育の内容や施設についての情報	36	8	21	7
	36.4%	29.6%	40.4%	36.8%
就労に向けた教育・支援	34	6	20	8
	34.3%	22.2%	38.5%	42.1%
施設や学校の整備	34	8	18	8
	34.3%	29.6%	34.6%	42.1%
放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援	34	6	20	8
	34.3%	22.2%	38.5%	42.1%
費用に対する補助	30	7	14	9
	30.3%	25.9%	26.9%	47.4%
トイレや食事など日常生活に対する支援	27	11	11	5
	27.3%	40.7%	21.2%	26.3%
自宅での療育	16	4	10	2
	16.2%	14.8%	19.2%	10.5%
クラブ、部活動などの課外活動	12	1	6	5
	12.1%	3.7%	11.5%	26.3%
医療的ケアが必要な児童・生徒への支援	9	3	3	3
	9.1%	11.1%	5.8%	15.8%
その他	4	3	1	0
	4.0%	11.1%	1.9%	0.0%
特になし	5	0	4	1
	5.1%	0.0%	7.7%	5.3%
支援やサービスを受けていないためわからない	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%

(3) 将来について気になること

【障がい者調査】

問. 将来について、ご本人や介護者(介助者)の方はどのようなことが気になりますか。(あてはまるものすべてに○)

「障がいの状態や体調面に関すること」が 44.1%と最も高く、次いで、「収入や年金など金銭面に関すること」の 42.6%、「買い物や食事など身の回りのことや日々の生活に関すること」の 37.2%の順となっている。



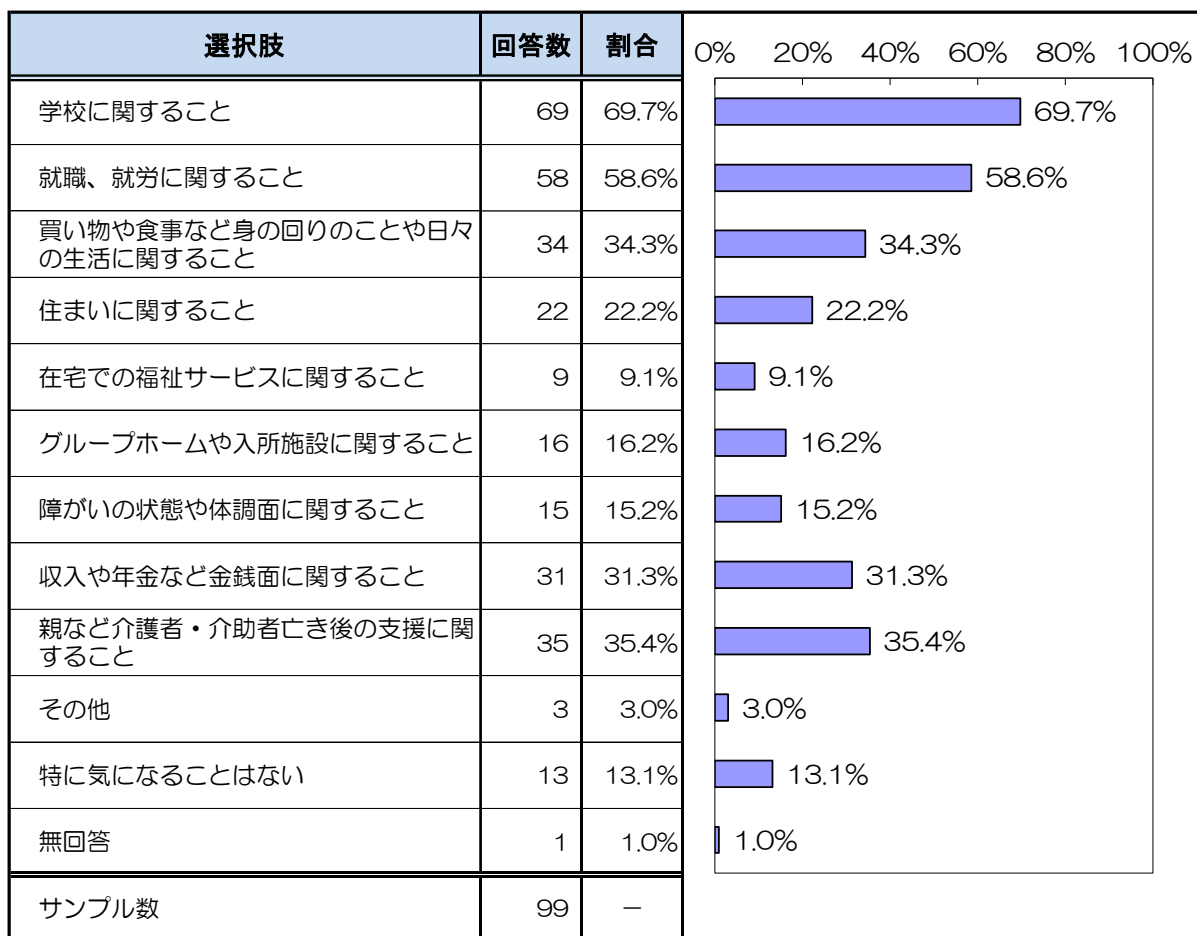
	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390 100.0%	51 100.0%	121 100.0%	211 100.0%	261 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	34 100.0%
学校に関すること	6 1.5%	2 3.9%	2 1.7%	1 0.5%	2 0.8%	2 2.8%	1 2.4%	0 0.0%
就職、就労に関すること	58 14.9%	23 45.1%	28 23.1%	5 2.4%	15 5.7%	16 22.5%	20 47.6%	3 8.8%
買い物や食事など身の回りのことや日々の生活に関すること	145 37.2%	17 33.3%	46 38.0%	80 37.9%	99 37.9%	20 28.2%	22 52.4%	14 41.2%
住まいに関すること	67 17.2%	15 29.4%	26 21.5%	24 11.4%	35 13.4%	15 21.1%	16 38.1%	6 17.6%
在宅での福祉サービスに関すること	77 19.7%	6 11.8%	20 16.5%	51 24.2%	63 24.1%	4 5.6%	8 19.0%	10 29.4%
グループホームや入所施設に関すること	72 18.5%	10 19.6%	23 19.0%	39 18.5%	50 19.2%	21 29.6%	8 19.0%	4 11.8%
障がいの状態や体調面に関すること	172 44.1%	20 39.2%	65 53.7%	83 39.3%	121 46.4%	24 33.8%	24 57.1%	20 58.8%
収入や年金など金銭面に関すること	166 42.6%	27 52.9%	68 56.2%	69 32.7%	109 41.8%	27 38.0%	27 64.3%	17 50.0%
親など介護者・介助者亡き後の支援に関すること	94 24.1%	26 51.0%	40 33.1%	27 12.8%	50 19.2%	35 49.3%	17 40.5%	12 35.3%
その他	9 2.3%	0 0.0%	4 3.3%	3 1.4%	3 1.1%	1 1.4%	2 4.8%	0 0.0%
特に気になることはない	48 12.3%	9 17.6%	9 7.4%	30 14.2%	30 11.5%	11 15.5%	4 9.5%	1 2.9%
わからない	22 5.6%	1 2.0%	10 8.3%	11 5.2%	13 5.0%	5 7.0%	2 4.8%	2 5.9%
無回答	18 4.6%	2 3.9%	2 1.7%	13 6.2%	13 5.0%	2 2.8%	1 2.4%	2 5.9%

【障がい児調査】

問. お子さんの将来についてどのようなことが気になりますか。

(あてはまるものすべてに○)

「学校に関すること」が 69.7%と最も高く、次いで、「就職、就労に関すること」の 58.6%、「親など介護者・介助者亡き後の支援に関すること」の 35.4%の順となっている。



	単純集計 全体	年齢		
		0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
学校に関すること	69 69.7%	21 77.8%	36 69.2%	12 63.2%
就職、就労に関すること	58 58.6%	14 51.9%	32 61.5%	12 63.2%
買い物や食事など身の回りのことや日々の生活に関すること	34 34.3%	10 37.0%	16 30.8%	8 42.1%
住まいに関すること	22 22.2%	8 29.6%	9 17.3%	5 26.3%
在宅での福祉サービスに関すること	9 9.1%	1 3.7%	5 9.6%	3 15.8%
グループホームや入所施設に関すること	16 16.2%	3 11.1%	7 13.5%	6 31.6%
障がいの状態や体調面に関すること	15 15.2%	4 14.8%	10 19.2%	1 5.3%
収入や年金など金銭面に関すること	31 31.3%	6 22.2%	15 28.8%	10 52.6%
親など介護者・介助者亡き後の支援に関すること	35 35.4%	8 29.6%	17 32.7%	10 52.6%
その他	3 3.0%	0 0.0%	2 3.8%	1 5.3%
特に気になることはない	13 13.1%	3 11.1%	8 15.4%	1 5.3%
無回答	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%

6 外出について

(1) 外出時の困りごと

【障がい者調査】

問. 外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「特にない」が29.2%と最も高くなっているが、具体的に回答が得られた「困ったり不便に感じたりすること」については、「歩道、道路、出入口に段差がある」が25.6%と最も高く、次いで、「階段の昇降が困難である」の24.1%、「障がいがあることや症状について理解されにくい」の21.5%の順となっている。

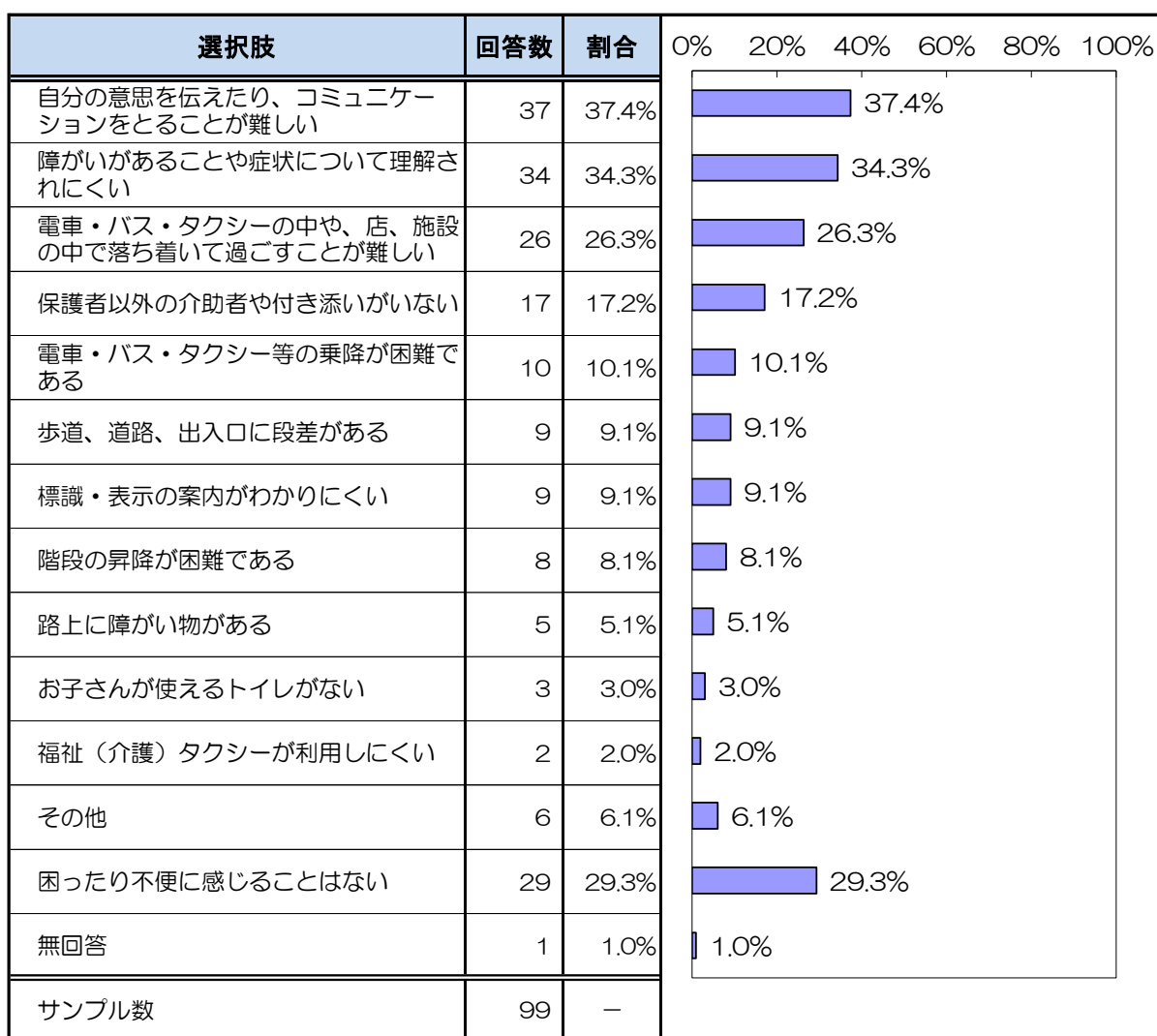
選択肢	回答数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
歩道、道路、出入口に段差がある	100	25.6%						
階段の昇降が困難である	94	24.1%						
障がいがあることや症状について理解されにくい	84	21.5%						
自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	54	13.8%						
電車・バス・タクシー等の乗降が困難である	46	11.8%						
手すりがない	45	11.5%						
路上に障がい物がある	40	10.3%						
乗車券の購入・料金の支払いが困難である	37	9.5%						
移動の手段がない	33	8.5%						
障がい者が使えるトイレがない	29	7.4%						
付き添ってくれる人がいない	17	4.4%						
標識・表示の案内がわかりにくい	15	3.8%						
福祉（介護）タクシーが利用しにくい	14	3.6%						
点字ブロック・盲人用信号がない	3	0.8%						
その他	26	6.7%						
特にない	114	29.2%						
無回答	26	6.7%						
サンプル数	390	—						

	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
歩道、道路、出入口に段差がある	100	7	26	64	78	15	8	11
	25.6%	13.7%	21.5%	30.3%	29.9%	21.1%	19.0%	32.4%
階段の昇降が困難である	94	5	17	71	83	10	5	12
	24.1%	9.8%	14.0%	33.6%	31.8%	14.1%	11.9%	35.3%
障がいがあることや症状について理解されにくい	84	20	31	32	48	20	18	7
	21.5%	39.2%	25.6%	15.2%	18.4%	28.2%	42.9%	20.6%
自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	54	15	17	22	24	23	11	4
	13.8%	29.4%	14.0%	10.4%	9.2%	32.4%	26.2%	11.8%
電車・バス・タクシー等の乗降が困難である	46	4	16	26	35	11	2	8
	11.8%	7.8%	13.2%	12.3%	13.4%	15.5%	4.8%	23.5%
手すりがない	45	2	12	30	39	5	3	8
	11.5%	3.9%	9.9%	14.2%	14.9%	7.0%	7.1%	23.5%
路上に障がい物がある	40	5	13	21	33	10	3	6
	10.3%	9.8%	10.7%	10.0%	12.6%	14.1%	7.1%	17.6%
乗車券の購入・料金の支払いが困難である	37	6	17	14	19	18	3	2
	9.5%	11.8%	14.0%	6.6%	7.3%	25.4%	7.1%	5.9%
移動の手段がない	33	2	9	21	25	5	2	4
	8.5%	3.9%	7.4%	10.0%	9.6%	7.0%	4.8%	11.8%
障がい者が使えるトイレがない	29	3	11	15	26	6	0	6
	7.4%	5.9%	9.1%	7.1%	10.0%	8.5%	0.0%	17.6%
付き添ってくれる人がいない	17	2	9	6	12	5	0	3
	4.4%	3.9%	7.4%	2.8%	4.6%	7.0%	0.0%	8.8%
標識・表示の案内がわかりにくい	15	4	6	5	7	6	1	1
	3.8%	7.8%	5.0%	2.4%	2.7%	8.5%	2.4%	2.9%
福祉（介護）タクシーが利用しにくい	14	1	5	8	14	1	0	2
	3.6%	2.0%	4.1%	3.8%	5.4%	1.4%	0.0%	5.9%
点字ブロック・盲人用信号がない	3	0	0	3	3	0	0	0
	0.8%	0.0%	0.0%	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	26	3	8	14	18	4	6	2
	6.7%	5.9%	6.6%	6.6%	6.9%	5.6%	14.3%	5.9%
特になし	114	18	43	52	63	22	12	6
	29.2%	35.3%	35.5%	24.6%	24.1%	31.0%	28.6%	17.6%
無回答	26	4	9	12	18	3	3	2
	6.7%	7.8%	7.4%	5.7%	6.9%	4.2%	7.1%	5.9%

【障がい児調査】

問. お子さんと一緒に、またはお子さんが一人で外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

具体的に回答が得られた「困ったり不便に感じたりすること」については、「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が37.4%と最も高く、次いで、「障がいがあることや症状について理解されにくい」の34.3%、「電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい」の26.3%の順となっており、「困ったり不便に感じることはない」は29.3%となっている。

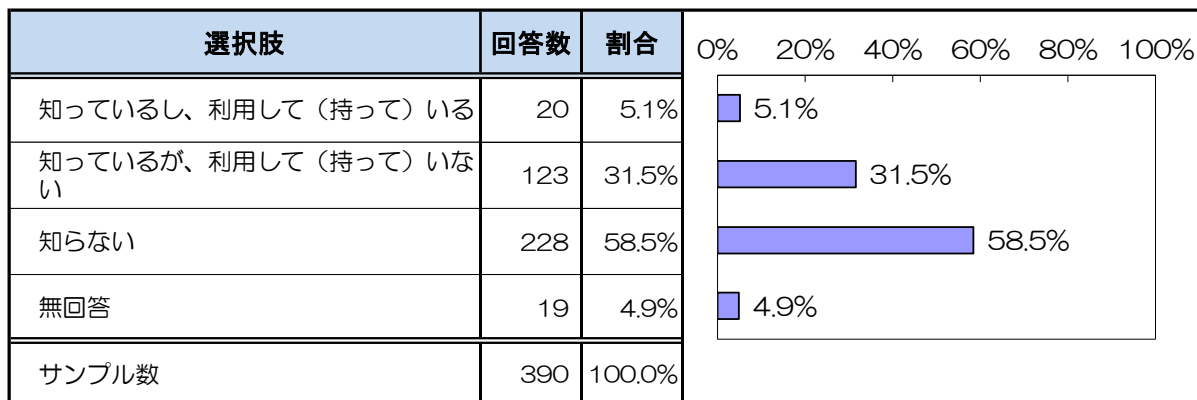


	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	37	10	19	8
	37.4%	37.0%	36.5%	42.1%
障がいがあることや症状について理解されにくい	34	8	17	9
	34.3%	29.6%	32.7%	47.4%
電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい	26	7	14	5
	26.3%	25.9%	26.9%	26.3%
保護者以外の介助者や付き添いがいない	17	6	7	4
	17.2%	22.2%	13.5%	21.1%
電車・バス・タクシー等の乗降が困難である	10	2	4	4
	10.1%	7.4%	7.7%	21.1%
歩道、道路、出入口に段差がある	9	3	3	3
	9.1%	11.1%	5.8%	15.8%
標識・表示の案内がわかりにくい	9	3	4	2
	9.1%	11.1%	7.7%	10.5%
階段の昇降が困難である	8	2	2	4
	8.1%	7.4%	3.8%	21.1%
路上に障がい物がある	5	1	2	2
	5.1%	3.7%	3.8%	10.5%
お子さんが使えるトイレがない	3	1	0	2
	3.0%	3.7%	0.0%	10.5%
福祉（介護）タクシーが利用しにくい	2	0	1	1
	2.0%	0.0%	1.9%	5.3%
その他	6	1	3	2
	6.1%	3.7%	5.8%	10.5%
困ったり不便に感じることはない	29	8	17	3
	29.3%	29.6%	32.7%	15.8%
無回答	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%

【障がい者調査】

問. ヘルプマークについて知っていますか。また、利用して（持って）いますか。
（○は1つだけ）

「知っているし、利用して（持って）いる」が 5.1%、「知っているが、利用して（持って）いない」が 31.5%、「知らない」が 58.5%となっている。



	単純集計 全体	年齢			手帳等所持状況			
		18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っているし、利用して（持って）いる	20	3	4	12	14	3	2	3
	5.1%	5.9%	3.3%	5.7%	5.4%	4.2%	4.8%	8.8%
知っているが、利用して（持って）いない	123	24	39	58	84	25	11	11
	31.5%	47.1%	32.2%	27.5%	32.2%	35.2%	26.2%	32.4%
知らない	228	23	73	131	149	41	26	19
	58.5%	45.1%	60.3%	62.1%	57.1%	57.7%	61.9%	55.9%
無回答	19	1	5	10	14	2	3	1
	4.9%	2.0%	4.1%	4.7%	5.4%	2.8%	7.1%	2.9%

【障がい児調査】

問. ヘルプマークについて知っていますか。また、利用して（持って）いますか。
（○は1つだけ）

「知っているし、利用して（持って）いる」が 5.1%、「知っているが、利用して（持って）いない」が 54.5%、「知らない」が 39.4%となっている。

選択肢	回答数	割合
知っているし、利用して（持って）いる	5	5.1%
知っているが、利用して（持って）いない	54	54.5%
知らない	39	39.4%
無回答	1	1.0%
サンプル数	99	100.0%

	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知っているし、利用して（持って）いる	5	0	3	2
	5.1%	0.0%	5.8%	10.5%
知っているが、利用して（持って）いない	54	17	27	9
	54.5%	63.0%	51.9%	47.4%
知らない	39	10	22	7
	39.4%	37.0%	42.3%	36.8%
無回答	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%

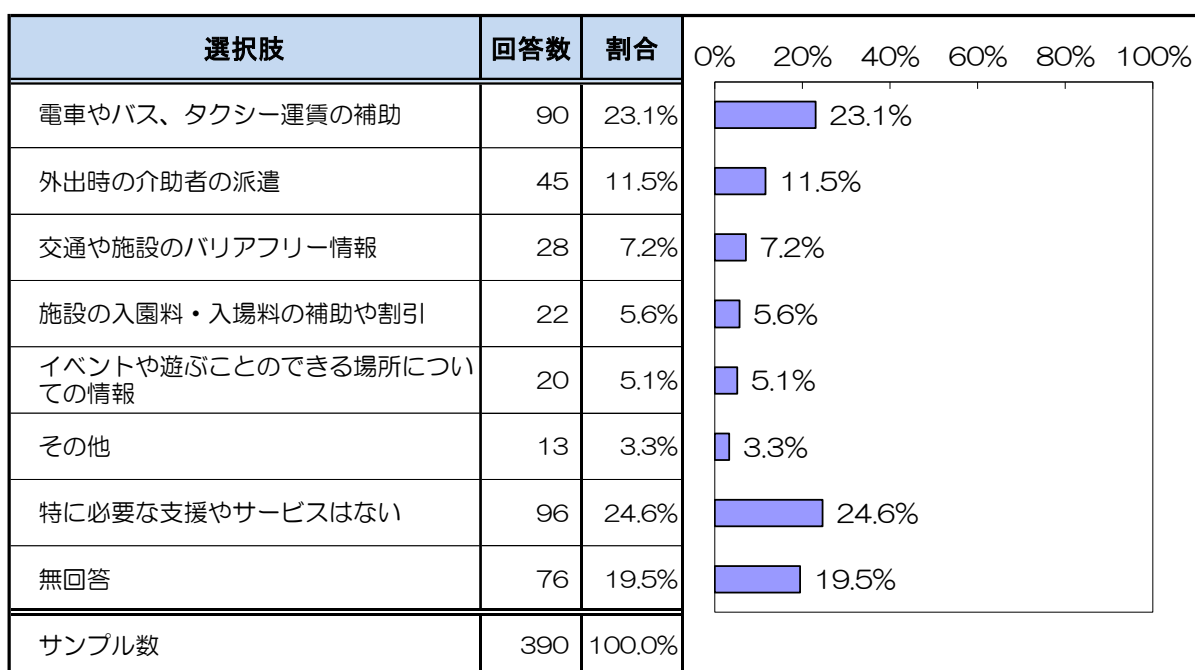
(2) 外出時に必要な支援・サービス

【障がい者調査】

問. 外出時にどのような支援やサービスがあるとよいと思いますか。

(○は最も必要と思うもの1つだけ)

「特に必要な支援やサービスはない」が24.6%と最も高くなっているが、具体的に回答が得られた「外出時にあるとよい支援やサービス」については、「電車やバス、タクシー運賃の補助」が23.1%と最も高く、次いで、「外出時の介助者の派遣」の11.5%、「交通や施設のバリアフリー情報」の7.2%の順となっている。

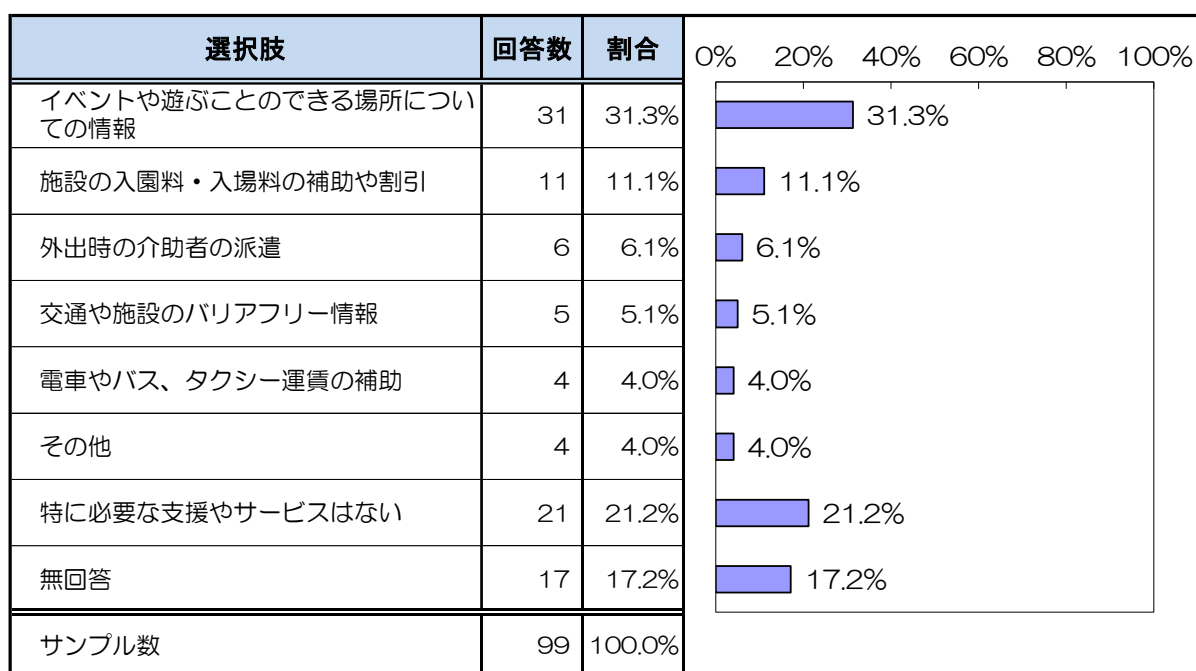


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
電車やバス、タクシー運賃の補助	90	11	29	49	58	11	15	8
	23.1%	21.6%	24.0%	23.2%	22.2%	15.5%	35.7%	23.5%
外出時の介助者の派遣	45	4	10	31	34	11	2	7
	11.5%	7.8%	8.3%	14.7%	13.0%	15.5%	4.8%	20.6%
交通や施設のバリアフリー情報	28	3	7	18	23	2	1	9
	7.2%	5.9%	5.8%	8.5%	8.8%	2.8%	2.4%	26.5%
施設の入園料・入場料の補助や割引	22	2	7	13	15	5	1	4
	5.6%	3.9%	5.8%	6.2%	5.7%	7.0%	2.4%	11.8%
イベントや遊ぶことのできる場所についての情報	20	6	8	5	10	8	2	1
	5.1%	11.8%	6.6%	2.4%	3.8%	11.3%	4.8%	2.9%
その他	13	2	5	5	9	1	4	1
	3.3%	3.9%	4.1%	2.4%	3.4%	1.4%	9.5%	2.9%
特に必要な支援やサービスはない	96	12	30	54	64	11	7	2
	24.6%	23.5%	24.8%	25.6%	24.5%	15.5%	16.7%	5.9%
無回答	76	11	25	36	48	22	10	2
	19.5%	21.6%	20.7%	17.1%	18.4%	31.0%	23.8%	5.9%

【障がい児調査】

問. お子さんとの外出時にどのような支援やサービスがあるとよいと思いますか。
(○は最も必要と思うもの1つだけ)

具体的に回答が得られた「外出時にあるとよいと支援やサービス」については、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が31.3%と最も高く、次いで、「施設の入園料・入場料の補助や割引」の11.1%、「外出時の介助者の派遣」の6.1%の順となっており、「特に必要な支援やサービスはない」は21.2%となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
イベントや遊ぶことのできる場所についての情報	31	9	20	2
	31.3%	33.3%	38.5%	10.5%
施設の入園料・入場料の補助や割引	11	3	6	2
	11.1%	11.1%	11.5%	10.5%
外出時の介助者の派遣	6	1	2	3
	6.1%	3.7%	3.8%	15.8%
交通や施設のバリアフリー情報	5	1	3	1
	5.1%	3.7%	5.8%	5.3%
電車やバス、タクシー運賃の補助	4	0	1	3
	4.0%	0.0%	1.9%	15.8%
その他	4	2	1	1
	4.0%	7.4%	1.9%	5.3%
特に必要な支援やサービスはない	21	7	11	2
	21.2%	25.9%	21.2%	10.5%
無回答	17	4	8	5
	17.2%	14.8%	15.4%	26.3%

7 就労について

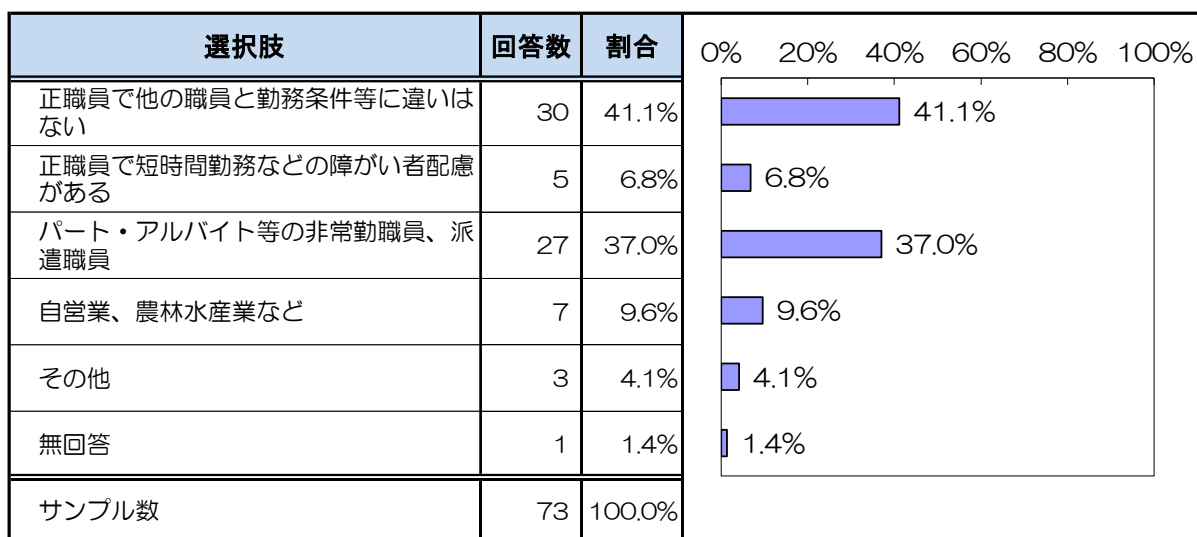
(1) 就労状況

【障がい者調査】

(現在、働いている方)

問. どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が41.1%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の37.0%、「自営業、農林水産業など」の9.6%の順となっている。



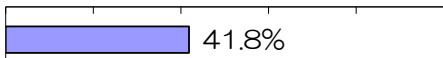
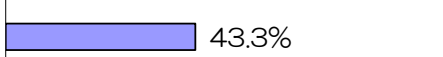

	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	73	16	43	13	43	8	9	5
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	30	7	19	3	21	2	0	1
	41.1%	43.8%	44.2%	23.1%	48.8%	25.0%	0.0%	20.0%
正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある	5	1	4	0	4	0	1	2
	6.8%	6.3%	9.3%	0.0%	9.3%	0.0%	11.1%	40.0%
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	27	6	16	5	10	6	6	1
	37.0%	37.5%	37.2%	38.5%	23.3%	75.0%	66.7%	20.0%
自営業、農林水産業など	7	0	3	4	6	0	0	1
	9.6%	0.0%	7.0%	30.8%	14.0%	0.0%	0.0%	20.0%
その他	3	2	1	0	1	0	2	0
	4.1%	12.5%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	22.2%	0.0%
無回答	1	0	0	1	1	0	0	0
	1.4%	0.0%	0.0%	7.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 今後の就労希望

【障がい者調査】

問. 今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

「仕事をしたい(続けたい)」が41.8%、「仕事はしたくない(やめたい)、できない」が43.3%となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
仕事をしたい(続けたい)	163	41.8%	 41.8%
仕事はしたくない(やめたい)、できない	169	43.3%	 43.3%
無回答	58	14.9%	 14.9%
サンプル数	390	100.0%	

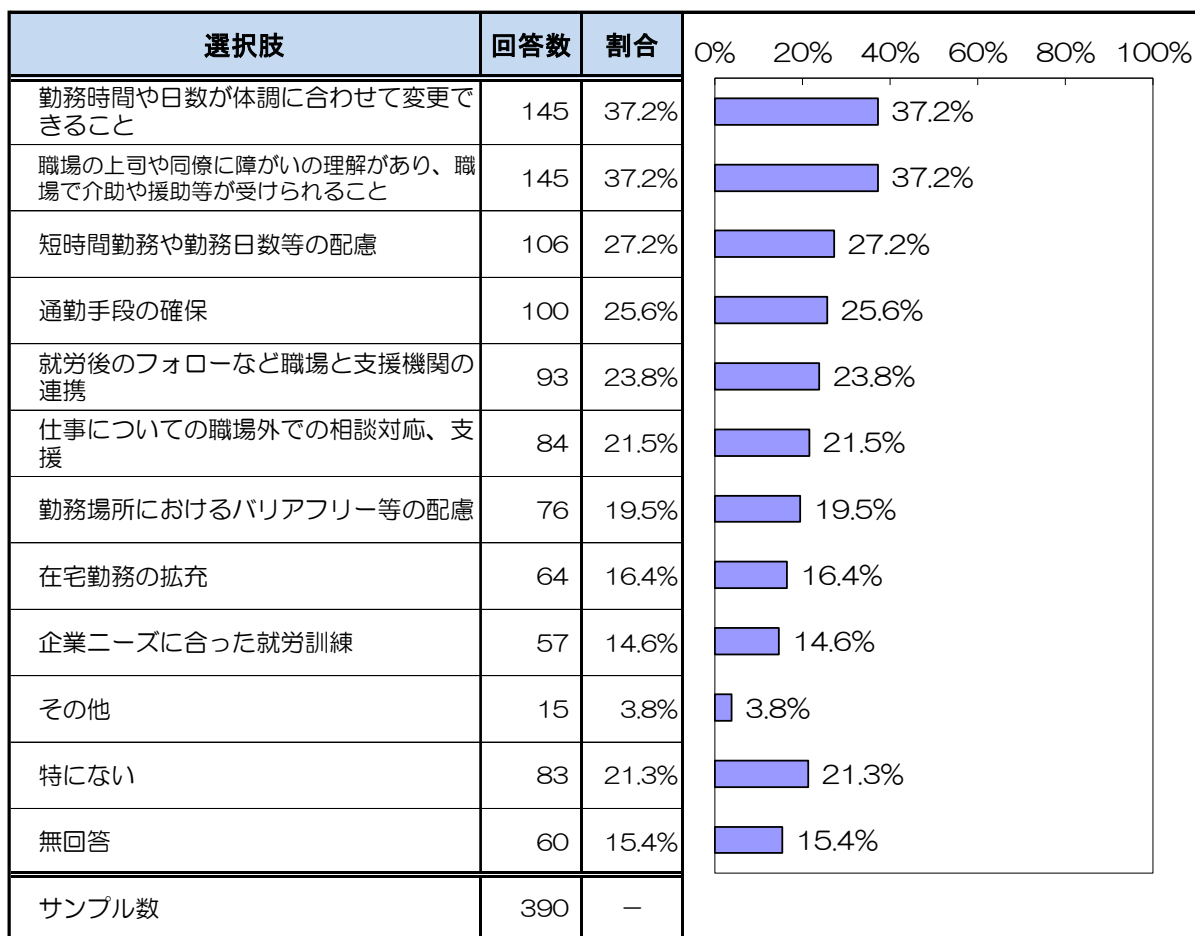
	単純集計 全体	年齢			手帳等所持状況			
		18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
仕事をしたい(続けたい)	163	41	87	30	79	39	31	15
	41.8%	80.4%	71.9%	14.2%	30.3%	54.9%	73.8%	44.1%
仕事はしたくない(やめたい)、できない	169	6	23	139	143	25	6	13
	43.3%	11.8%	19.0%	65.9%	54.8%	35.2%	14.3%	38.2%
無回答	58	4	11	42	39	7	5	6
	14.9%	7.8%	9.1%	19.9%	14.9%	9.9%	11.9%	17.6%

(3) 必要な就労支援

【障がい者調査】

問. 障がい者への就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」「職場の上司や同僚に障がいの理解があり、職場で介助や援助等が受けられること」が37.2%と最も高く、次いで、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」の27.2%の順となっている。



	単純集計 全体	年齢			手帳等所持状況			
		18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	145	24	64	55	89	25	27	20
	37.2%	47.1%	52.9%	26.1%	34.1%	35.2%	64.3%	58.8%
職場の上司や同僚に障がいの理解があり、職場で介助や援助等が受けられること	145	35	60	48	81	38	27	15
	37.2%	68.6%	49.6%	22.7%	31.0%	53.5%	64.3%	44.1%
短時間勤務や勤務日数等の配慮	106	24	48	32	57	23	23	12
	27.2%	47.1%	39.7%	15.2%	21.8%	32.4%	54.8%	35.3%
通勤手段の確保	100	17	37	43	59	29	18	10
	25.6%	33.3%	30.6%	20.4%	22.6%	40.8%	42.9%	29.4%
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	93	27	40	24	45	29	22	8
	23.8%	52.9%	33.1%	11.4%	17.2%	40.8%	52.4%	23.5%
仕事についての職場外での相談対応、支援	84	25	35	22	42	19	20	6
	21.5%	49.0%	28.9%	10.4%	16.1%	26.8%	47.6%	17.6%
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	76	9	27	39	59	11	6	11
	19.5%	17.6%	22.3%	18.5%	22.6%	15.5%	14.3%	32.4%
在宅勤務の拡充	64	11	27	24	44	8	10	8
	16.4%	21.6%	22.3%	11.4%	16.9%	11.3%	23.8%	23.5%
企業ニーズに合った就労訓練	57	16	24	16	31	12	16	4
	14.6%	31.4%	19.8%	7.6%	11.9%	16.9%	38.1%	11.8%
その他	15	1	9	5	10	2	3	1
	3.8%	2.0%	7.4%	2.4%	3.8%	2.8%	7.1%	2.9%
特にない	83	2	18	63	60	12	1	6
	21.3%	3.9%	14.9%	29.9%	23.0%	16.9%	2.4%	17.6%
無回答	60	2	7	48	49	3	3	5
	15.4%	3.9%	5.8%	22.7%	18.8%	4.2%	7.1%	14.7%

8 障害福祉サービス等について

(1) サービス利用時の困りごと

【障がい者調査】

問. 福祉サービスを利用するときに何か困ったことがありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

「福祉サービスを利用したことがない」を除くと、「特に困ったことはない」が24.4%と最も高くなっているが、具体的に回答が得られた「サービス利用時の困りごと」については、「どんなサービスがあるのか知らない」が19.5%と最も高く、次いで、「どの事業所が良いのかわからない」の11.5%、「どの事業所が良いのかわからない」の11.5%、「事業所情報が不十分」の8.7%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
どんなサービスがあるのか知らない	76	19.5%						
どの事業所が良いのかわからない	45	11.5%						
事業所情報が不十分	34	8.7%						
利用方法、契約の方法がわからなかった (わかりにくかった)	26	6.7%						
利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	24	6.2%						
費用負担があるため、サービスが使いづらい	21	5.4%						
サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	15	3.8%						
日程や時間が合わず、サービスが使えなかった	12	3.1%						
利用してトラブルがあった	5	1.3%						
その他	13	3.3%						
特に困ったことはない	95	24.4%						
福祉サービスを利用したことがない	130	33.3%						
無回答	38	9.7%						
サンプル数	390	—						

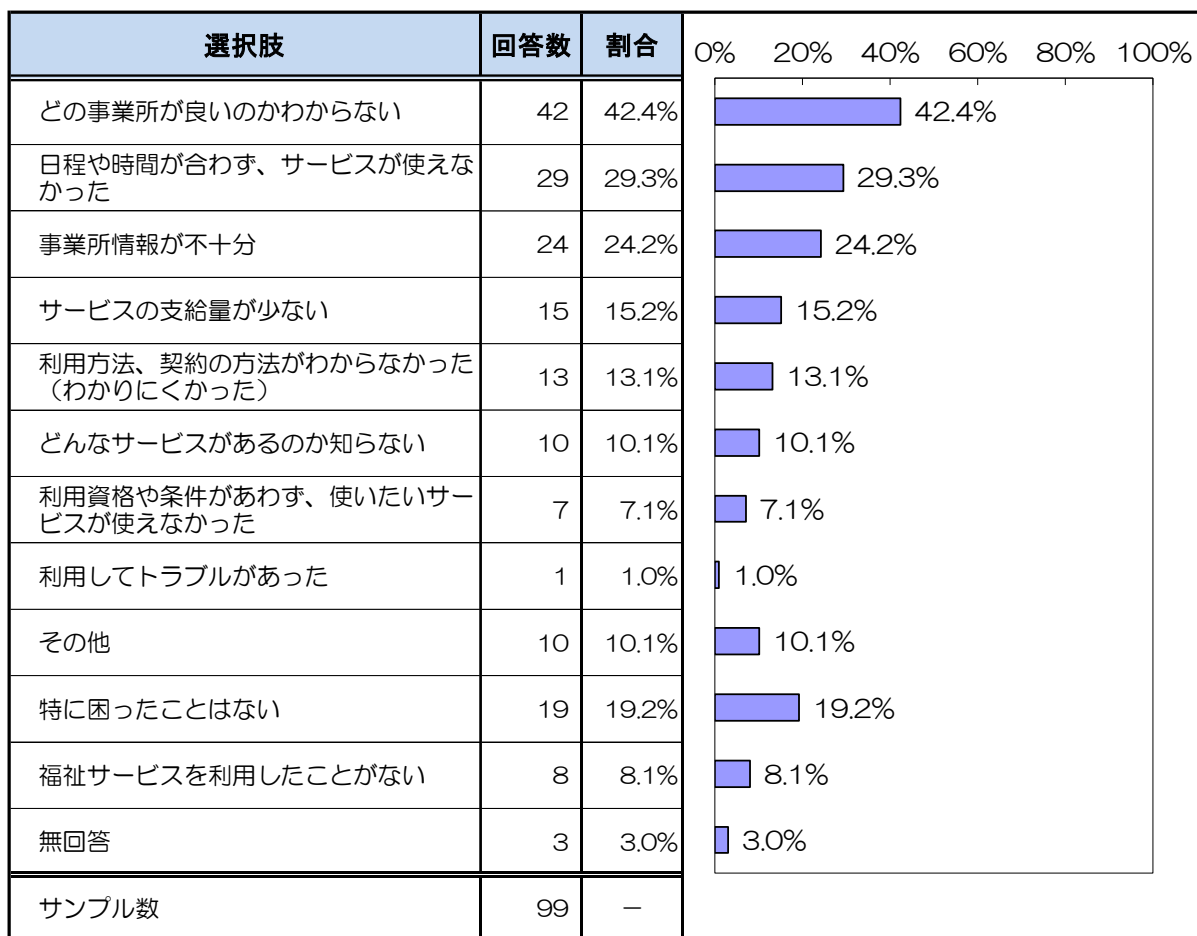
	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どんなサービスがあるのか知らない	76	8	33	34	51	8	12	10
	19.5%	15.7%	27.3%	16.1%	19.5%	11.3%	28.6%	29.4%
どの事業所が良いのかわからない	45	11	15	18	26	13	12	5
	11.5%	21.6%	12.4%	8.5%	10.0%	18.3%	28.6%	14.7%
事業所情報が不十分	34	11	11	12	20	11	7	4
	8.7%	21.6%	9.1%	5.7%	7.7%	15.5%	16.7%	11.8%
利用方法、契約の方法がわからなかった (わかりにくかった)	26	9	10	7	16	8	7	3
	6.7%	17.6%	8.3%	3.3%	6.1%	11.3%	16.7%	8.8%
利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	24	4	10	10	18	2	5	4
	6.2%	7.8%	8.3%	4.7%	6.9%	2.8%	11.9%	11.8%
費用負担があるため、サービスが使いづらい	21	3	8	10	16	4	2	5
	5.4%	5.9%	6.6%	4.7%	6.1%	5.6%	4.8%	14.7%
サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	15	2	5	8	12	4	2	2
	3.8%	3.9%	4.1%	3.8%	4.6%	5.6%	4.8%	5.9%
日程や時間が合わず、サービスが使えなかった	12	4	3	5	8	3	1	2
	3.1%	7.8%	2.5%	2.4%	3.1%	4.2%	2.4%	5.9%
利用してトラブルがあった	5	1	2	1	0	0	4	0
	1.3%	2.0%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
その他	13	4	3	6	8	6	2	0
	3.3%	7.8%	2.5%	2.8%	3.1%	8.5%	4.8%	0.0%
特に困ったことはない	95	16	34	44	48	32	9	7
	24.4%	31.4%	28.1%	20.9%	18.4%	45.1%	21.4%	20.6%
福祉サービスを利用したことがない	130	10	38	82	98	7	12	10
	33.3%	19.6%	31.4%	38.9%	37.5%	9.9%	28.6%	29.4%
無回答	38	1	7	27	29	3	1	2
	9.7%	2.0%	5.8%	12.8%	11.1%	4.2%	2.4%	5.9%

【障がい児調査】

問. 福祉サービスを利用するときに何か困ったことはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

「どの事業所が良いのかわからない」が 42.4%と最も高く、次いで、「日程や時間が合わず、サービスが使えなかった」の 29.3%、「事業所情報が不十分」の 24.2%の順となっている。



	単純集計 全体	年齢		
		0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
どの事業所が良いのかわからない	42 42.4%	10 37.0%	25 48.1%	7 36.8%
日程や時間が合わず、サービスが使えなかった	29 29.3%	5 18.5%	16 30.8%	8 42.1%
事業所情報が不十分	24 24.2%	4 14.8%	16 30.8%	4 21.1%
サービスの支給量が少ない	15 15.2%	1 3.7%	10 19.2%	4 21.1%
利用方法、契約の方法がわからなかった (わかりにくかった)	13 13.1%	3 11.1%	7 13.5%	3 15.8%
どんなサービスがあるのかわからない	10 10.1%	3 11.1%	5 9.6%	2 10.5%
利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	7 7.1%	1 3.7%	4 7.7%	2 10.5%
利用してトラブルがあった	1 1.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%
その他	10 10.1%	1 3.7%	6 11.5%	3 15.8%
特に困ったことはない	19 19.2%	8 29.6%	11 21.2%	0 0.0%
福祉サービスを利用したことがない	8 8.1%	2 7.4%	5 9.6%	0 0.0%
無回答	3 3.0%	1 3.7%	0 0.0%	2 10.5%

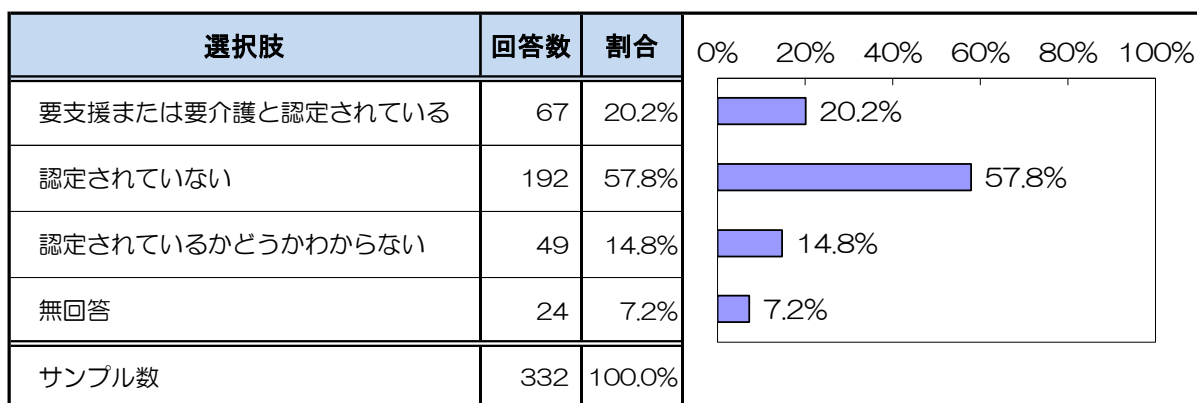
(2) 介護保険認定状況

【障がい者調査】

(40歳以上の方)

問. 介護保険において要支援または要介護と認定されていますか。(〇は1つだけ)

「要支援または要介護と認定されている」が20.2%、「認定されていない」が57.8%、「認定されているかどうかわからない」が14.8%となっている。



	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	332 100.0%	0 -	121 100.0%	211 100.0%	248 100.0%	42 100.0%	26 100.0%	33 100.0%
要支援または要介護と認定されている	67 20.2%	0 -	11 9.1%	56 26.5%	61 24.6%	4 9.5%	3 11.5%	14 42.4%
認定されていない	192 57.8%	0 -	79 65.3%	113 53.6%	135 54.4%	27 64.3%	15 57.7%	12 36.4%
認定されているかどうかわからない	49 14.8%	0 -	24 19.8%	25 11.8%	35 14.1%	9 21.4%	7 26.9%	6 18.2%
無回答	24 7.2%	0 -	7 5.8%	17 8.1%	17 6.9%	2 4.8%	1 3.8%	1 3.0%

9 相談相手について

【障がい者調査】

問. ご本人が生活をしていく上で、悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「家族・親戚」が 65.4%と最も高く、次いで、「医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者」の 36.7%、「福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員」の 25.1%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
家族・親戚	255	65.4%	65.4%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	143	36.7%	36.7%
福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	98	25.1%	25.1%
知人・友人	81	20.8%	20.8%
同じ病気や障がいのある仲間	37	9.5%	9.5%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センター、地域包括支援センターを含む）	31	7.9%	7.9%
会社の人、学校の先生	15	3.8%	3.8%
社会福祉協議会	14	3.6%	3.6%
民生委員・児童委員	8	2.1%	2.1%
障がい者団体や当事者団体	8	2.1%	2.1%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	6	1.5%	1.5%
健康増進課	3	0.8%	0.8%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	2	0.5%	0.5%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	1	0.3%	0.3%
その他	9	2.3%	2.3%
相談するところがない	5	1.3%	1.3%
相談するところがない	5	1.3%	1.3%
相談するほどの悩みや困ったことはない	34	8.7%	8.7%
無回答	19	4.9%	4.9%
サンプル数	390	—	

第2章 調査結果

	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親戚	255	36	83	131	174	51	30	21
	65.4%	70.6%	68.6%	62.1%	66.7%	71.8%	71.4%	61.8%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	143	21	47	75	100	20	22	20
	36.7%	41.2%	38.8%	35.5%	38.3%	28.2%	52.4%	58.8%
福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	98	30	33	33	41	53	15	9
	25.1%	58.8%	27.3%	15.6%	15.7%	74.6%	35.7%	26.5%
知人・友人	81	16	36	28	49	14	13	4
	20.8%	31.4%	29.8%	13.3%	18.8%	19.7%	31.0%	11.8%
同じ病気や障がいのある仲間	37	13	12	12	18	12	10	4
	9.5%	25.5%	9.9%	5.7%	6.9%	16.9%	23.8%	11.8%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センター、地域包括支援センターを含む）	31	5	7	19	22	6	3	2
	7.9%	9.8%	5.8%	9.0%	8.4%	8.5%	7.1%	5.9%
会社の人、学校の先生	15	8	6	1	5	5	3	0
	3.8%	15.7%	5.0%	0.5%	1.9%	7.0%	7.1%	0.0%
社会福祉協議会	14	3	7	4	5	1	5	1
	3.6%	5.9%	5.8%	1.9%	1.9%	1.4%	11.9%	2.9%
民生委員・児童委員	8	1	2	5	4	2	1	1
	2.1%	2.0%	1.7%	2.4%	1.5%	2.8%	2.4%	2.9%
障がい者団体や当事者団体	8	0	5	3	8	1	0	1
	2.1%	0.0%	4.1%	1.4%	3.1%	1.4%	0.0%	2.9%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	6	2	4	0	4	0	2	1
	1.5%	3.9%	3.3%	0.0%	1.5%	0.0%	4.8%	2.9%
健康増進課	3	0	2	1	2	0	1	1
	0.8%	0.0%	1.7%	0.5%	0.8%	0.0%	2.4%	2.9%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	2	1	1	0	0	0	1	0
	0.5%	2.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	1	0	1	0	0	0	1	0
	0.3%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
その他	9	1	4	4	6	1	1	0
	2.3%	2.0%	3.3%	1.9%	2.3%	1.4%	2.4%	0.0%
相談するところがない	5	0	2	2	1	0	2	0
	1.3%	0.0%	1.7%	0.9%	0.4%	0.0%	4.8%	0.0%
相談するところわからない	5	0	2	3	3	0	1	0
	1.3%	0.0%	1.7%	1.4%	1.1%	0.0%	2.4%	0.0%
相談するほどの悩みや困ったことはない	34	1	2	31	25	3	3	1
	8.7%	2.0%	1.7%	14.7%	9.6%	4.2%	7.1%	2.9%
無回答	19	1	5	12	13	0	1	0
	4.9%	2.0%	4.1%	5.7%	5.0%	0.0%	2.4%	0.0%

【障がい児調査】

問. お子さんのことで悩んでいることや困っていることについて、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「家族・親戚」が83.8%と最も高く、次いで、「通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員」の72.7%、「保育所(園)職員・幼稚園教諭・学校教職員」の65.7%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
家族・親戚	83	83.8%	83.8%
通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	72	72.7%	72.7%
保育所(園)職員・幼稚園教諭・学校教職員	65	65.7%	65.7%
知人・友人	56	56.6%	56.6%
同じ病気や障がいをもつ子の保護者	36	36.4%	36.4%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	34	34.3%	34.3%
子どもみらい課(子ども相談支援センターを含む)	19	19.2%	19.2%
児童発達支援センター	14	14.1%	14.1%
健康増進課(市の保健センターを含む)	8	8.1%	8.1%
社会福祉協議会	4	4.0%	4.0%
障がい者団体や当事者団体	4	4.0%	4.0%
長寿・障害福祉課(基幹相談支援センターを含む)	2	2.0%	2.0%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	2	2.0%	2.0%
民生委員・児童委員	0	0.0%	0.0%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	0	0.0%	0.0%
その他	1	1.0%	1.0%
相談するところがない	0	0.0%	0.0%
相談するところがない	0	0.0%	0.0%
相談するほどの悩みや困ったことはない	2	2.0%	2.0%
無回答	1	1.0%	1.0%
サンプル数	99	—	

第2章 調査結果

	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
家族・親戚	83 83.8%	26 96.3%	41 78.8%	15 78.9%
通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	72 72.7%	21 77.8%	36 69.2%	15 78.9%
保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員	65 65.7%	20 74.1%	35 67.3%	10 52.6%
知人・友人	56 56.6%	20 74.1%	24 46.2%	11 57.9%
同じ病気や障がいをもつ子の保護者	36 36.4%	12 44.4%	19 36.5%	5 26.3%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	34 34.3%	10 37.0%	17 32.7%	7 36.8%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	19 19.2%	5 18.5%	9 17.3%	5 26.3%
児童発達支援センター	14 14.1%	5 18.5%	7 13.5%	2 10.5%
健康増進課（市の保健センターを含む）	8 8.1%	2 7.4%	5 9.6%	1 5.3%
社会福祉協議会	4 4.0%	1 3.7%	1 1.9%	1 5.3%
障がい者団体や当事者団体	4 4.0%	2 7.4%	1 1.9%	1 5.3%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センターを含む）	2 2.0%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	2 2.0%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%
民生委員・児童委員	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
相談するところがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
相談するところがない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
相談するほどの悩みや困ったことはない	2 2.0%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%
無回答	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%

10 成年後見制度について

【障がい者調査】

問. 障がいや高齢化などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。また、利用したいですか。(〇は1つだけ)

「成年後見制度をすでに利用している」が1.5%、「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」が9.7%、「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」が42.3%、「どのような制度か知らない」が39.2%となっている。

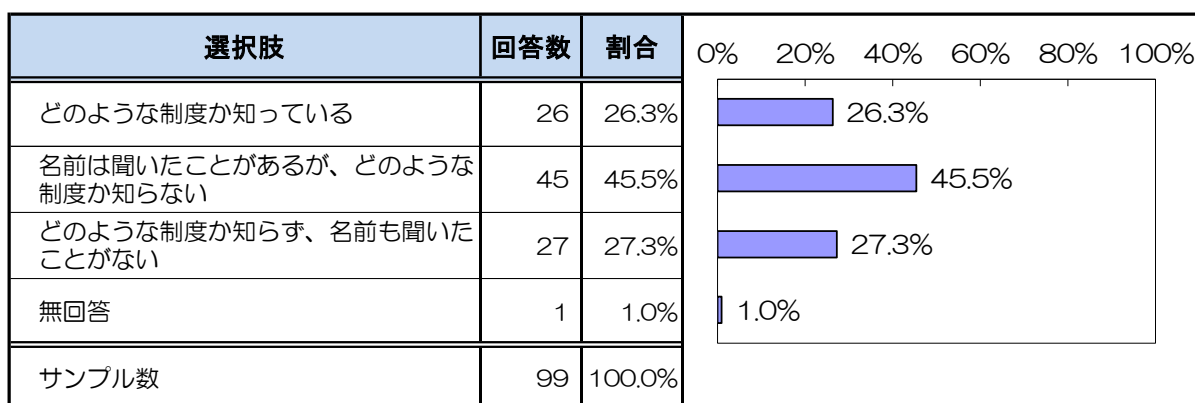
選択肢	回答数	割合
成年後見制度をすでに利用している	6	1.5%
どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい	38	9.7%
どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない	165	42.3%
どのような制度か知らない	153	39.2%
無回答	28	7.2%
サンプル数	390	100.0%

	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390 100.0%	51 100.0%	121 100.0%	211 100.0%	261 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	34 100.0%
成年後見制度をすでに利用している	6 1.5%	0 0.0%	2 1.7%	4 1.9%	5 1.9%	3 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい	38 9.7%	6 11.8%	12 9.9%	19 9.0%	30 11.5%	9 12.7%	4 9.5%	3 8.8%
どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない	165 42.3%	20 39.2%	43 35.5%	101 47.9%	118 45.2%	23 32.4%	13 31.0%	19 55.9%
どのような制度か知らない	153 39.2%	25 49.0%	58 47.9%	68 32.2%	87 33.3%	35 49.3%	22 52.4%	11 32.4%
無回答	28 7.2%	0 0.0%	6 5.0%	19 9.0%	21 8.0%	1 1.4%	3 7.1%	1 2.9%

【障がい児調査】

問. 障がいや高齢化などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。(〇は1つだけ)

「どのような制度か知っている」が 26.3%、「名前は聞いたことがあるが、どのような制度か知らない」が 45.5%、「どのような制度か知らず、名前も聞いたことがない」が 27.3%となっている。





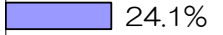
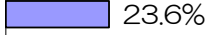
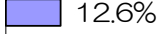
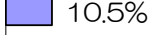
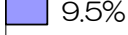
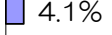
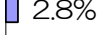
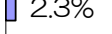
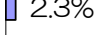
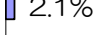
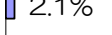
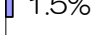
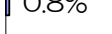
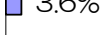
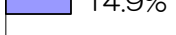
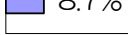
	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
どのような制度か知っている	26	4	19	3
	26.3%	14.8%	36.5%	15.8%
名前は聞いたことがあるが、どのような制度か知らない	45	14	19	12
	45.5%	51.9%	36.5%	63.2%
どのような制度か知らず、名前も聞いたことがない	27	9	14	3
	27.3%	33.3%	26.9%	15.8%
無回答	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%

11 情報の入手方法について

【障がい者調査】

問. 症状や障がいのこと、自分が使える福祉サービスのことについて、どのように情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

「医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者」が27.2%と最も高く、次いで、「家族・親戚」の25.6%、「市報や市のリーフレット、市のホームページ」の24.1%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	106	27.2%	 27.2%
家族・親戚	100	25.6%	 25.6%
市報や市のリーフレット、市のホームページ	94	24.1%	 24.1%
福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	92	23.6%	 23.6%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センター、地域包括支援センターを含む）	49	12.6%	 12.6%
知人・友人	41	10.5%	 10.5%
同じ病気や障がいのある仲間	37	9.5%	 9.5%
社会福祉協議会	16	4.1%	 4.1%
障がい者団体や当事者団体	11	2.8%	 2.8%
会社の人、学校の先生	9	2.3%	 2.3%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	9	2.3%	 2.3%
民生委員・児童委員	8	2.1%	 2.1%
健康増進課	8	2.1%	 2.1%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	6	1.5%	 1.5%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	3	0.8%	 0.8%
その他	14	3.6%	 3.6%
特に情報を得る機会がない	58	14.9%	 14.9%
無回答	34	8.7%	 8.7%
サンプル数	390	—	

第2章 調査結果

	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	106	16	31	59	70	14	20	12
	27.2%	31.4%	25.6%	28.0%	26.8%	19.7%	47.6%	35.3%
家族・親戚	100	21	26	51	65	22	13	11
	25.6%	41.2%	21.5%	24.2%	24.9%	31.0%	31.0%	32.4%
市報や市のリーフレット、市のホームページ	94	6	33	55	73	8	6	9
	24.1%	11.8%	27.3%	26.1%	28.0%	11.3%	14.3%	26.5%
福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	92	27	29	34	38	47	18	7
	23.6%	52.9%	24.0%	16.1%	14.6%	66.2%	42.9%	20.6%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センター、地域包括支援センターを含む）	49	8	13	27	32	10	8	2
	12.6%	15.7%	10.7%	12.8%	12.3%	14.1%	19.0%	5.9%
知人・友人	41	7	13	21	30	5	7	2
	10.5%	13.7%	10.7%	10.0%	11.5%	7.0%	16.7%	5.9%
同じ病気や障がいのある仲間	37	10	13	13	23	11	10	6
	9.5%	19.6%	10.7%	6.2%	8.8%	15.5%	23.8%	17.6%
社会福祉協議会	16	1	7	8	11	0	3	3
	4.1%	2.0%	5.8%	3.8%	4.2%	0.0%	7.1%	8.8%
障がい者団体や当事者団体	11	1	8	2	9	2	1	0
	2.8%	2.0%	6.6%	0.9%	3.4%	2.8%	2.4%	0.0%
会社の人、学校の先生	9	4	3	2	5	3	1	1
	2.3%	7.8%	2.5%	0.9%	1.9%	4.2%	2.4%	2.9%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	9	0	6	3	8	0	1	2
	2.3%	0.0%	5.0%	1.4%	3.1%	0.0%	2.4%	5.9%
民生委員・児童委員	8	0	2	6	5	1	2	0
	2.1%	0.0%	1.7%	2.8%	1.9%	1.4%	4.8%	0.0%
健康増進課	8	0	3	5	7	0	1	1
	2.1%	0.0%	2.5%	2.4%	2.7%	0.0%	2.4%	2.9%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	6	2	4	0	4	0	2	1
	1.5%	3.9%	3.3%	0.0%	1.5%	0.0%	4.8%	2.9%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	3	2	0	0	0	1	1	0
	0.8%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	2.4%	0.0%
その他	14	3	7	4	8	1	5	2
	3.6%	5.9%	5.8%	1.9%	3.1%	1.4%	11.9%	5.9%
特に情報を得る機会がない	58	3	21	33	39	10	4	4
	14.9%	5.9%	17.4%	15.6%	14.9%	14.1%	9.5%	11.8%
無回答	34	0	5	26	26	0	3	3
	8.7%	0.0%	4.1%	12.3%	10.0%	0.0%	7.1%	8.8%

【障がい児調査】

問. 発達に関する不安や障がいのこと、お子さんが使えるサービスのことについて、どのように情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

「通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員」が75.8%と最も高く、次いで、「保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員」の34.3%、「知人・友人」の32.3%の順となっている。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	75	75.8%	75.8%
保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員	34	34.3%	34.3%
知人・友人	32	32.3%	32.3%
同じ病気や障がいをもつ子の保護者	28	28.3%	28.3%
市の広報、リーフレット、ホームページ	26	26.3%	26.3%
家族・親戚	18	18.2%	18.2%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	18	18.2%	18.2%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	13	13.1%	13.1%
児童発達支援センター	13	13.1%	13.1%
健康増進課（市の保健センターを含む）	7	7.1%	7.1%
社会福祉協議会	4	4.0%	4.0%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センターを含む）	3	3.0%	3.0%
障がい者団体や当事者団体	3	3.0%	3.0%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	2	2.0%	2.0%
民生委員・児童委員	0	0.0%	0.0%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	0	0.0%	0.0%
その他	4	4.0%	4.0%
特に情報を得る機会がない	6	6.1%	6.1%
無回答	2	2.0%	2.0%
サンプル数	99	-	

第2章 調査結果

	単純集計 全体	年齢		
		0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員	75 75.8%	22 81.5%	39 75.0%	13 68.4%
保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員	34 34.3%	9 33.3%	18 34.6%	6 31.6%
知人・友人	32 32.3%	9 33.3%	13 25.0%	10 52.6%
同じ病気や障がいをもつ子の保護者	28 28.3%	7 25.9%	16 30.8%	5 26.3%
市の広報、リーフレット、ホームページ	26 26.3%	10 37.0%	12 23.1%	4 21.1%
家族・親戚	18 18.2%	5 18.5%	9 17.3%	4 21.1%
医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	18 18.2%	4 14.8%	11 21.2%	3 15.8%
子どもみらい課（子ども相談支援センターを含む）	13 13.1%	5 18.5%	6 11.5%	2 10.5%
児童発達支援センター	13 13.1%	6 22.2%	5 9.6%	2 10.5%
健康増進課（市の保健センターを含む）	7 7.1%	3 11.1%	4 7.7%	0 0.0%
社会福祉協議会	4 4.0%	1 3.7%	2 3.8%	0 0.0%
長寿・障害福祉課（基幹相談支援センターを含む）	3 3.0%	1 3.7%	2 3.8%	0 0.0%
障がい者団体や当事者団体	3 3.0%	2 7.4%	1 1.9%	0 0.0%
インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	2 2.0%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%
民生委員・児童委員	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
健康増進課、子どもみらい課、長寿・障害福祉課以外の行政機関の相談窓口	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4 4.0%	1 3.7%	2 3.8%	1 5.3%
特に情報を得る機会がない	6 6.1%	1 3.7%	4 7.7%	1 5.3%
無回答	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%

12 災害時の避難などについて

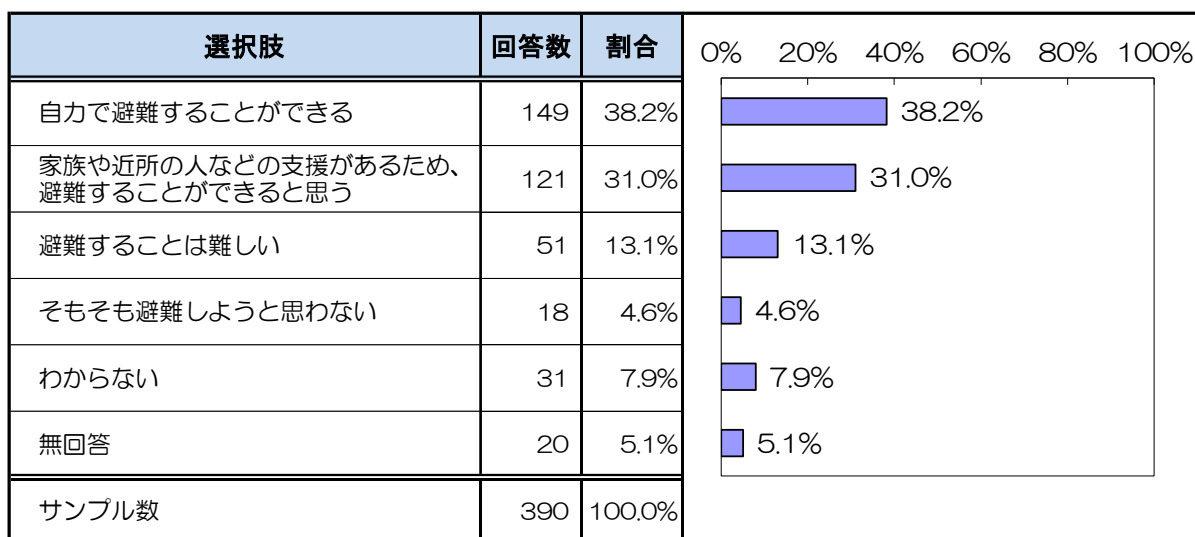
(1) 自力での避難の可否

【障がい者調査】

問. 火事や風水害、地震等の災害時に避難することができますか。

(○は1つだけ)

「自力で避難することができる」が 38.2%と最も高く、次いで、「家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う」の 31.0%、「避難することは難しい」の 13.1%の順となっている。

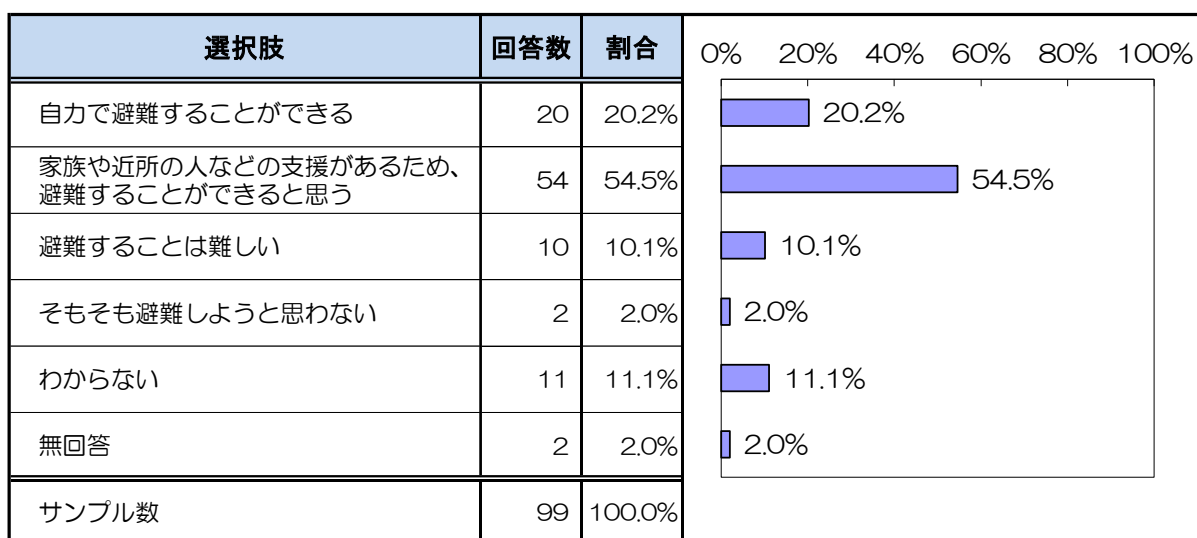


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自力で避難することができる	149	23	52	71	92	14	28	7
	38.2%	45.1%	43.0%	33.6%	35.2%	19.7%	66.7%	20.6%
家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う	121	16	29	74	82	36	3	12
	31.0%	31.4%	24.0%	35.1%	31.4%	50.7%	7.1%	35.3%
避難することは難しい	51	8	15	26	40	9	2	7
	13.1%	15.7%	12.4%	12.3%	15.3%	12.7%	4.8%	20.6%
そもそも避難しようと思わない	18	0	7	11	11	6	2	2
	4.6%	0.0%	5.8%	5.2%	4.2%	8.5%	4.8%	5.9%
わからない	31	4	14	13	21	5	5	4
	7.9%	7.8%	11.6%	6.2%	8.0%	7.0%	11.9%	11.8%
無回答	20	0	4	16	15	1	2	2
	5.1%	0.0%	3.3%	7.6%	5.7%	1.4%	4.8%	5.9%

【障がい児調査】

問. お子さんは、火事や風水害、地震などの災害時に避難することができると思いますか。(○は1つだけ)

「家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う」が54.5%と最も高く、次いで、「自力で避難することができる」の20.2%、「わからない」の11.1%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
自力で避難することができる	20 20.2%	1 3.7%	17 32.7%	2 10.5%
家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う	54 54.5%	21 77.8%	21 40.4%	12 63.2%
避難することは難しい	10 10.1%	3 11.1%	4 7.7%	3 15.8%
そもそも避難しようと思わない	2 2.0%	1 3.7%	1 1.9%	0 0.0%
わからない	11 11.1%	1 3.7%	9 17.3%	0 0.0%
無回答	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%

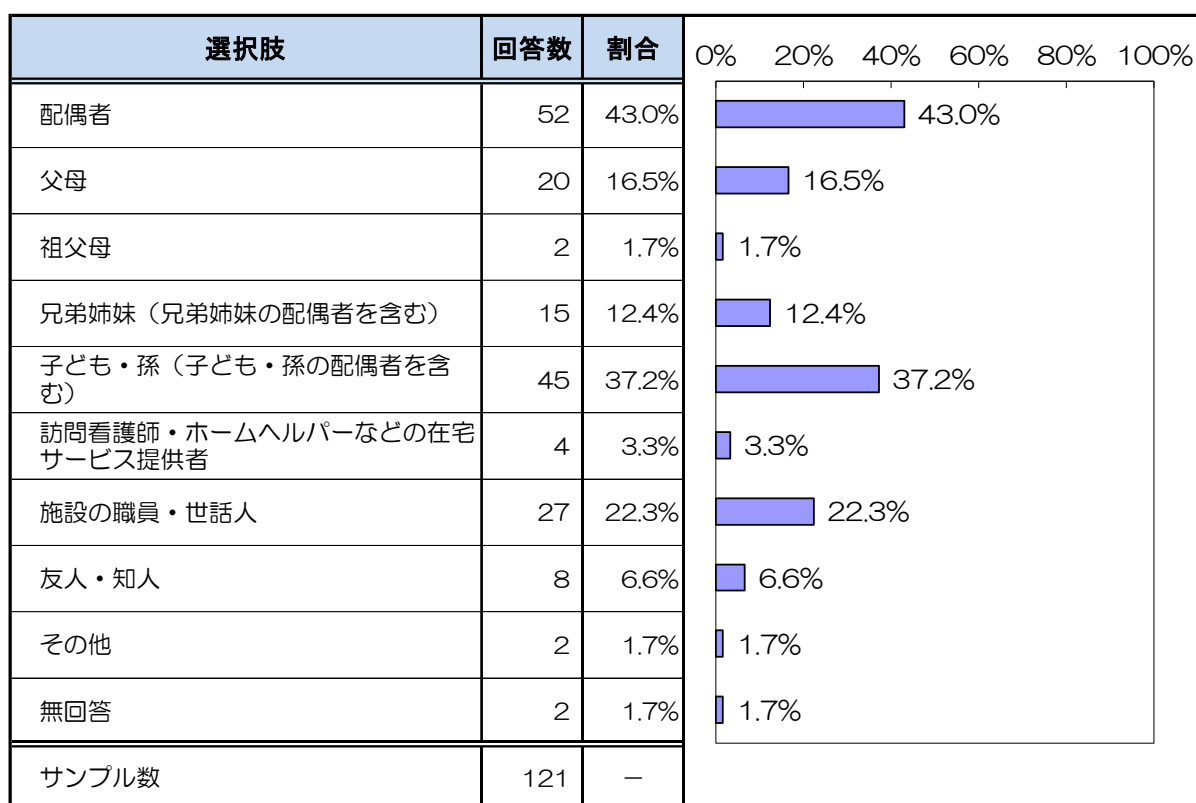
(2) 災害時における支援者の有無

【障がい者調査】

(災害時避難の際、家族や近所の人などの支援がある方)

問. 避難について、どなたが手伝ってくれますか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」が43.0%と最も高く、次いで、「子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）」の37.2%、「施設の職員・世話人」の22.3%の順となっている。



第2章 調査結果

	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	121 100.0%	16 100.0%	29 100.0%	74 100.0%	82 100.0%	36 100.0%	3 100.0%	12 100.0%
配偶者	52 43.0%	0 0.0%	11 37.9%	41 55.4%	46 56.1%	1 2.8%	1 33.3%	10 83.3%
父母	20 16.5%	16 100.0%	3 10.3%	0 0.0%	5 6.1%	14 38.9%	1 33.3%	0 0.0%
祖父母	2 1.7%	1 6.3%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%
兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	15 12.4%	6 37.5%	4 13.8%	5 6.8%	5 6.1%	6 16.7%	0 0.0%	1 8.3%
子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	45 37.2%	0 0.0%	6 20.7%	39 52.7%	43 52.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 58.3%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	4 3.3%	1 6.3%	0 0.0%	3 4.1%	2 2.4%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%
施設の職員・世話人	27 22.3%	4 25.0%	11 37.9%	12 16.2%	10 12.2%	20 55.6%	1 33.3%	1 8.3%
友人・知人	8 6.6%	2 12.5%	2 6.9%	4 5.4%	6 7.3%	1 2.8%	0 0.0%	1 8.3%
その他	2 1.7%	1 6.3%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.4%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%

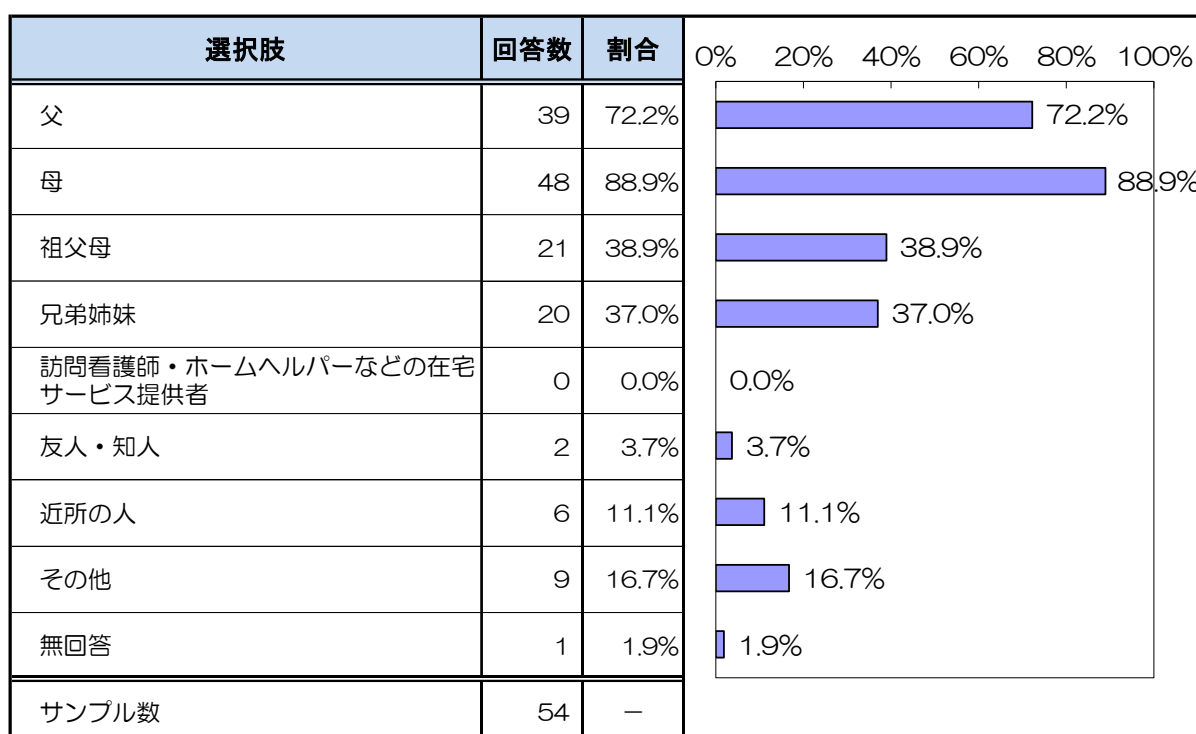
【障がい児調査】

（災害時避難の際、家族や近所の人などの支援がある方）

問. お子さんの避難について、手伝ってくれる人はどなたですか。

（あてはまるものすべてに○）

「母」が 88.9%と最も高く、次いで、「父」の 72.2%、「祖父母」の 38.9%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	54	21	21	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
父	39	17	13	9
	72.2%	81.0%	61.9%	75.0%
母	48	21	16	11
	88.9%	100.0%	76.2%	91.7%
祖父母	21	7	10	4
	38.9%	33.3%	47.6%	33.3%
兄弟姉妹	20	6	7	7
	37.0%	28.6%	33.3%	58.3%
訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
友人・知人	2	1	1	0
	3.7%	4.8%	4.8%	0.0%
近所の人	6	0	3	3
	11.1%	0.0%	14.3%	25.0%
その他	9	3	3	3
	16.7%	14.3%	14.3%	25.0%
無回答	1	0	1	0
	1.9%	0.0%	4.8%	0.0%

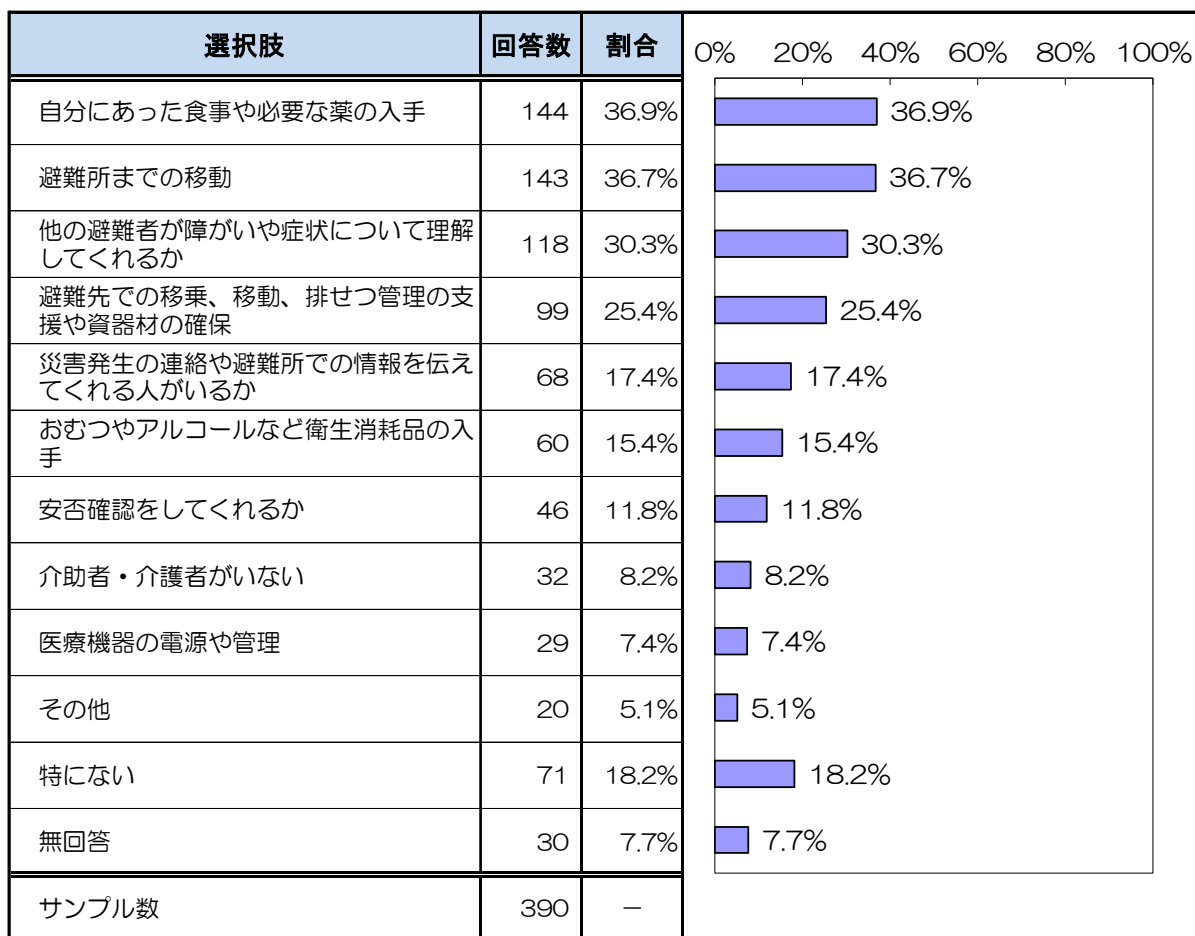
(3) 災害発生時や避難所生活について不安に思うこと

【障がい者調査】

問. 災害発生時や避難所での生活について、不安に思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

「自分にあった食事や必要な薬の入手」が 36.9%と最も高く、次いで、「避難所までの移動」の 36.7%、「他の避難者が障がいや症状について理解してくれるか」の 30.3%の順となっている。



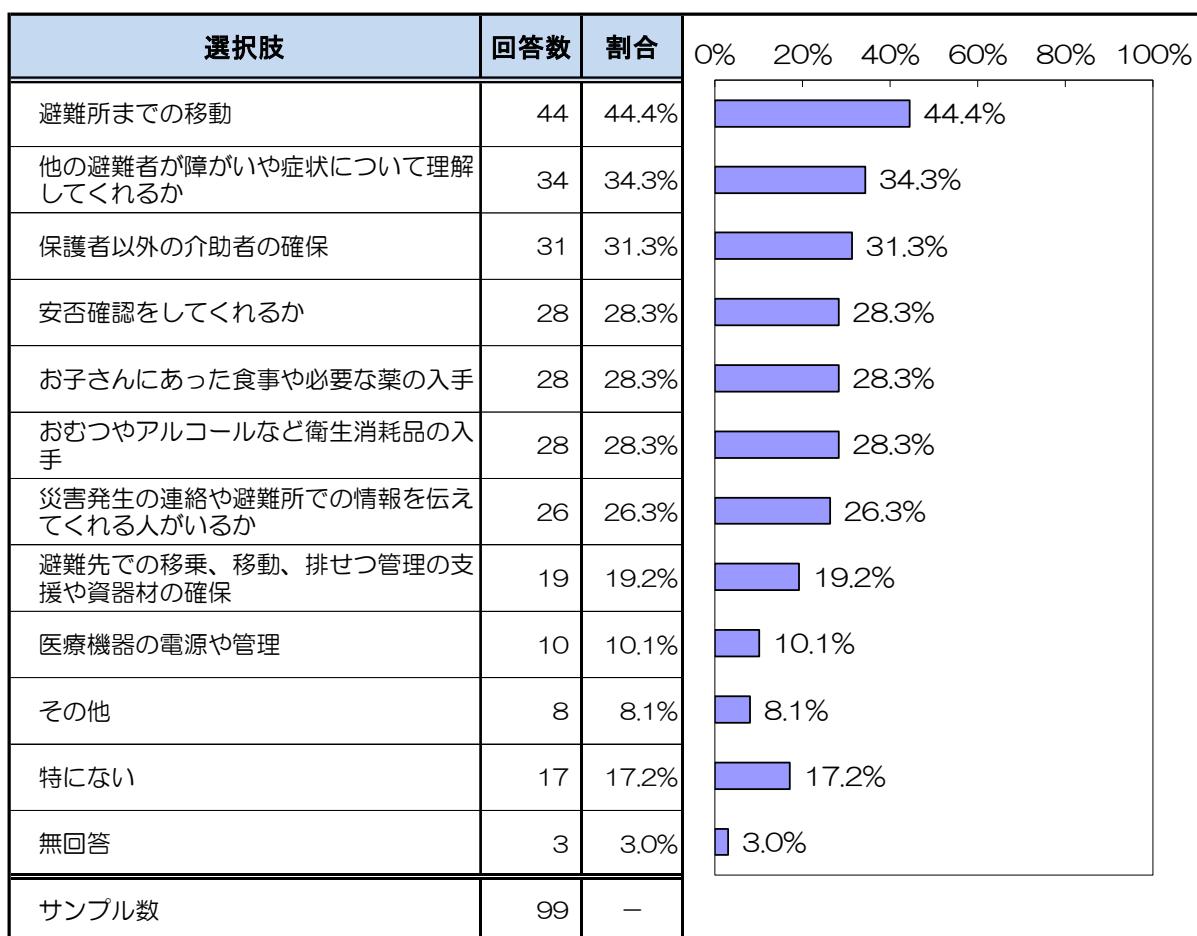
	単純集計 全体	年齢			手帳等所持状況			
		18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390 100.0%	51 100.0%	121 100.0%	211 100.0%	261 100.0%	71 100.0%	42 100.0%	34 100.0%
自分にあった食事や必要な薬の入手	144 36.9%	24 47.1%	46 38.0%	72 34.1%	92 35.2%	29 40.8%	19 45.2%	16 47.1%
避難所までの移動	143 36.7%	17 33.3%	38 31.4%	87 41.2%	104 39.8%	29 40.8%	12 28.6%	14 41.2%
他の避難者が障がいや症状について理解してくれるか	118 30.3%	26 51.0%	51 42.1%	40 19.0%	67 25.7%	32 45.1%	25 59.5%	13 38.2%
避難先での移乗、移動、排せつ管理の支援や資器材の確保	99 25.4%	6 11.8%	28 23.1%	63 29.9%	84 32.2%	14 19.7%	6 14.3%	14 41.2%
災害発生の連絡や避難所での情報を伝えてくれる人がいるか	68 17.4%	15 29.4%	23 19.0%	29 13.7%	40 15.3%	19 26.8%	10 23.8%	2 5.9%
おむつやアルコールなど衛生消耗品の入手	60 15.4%	5 9.8%	17 14.0%	37 17.5%	46 17.6%	12 16.9%	6 14.3%	8 23.5%
安否確認をしてくれるか	46 11.8%	10 19.6%	15 12.4%	20 9.5%	29 11.1%	12 16.9%	7 16.7%	1 2.9%
介助者・介護者がいない	32 8.2%	2 3.9%	8 6.6%	22 10.4%	26 10.0%	6 8.5%	1 2.4%	3 8.8%
医療機器の電源や管理	29 7.4%	1 2.0%	12 9.9%	16 7.6%	22 8.4%	2 2.8%	4 9.5%	7 20.6%
その他	20 5.1%	2 3.9%	11 9.1%	6 2.8%	9 3.4%	7 9.9%	4 9.5%	0 0.0%
特になし	71 18.2%	11 21.6%	20 16.5%	39 18.5%	42 16.1%	15 21.1%	5 11.9%	2 5.9%
無回答	30 7.7%	0 0.0%	6 5.0%	22 10.4%	21 8.0%	2 2.8%	0 0.0%	2 5.9%

【障がい児調査】

問. 災害発生時や避難所での生活で、不安に思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

「避難所までの移動」が 44.4%と最も高く、次いで、「他の避難者が障がいや症状について理解してくれるか」の 34.3%、「保護者以外の介助者の確保」の 31.3%の順となっている。



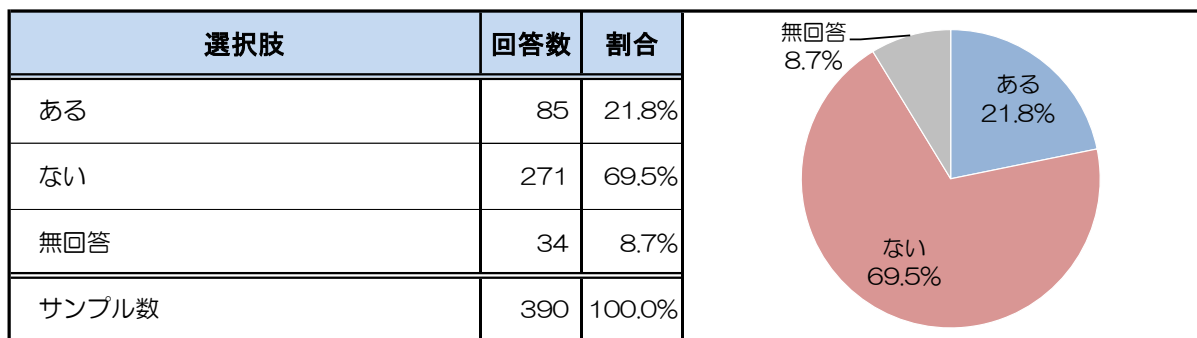
	単純集計 全体	年齢		
		0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
避難所までの移動	44 44.4%	12 44.4%	20 38.5%	11 57.9%
他の避難者が障がいや症状について理解してくれるか	34 34.3%	9 33.3%	20 38.5%	5 26.3%
保護者以外の介助者の確保	31 31.3%	5 18.5%	15 28.8%	11 57.9%
安否確認をしてくれるか	28 28.3%	11 40.7%	12 23.1%	5 26.3%
お子さんにあった食事や必要な薬の入手	28 28.3%	11 40.7%	10 19.2%	7 36.8%
おむつやアルコールなど衛生消耗品の入手	28 28.3%	12 44.4%	10 19.2%	6 31.6%
災害発生の連絡や避難所での情報を伝えてくれる人がいるか	26 26.3%	6 22.2%	13 25.0%	7 36.8%
避難先での移乗、移動、排せつ管理の支援や資器材の確保	19 19.2%	6 22.2%	9 17.3%	4 21.1%
医療機器の電源や管理	10 10.1%	3 11.1%	4 7.7%	3 15.8%
その他	8 8.1%	3 11.1%	5 9.6%	0 0.0%
特になし	17 17.2%	3 11.1%	11 21.2%	3 15.8%
無回答	3 3.0%	0 0.0%	2 3.8%	1 5.3%

13 権利擁護について

【障がい者調査】

問. これまでに差別をされたと感じたことはありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が21.8%、「ない」が69.5%となっている。

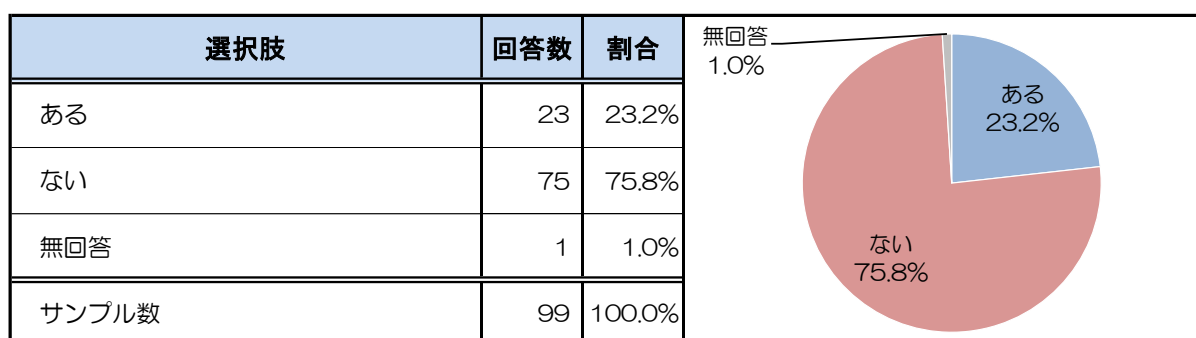


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	85	22	34	27	43	26	20	5
	21.8%	43.1%	28.1%	12.8%	16.5%	36.6%	47.6%	14.7%
ない	271	29	79	161	195	42	19	25
	69.5%	56.9%	65.3%	76.3%	74.7%	59.2%	45.2%	73.5%
無回答	34	0	8	23	23	3	3	4
	8.7%	0.0%	6.6%	10.9%	8.8%	4.2%	7.1%	11.8%

【障がい児調査】

問. これまでにお子さんに病気や障がいがあることで、差別をされたと感じたことはありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が23.2%、「ない」が75.8%となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99	27	52	19
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	23	4	12	6
	23.2%	14.8%	23.1%	31.6%
ない	75	23	40	12
	75.8%	85.2%	76.9%	63.2%
無回答	1	0	0	1
	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%

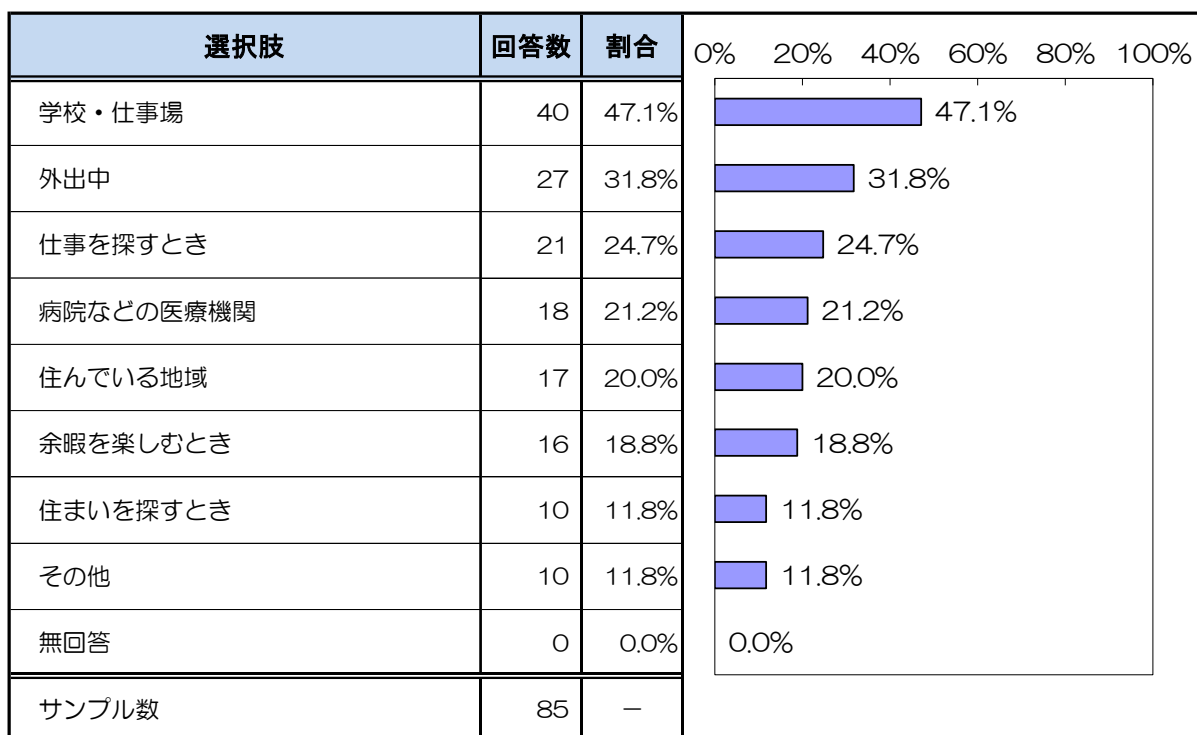
【障がい者調査】

(差別をされたと感じたことがある方)

問. どのような場所や場面で差別をされたと感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

「学校・仕事場」が 47.1%と最も高く、次いで、「外出中」の 31.8%、「仕事を探すとき」の 24.7%の順となっている。



	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18~39歳	40~64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	85	22	34	27	43	26	20	5
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
学校・仕事場	40	12	17	10	18	11	10	2
	47.1%	54.5%	50.0%	37.0%	41.9%	42.3%	50.0%	40.0%
外出中	27	8	11	6	17	9	6	1
	31.8%	36.4%	32.4%	22.2%	39.5%	34.6%	30.0%	20.0%
仕事を探すとき	21	4	10	6	10	2	8	1
	24.7%	18.2%	29.4%	22.2%	23.3%	7.7%	40.0%	20.0%
病院などの医療機関	18	4	8	5	8	3	7	2
	21.2%	18.2%	23.5%	18.5%	18.6%	11.5%	35.0%	40.0%
住んでいる地域	17	4	8	4	5	3	10	0
	20.0%	18.2%	23.5%	14.8%	11.6%	11.5%	50.0%	0.0%
余暇を楽しむとき	16	3	9	3	6	5	5	0
	18.8%	13.6%	26.5%	11.1%	14.0%	19.2%	25.0%	0.0%
住まいを探すとき	10	2	7	1	5	3	3	1
	11.8%	9.1%	20.6%	3.7%	11.6%	11.5%	15.0%	20.0%
その他	10	1	6	3	7	2	2	1
	11.8%	4.5%	17.6%	11.1%	16.3%	7.7%	10.0%	20.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

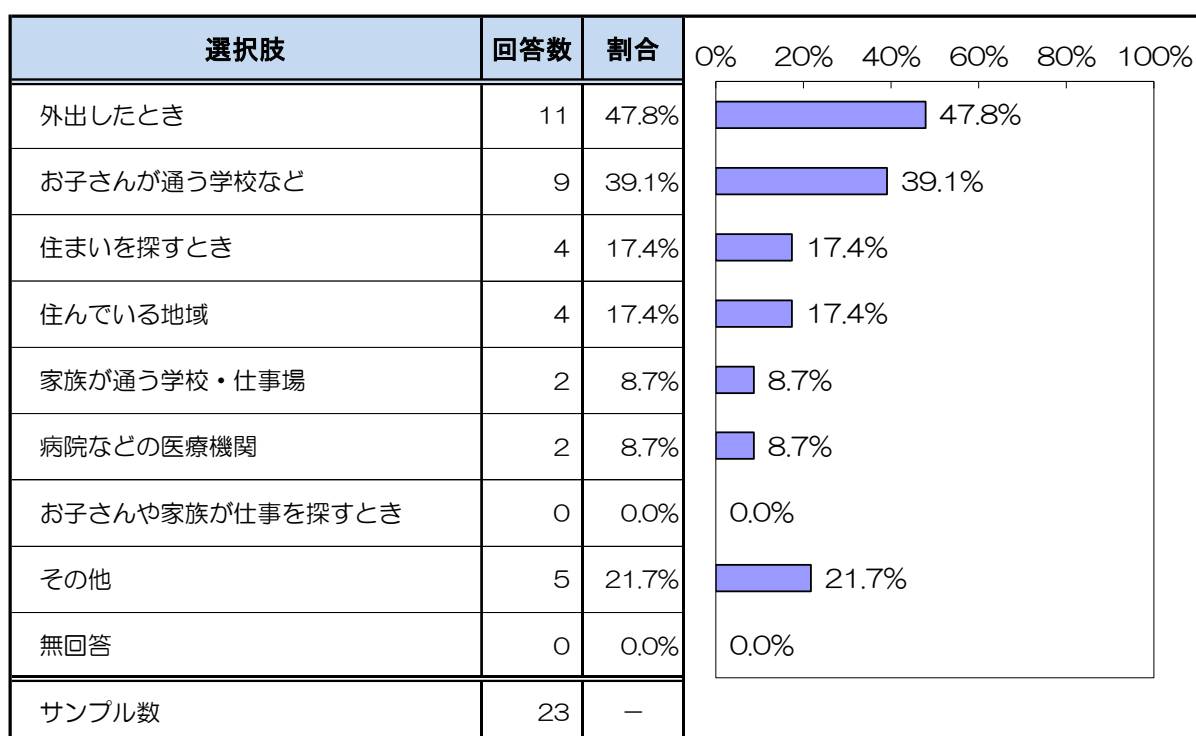
【障がい児調査】

(差別をされたと感じたことがある方)

問. どのような場所や場面で差別をされたと感じましたか。

(あてはまるものすべてに○)

「外出したとき」が 47.8%と最も高く、次いで、「お子さんが通う学校など」の 39.1%、「その他」の 21.7%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	23	4	12	6
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
外出したとき	11	2	6	3
	47.8%	50.0%	50.0%	50.0%
お子さんが通う学校など	9	1	5	2
	39.1%	25.0%	41.7%	33.3%
住まいを探すとき	4	0	3	1
	17.4%	0.0%	25.0%	16.7%
住んでいる地域	4	1	2	1
	17.4%	25.0%	16.7%	16.7%
家族が通う学校・仕事場	2	0	2	0
	8.7%	0.0%	16.7%	0.0%
病院などの医療機関	2	1	1	0
	8.7%	25.0%	8.3%	0.0%
お子さんや家族が仕事を探すとき	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5	1	3	1
	21.7%	25.0%	25.0%	16.7%
無回答	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

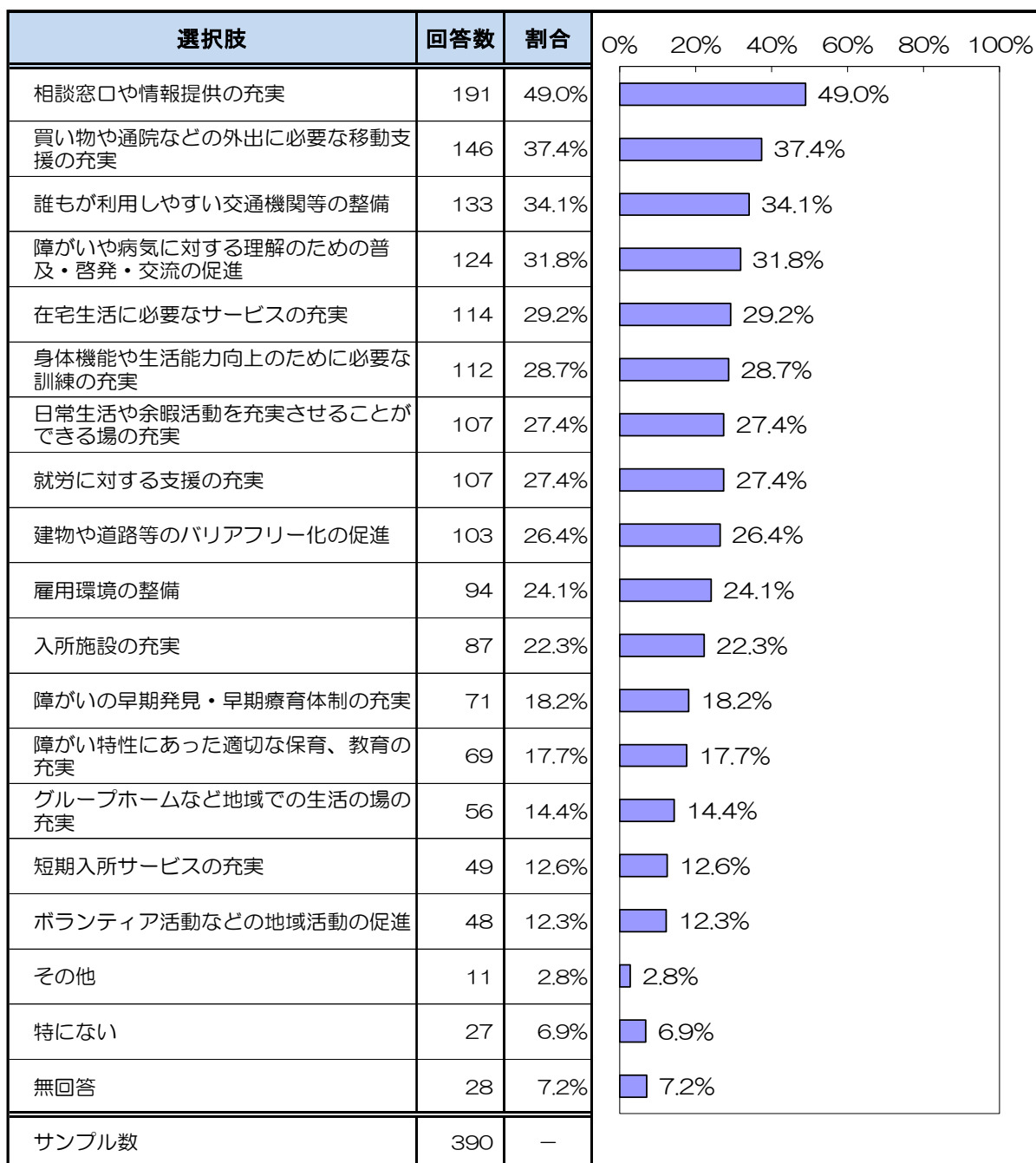
14 障がい者（児）のための取組について

(1) 障がい者の自立に必要な取組

【障がい者調査】

問. 障がい者が地域で自立して生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「相談窓口や情報提供の充実」が 49.0%と最も高く、次いで、「買い物や通院などの外出に必要な移動支援の充実」の 37.4%、「誰もが利用しやすい交通機関等の整備」の 34.1%の順となっている。

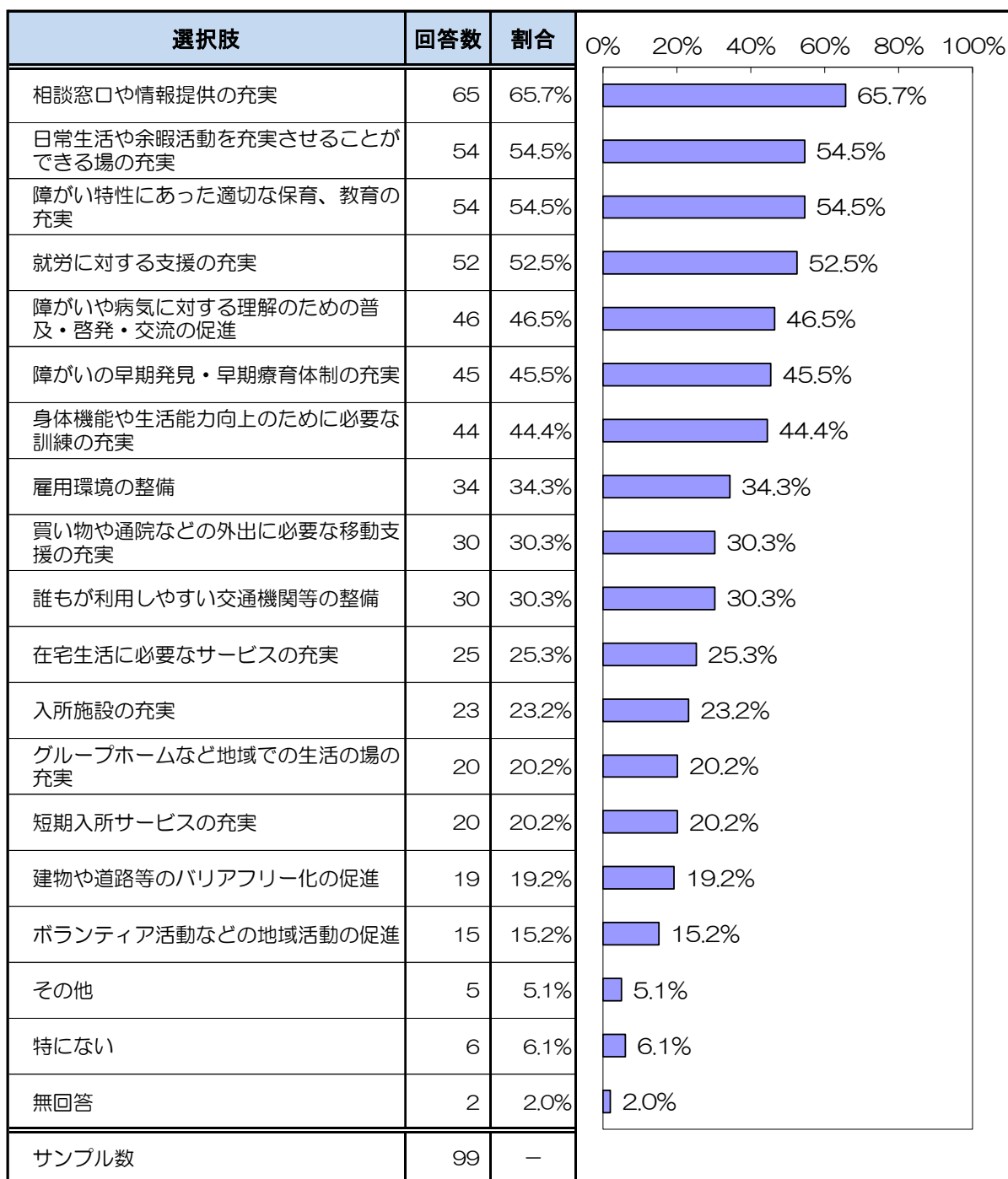


	単純集計	年齢			手帳等所持状況			
	全体	18～39歳	40～64歳	65歳以上	身体	療育	精神	難病
サンプル数	390	51	121	211	261	71	42	34
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
相談窓口や情報提供の充実	191	28	60	99	129	29	28	17
	49.0%	54.9%	49.6%	46.9%	49.4%	40.8%	66.7%	50.0%
買い物や通院などの外出に必要な移動支援の充実	146	18	45	79	99	26	16	16
	37.4%	35.3%	37.2%	37.4%	37.9%	36.6%	38.1%	47.1%
誰もが利用しやすい交通機関等の整備	133	20	44	65	87	24	16	15
	34.1%	39.2%	36.4%	30.8%	33.3%	33.8%	38.1%	44.1%
障がいや病気に対する理解のための普及・啓発・交流の促進	124	29	48	43	65	32	25	10
	31.8%	56.9%	39.7%	20.4%	24.9%	45.1%	59.5%	29.4%
在宅生活に必要なサービスの充実	114	12	36	62	86	16	9	12
	29.2%	23.5%	29.8%	29.4%	33.0%	22.5%	21.4%	35.3%
身体機能や生活能力向上のために必要な訓練の充実	112	18	36	55	78	24	14	7
	28.7%	35.3%	29.8%	26.1%	29.9%	33.8%	33.3%	20.6%
日常生活や余暇活動を充実させることができる場の充実	107	21	35	47	67	28	16	9
	27.4%	41.2%	28.9%	22.3%	25.7%	39.4%	38.1%	26.5%
就労に対する支援の充実	107	29	45	31	52	26	21	10
	27.4%	56.9%	37.2%	14.7%	19.9%	36.6%	50.0%	29.4%
建物や道路等のバリアフリー化の促進	103	18	33	49	77	18	7	13
	26.4%	35.3%	27.3%	23.2%	29.5%	25.4%	16.7%	38.2%
雇用環境の整備	94	24	43	24	49	20	17	12
	24.1%	47.1%	35.5%	11.4%	18.8%	28.2%	40.5%	35.3%
入所施設の充実	87	12	29	43	61	23	8	10
	22.3%	23.5%	24.0%	20.4%	23.4%	32.4%	19.0%	29.4%
障がいの早期発見・早期療育体制の充実	71	23	23	23	37	20	12	8
	18.2%	45.1%	19.0%	10.9%	14.2%	28.2%	28.6%	23.5%
障がい特性にあった適切な保育、教育の充実	69	21	27	18	35	21	13	6
	17.7%	41.2%	22.3%	8.5%	13.4%	29.6%	31.0%	17.6%
グループホームなど地域での生活の場の充実	56	12	18	25	32	19	6	4
	14.4%	23.5%	14.9%	11.8%	12.3%	26.8%	14.3%	11.8%
短期入所サービスの充実	49	8	12	26	37	9	4	7
	12.6%	15.7%	9.9%	12.3%	14.2%	12.7%	9.5%	20.6%
ボランティア活動などの地域活動の促進	48	9	16	21	29	9	7	7
	12.3%	17.6%	13.2%	10.0%	11.1%	12.7%	16.7%	20.6%
その他	11	2	8	1	5	2	2	0
	2.8%	3.9%	6.6%	0.5%	1.9%	2.8%	4.8%	0.0%
特になし	27	3	12	12	12	8	2	2
	6.9%	5.9%	9.9%	5.7%	4.6%	11.3%	4.8%	5.9%
無回答	28	1	4	22	24	3	1	3
	7.2%	2.0%	3.3%	10.4%	9.2%	4.2%	2.4%	8.8%

【障がい児調査】

問. 障がい者（児）が地域で自立して生活を送るために、重要と思う取り組みは何か。（あてはまるものすべてに○）

「相談窓口や情報提供の充実」が 65.7%と最も高く、次いで、「日常生活や余暇活動を充実させることができる場の充実」「障がい特性にあった適切な保育、教育の充実」の 54.5%の順となっている。



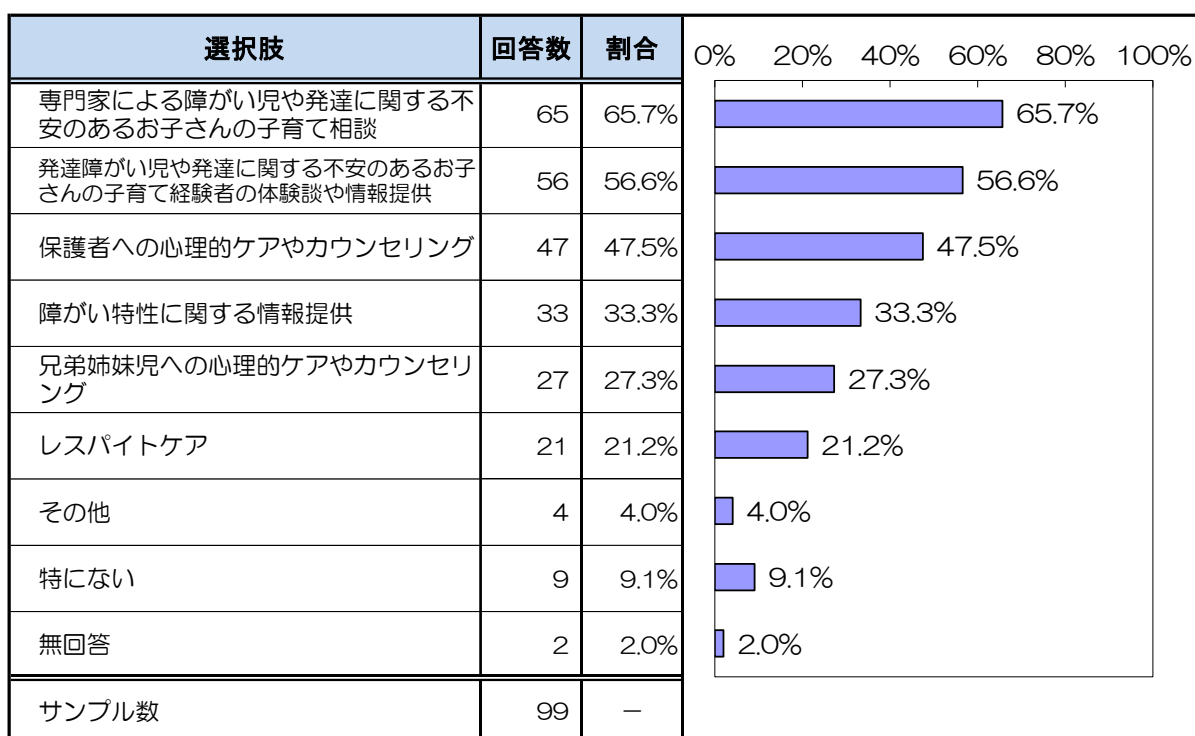
	単純集計 全体	年齢		
		0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
相談窓口や情報提供の充実	65 65.7%	18 66.7%	37 71.2%	10 52.6%
日常生活や余暇活動を充実させることができる場の充実	54 54.5%	15 55.6%	28 53.8%	11 57.9%
障がい特性にあった適切な保育、教育の充実	54 54.5%	16 59.3%	27 51.9%	11 57.9%
就労に対する支援の充実	52 52.5%	16 59.3%	27 51.9%	9 47.4%
障がいや病気に対する理解のための普及・啓発・交流の促進	46 46.5%	11 40.7%	27 51.9%	7 36.8%
障がいの早期発見・早期療育体制の充実	45 45.5%	15 55.6%	24 46.2%	6 31.6%
身体機能や生活能力向上のために必要な訓練の充実	44 44.4%	13 48.1%	22 42.3%	9 47.4%
雇用環境の整備	34 34.3%	11 40.7%	18 34.6%	5 26.3%
買い物や通院などの外出に必要な移動支援の充実	30 30.3%	12 44.4%	11 21.2%	7 36.8%
誰もが利用しやすい交通機関等の整備	30 30.3%	9 33.3%	14 26.9%	7 36.8%
在宅生活に必要なサービスの充実	25 25.3%	7 25.9%	12 23.1%	6 31.6%
入所施設の充実	23 23.2%	8 29.6%	12 23.1%	3 15.8%
グループホームなど地域での生活の場の充実	20 20.2%	6 22.2%	9 17.3%	5 26.3%
短期入所サービスの充実	20 20.2%	5 18.5%	10 19.2%	5 26.3%
建物や道路等のバリアフリー化の促進	19 19.2%	7 25.9%	8 15.4%	4 21.1%
ボランティア活動などの地域活動の促進	15 15.2%	5 18.5%	7 13.5%	3 15.8%
その他	5 5.1%	2 7.4%	3 5.8%	0 0.0%
特になし	6 6.1%	1 3.7%	4 7.7%	1 5.3%
無回答	2 2.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 5.3%

(2) 障がい児の家族に対する必要な支援

【障がい児調査】

問. 保護者や家族の方に対しての支援として必要性を感じているもの、又はあれば利用したいと思われるものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「専門家による障がい児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談」が65.7%と最も高く、次いで、「発達障がい児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て経験者の体験談や情報提供」の56.6%、「保護者への心理的ケアやカウンセリング」の47.5%の順となっている。



	単純集計	年齢		
	全体	0～5歳	6～11歳	12歳以上
サンプル数	99 100.0%	27 100.0%	52 100.0%	19 100.0%
専門家による障がい児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談	65 65.7%	20 74.1%	34 65.4%	10 52.6%
発達障がい児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て経験者の体験談や情報提供	56 56.6%	18 66.7%	28 53.8%	9 47.4%
保護者への心理的ケアやカウンセリング	47 47.5%	14 51.9%	26 50.0%	6 31.6%
障がい特性に関する情報提供	33 33.3%	7 25.9%	20 38.5%	6 31.6%
兄弟姉妹児への心理的ケアやカウンセリング	27 27.3%	9 33.3%	12 23.1%	6 31.6%
レスパイトケア	21 21.2%	6 22.2%	9 17.3%	6 31.6%
その他	4 4.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 10.5%
特になし	9 9.1%	2 7.4%	6 11.5%	1 5.3%
無回答	2 2.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 5.3%

(3) 自由意見

【障がい者調査】

問. 障がい福祉の各種制度・問題点、障がい者を取り巻く環境の改善等についてご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

・「福祉サービス」について

- アシストの月予定を1カ月前に出してくれたら、仕事があっても必要な休みをとって参加出来るんですが！作業所Aでも新聞配達など出来るようにしてほしい。各ジャンルの相談窓口の案内を病院に置いてくれたら助かったのに。相談出来るアシストがあつて助かっています。土日も何かイベントや講座があると、本人も参加しやすく、交流も出来るのではと。A型で土日しか休めない為。
- 始良市内に身体不自由者が成人（高校卒業～60才）が入れる入所施設。老人が入れる施設に入れるのはまだ可哀想な為。年金でやり繰り出来る利用料だと有難い。地元で暮らせるようにしてほしい。障がい者が利用出来る施設はまだまだ少ないと感じる。障がい児や高齢者の利用出来る所は増えているので、成人の障がい者が利用出来る所が増える事を願います。
- 兄がグループホームに入所しているが、朝食が出ず食パン3枚にマーガリンという食生活！！朝食は重労働者にとっても大切だと思われる。土曜日曜は自分で買い置きした弁当！！健康面を考えると心配しています。朝ごはんを提供して下さるグループホーム。土曜日曜の為の弁当を買い置きせず、新鮮な食事を提供して下さるグループホームを希望します。グループホーム以外を探した方が良いでしょうか…
- 視力障がい者が入居出来る施設を作ってほしい。
- 行動援護を利用したいが利用できる施設がない。
- 短期入所、日中一時預り等のサービスを受けられる事業所が少なく、霧島市の事業所を利用しています。移動支援出来る所もありません。
- 今は面会の時間を大幅に増やしてください。(コロナ前に戻してください)。コロナが少なくなる事が前提です。
- 鹿児島市などの先進的地域の福祉の取り組みに習って施設やサービスの向上を目指してほしい。例えば、精神保健福祉センターはーとぱーくや友愛パスなど充実してほしい。
- 就労支援B型を利用して働いてみようとした時、手続き等が多く長く、健常者と同じ位健康にならないと利用しにくいと思った。
- 現在色々な制度を使わせてもらっているので、特に要望等はありません。
- 障がいがあると余り外に出る事がないので、その人に合った何かあるといい。
- アシスト(地域交流支援センター)を土日も(イベントの)教員や職員を充実してほしい。鹿児島市では心臓病や障がい者の方は赤いリボンを入口に印しておく、チリ等気付いた人が持って行って下さるとの事。ボランティア活動いいなーと思う。
- 要介護の人達(一人暮らし)無料の夜間の見回り、福祉タクシーの無料(1回の利用料金が¥500位)、
- 県立始良病院のデイケアに週1回通っているが、送迎バスがあればタクシーを使わないで通えるのと思う。

- いつもタクシーを利用するので無料タクシー券があるといいな…。生活の事を考えると…。よろしくをお願いします。
- 本人は障がい者で 65 以上なので温泉券を貰えますが、足が悪く行く事が出来ません。利用出来ないのに貰っていませんが、タクシーチケットとしても使えたら助かります。
- 問 9（外出時の困りごと）、問 11（外出時に必要な支援・サービス）につきましては、要望になります…。病気になって一度も車の運転をしていません。回復していた時期でも、やはりハンドルを握るということの責任の重さ…を考え、万が一を想定して、移動、外出の時も運転していませんでした。そこで、タクシーチケットのようなものが補助としてあると大変助かります。両親も高齢で、免許返納もそう遠くないので、本当に困っています…。（そう多くは外出していませんが）外出の度、実費はとても高額で苦しいです…。どうかご検討いただけますと大変助かります。よろしく願い申し上げます。
- 始良では温泉券が貰えますが、障害の程度で使用出来ない方もいると思います。私の所も 1 人では温泉に行けず、誰か一緒にも思っても中々で、使用出来ません。障害のその人が使用出来る（1 人 1 人にあった物）の提供を、いくつか考え選択出来るようにしてほしい。
- 始良市健康チケットの「温泉チケット」を頂いていますが、難病の進行でバリアフリー付の温泉施設にも入浴出来ない状態になってしまった為（※危険も有）、せめて身体を清潔に保つための清拭剤等（清拭タオル、ウェットタオル）の購入助成、あるいは現物支給をお願いしたいです。又は、外出時に使用出来る簡易トイレも重宝すると思います。ご検討の程、宜しくお願い致します。
- 買物・コーヒーチケット欲しいです。
- 髪を切る時の割引券があったらいいなと思います（年に 1 回でいいです）髪切って染めたいです。
- 美容室に行く時のチケットがあれば良いですよ。
- 障がい者が利用する補聴器について、購入の補助金の支給・不支給の決定が不明です。医師が必要と認めたのに、不支給と言われました。線引きがわかりません。両耳難聴者は両耳に補聴器を付けますが、補助金は片方しか出ないと聞きました。おかしいと思う（決定者は県か市か？）。
- 障がい者認定されるまでおむつ代の補助が無かった。レシートがあれば遑って支給されたら助かると思う。おむつシートも高額なので補助対象に加えてほしい。毎日洗濯するのは難しく 2～3 枚は必要。
- 身障者の居る家族ですが、なるべく他人に頼らず自分達で出来る事をやるようにと心掛けています。どうしてもという時はお願いしようと思っています。行政の面でもお世話になっており助かります。宜しくお願い致します。

・「障がい者の人権（虐待、差別等）、障がい者への理解」について

- あと一部施設ですが、精神的苦痛を与える施設を指導して欲しいです。
- グループホームの虐待が近ごろ多く感じられます。ヘルパー員を雇うにしても、厳正なるチェックをして社員・パート社員を雇った方がいいと思います。
- ているので何の心配もしていませんが、将来何かあったら施設に入所させる事も考えています。最近テレビ等で施設内の職員の不祥事が多く見受けられ、将来施設に入れる事も不安に感じる事が多々あります。施設内の教育等されているとは思いますが、今一度職員等の教育に力を入れてもらい安心して入所させられるような環境を作って欲しいと思います。
- 外見では分かりにくい障害（知的障害・精神障害）の為、中々理解をもらえず、商業施設での心無い差別を息子は受けました。学校等でもっと障害の事を学べる様な事があればいいなと思います。
- 私はある店に行って”働きもしないでいい気なもんね”などと言われ深く傷付きました。見た目にも何も障がいがないからと何も考えず言う人は罰とまでは言いませんが、何とかならないのでしょうか？
- 健常者には理解されない。実際に障害者の立場にならなければ分からないと思う。改善点は全てに関して、まだまだ改善はされるべき。
- 自治会での活動でいつも参加しないと思われている。見た目は健常者に見える様でつらいです。
- 障がい者に対する環境が良くなったという実感は無いというのが本音です。障がい者やその家族はまだまだ肩身が狭いと言うか、平等とまでは言いにくいのでは！！周りの人の理解もまだまだだと思えます。これからの取り組みに期待したいと思えます。
- 障がい者に対する差別や偏見が限りなく強い為、生きづらさを感じ自殺願望しかない。結婚を考えている恋人がいても、何かと反対されるばかり。「障害の有るお前には無理だ」と。少子化対策を考えるのであれば、結婚出来る障害を持った人でも、子育て支援の協力を何かしらしてほしい（子供の成長に応じて学校の制服等の一部の免除 etc.）
- 住まいの確保と住民の理解。障がい者を見下してる限り何も変わらない。（今までの経験上）
- 障害を持つという事がどういう事か理解を持って欲しい（差別をなくす）。日本はまだ障がい者を健常者より下に見る方が多い。これでは障がい者が住みにくい世の中の原因の1つ。人間は皆平等であるという思いを持つ人が増えてほしい。その為に何がいいのか考えていただきたいです。
- 心臓の機能障害のための障害ですから、手足が動きます。今のところ娘と主人に手伝ってもらい生活しております。ありがとうございます。コロナで大変ですが御身体に気を付けてお仕事して下さいませ。外見がどうもないので障がい者として認めていただくのに、手帳を出して説明するという事が多くありましたので、最近は普通の人と同じようにして過ごしています。
- 親が子供の障害を受け入れない為、子供を苦しめている。教育の放棄にはならないのか？適切な検査・療養・支援を受けさせないのは児童虐待と思う。この方何か親に勧告等出来ないのですか？
- 先天性の脳障害を持っている叔母がいるのですが、今は身の回りの事など全て1人で出来障害を持たないと、身体が動くことが当然と考えてしまう思い込みに、共に陥らないように気をつけたいものです、
- 普通という言葉が苦手です。

- 一般の障がい者に対する理解の深化
- 障がい者と健常者の共生生活の理想追求

・「相談対応、手続き、障害年金」について

- 市役所に相談するといつも親切に対応して下さっています。
- 加治木支所に病気の事や障害の事をわかる係の人がいない。専門の方がいない。
- 自分自身障がい者ですが、金銭的面・母の意向で在宅で車椅子の母の介護（手伝い）をしなければならず、また自分自身も働いているので結構大変な思いをしています。そういう事を話せる場所があればと思います。
- 相談窓口の一本化。
- 当事者同士で語り合う場や保健所・福祉課の方との交流ミーティングも希望します。
- 病院とは別のカウンセリングの場。「痛院」と言う名前に抵抗のある方のための場がより多く必要だと思う。
- 精神的におかしい時に始良市役所（加治木）に生活保護のお願いをしに行った事がある。結局収入のある両親と共に生活しているという事で帰され、社会福祉協議会へ行くように言われた。そこでも同じ答えだった。制度理屈は分かるのだが、精神科や心理相談室などに繋いでくれればよかったのと思う事があった。冷たいものだと思直感じた事がある。結局、県や鹿児島市にある施設まで行く事だった。窓口についても正規職員は挨拶する者は少なく、パートが頑張っている。おかしい話だ。
- いつもお世話になり感謝しています。
- 始良市役所関係では、生活保護を受けさせていただいたり、市役所の方達の接客やその他色々、とても満足しています。これからも宜しくお願い申し上げます。いつもありがとうございます。
- 障害年金の申請が通りづらい。（運転免許あり、結婚している、同等の病状でも病名が違う）等が理由に感じた。

・「バリアフリー」について

- バスの乗り降り段差の高さが大変です。
- 始良市役所・加治木支所共に、障害者用駐車場は有りますが、手すりまで距離が有るのではないのでしょうか？乗降スペースは確保されているのでしょうか？
- 障害者手帳所有者は高速道利用の時、料金所で「障害者手帳」を提示しなければならない。その為に料金所で ETC 利用が出来ない。ETC 機器を搭載しても「障がい者手帳提示義務」の為、「一般料金ゲート」を使用しなければならない。当市のスマートインターチェンジも利用出来ない。
- 私が住んでいる所はまだまだ生活環境としては今から始まる感じです。私の障害は歩行が難しく車椅子移動なので出来れば傾きの無い、段差の無い、ガタガタの無い、歩行者通路と（特に車道側に傾いている所が怖い）もう少し信号機の時間が欲しい（場所により、広始良市市役所建設中ですが、各階に障がい者専用のトイレを設置願います。（もう既に設計図されていると思いますが） ※介護者も一緒に入れるスペースで。

- 障がい者になり 10 年近くになりますが、民生委員の方の訪問を受けた事はありません。車椅子生活の為、外出時は電動カーを利用しています。道路や歩道がわれている為、ガタガタと揺れが酷く、身体に影響が大きく、帰宅後は寝込んでしまいます。道路、特に路地などの整備等充実してほしいです。
- 障がい者用トイレ不足、古い公共施設のトイレが未だに和式の所が多い！ 男子トイレの汚物入れが無い
- 加治木支所にエレベーターが無い。
- 公共建物（役場など）エレベーター無しの所の改善

・「就労」について

- 施設辞めて他の会社に行き、仕事が上手くいかずに見捨てられたような状態の方がいて心を痛めましたので、出来るだけ見捨てないように援助して行ってほしいです。
- 就労継続支援で利用者本人が「頑張りたい、こうありたい」という気持ちが置き去りにされ、「会社で働くとはこうある事だ！」とそこばかりに注力され、利用者がベースアップする時間が損なわれ、心折れて他の支援施設へと転々とし、「自分は障がい者だから何も出来ない」と思わざるをえない場面が多くみられる。売り上げ、数字も勿論大切。本人達も売り上げ実績作って認められたい気持ちをしっかりサポートし、育み、自信を持って社会に出られる環境作りが必要と感じます。
- 私は進行性の難病です。以前は出来た事が日々出来なくなっています。勤め先に恵まれて、今は在宅勤務で働く事が出来ていますが、在宅勤務をしているのは鹿児島では私だけです。いつまで働けるのか日々考えてしまいます。企業の障害者雇用だけでなく、少しでも長く障害者が働けるような環境作りを、自治体としてもサポートしていただければと思います。元気な頃は始良は住みやすいと感じてましたが、障害が進むにつれ、健常者にとっては住みやすい街と思うようになりました。
- 早速ですが、問 8 についての「将来についての気になること」で、何よりも就職・就労のことです。「早く元気になって働きたい」これが率直な気持ちです。しかし、病気になって回復してきて、もう大丈夫かな…、(資格を取ったり等) 次のステップへ進もうと思っている矢先、再発し…、また療育…。これの繰り返しでとても焦っています。再発を繰り返すたびにどんどん自信を失ってしまい…。年齢的なことも焦りの原因になっています。通勤のことも視野に入れて、始良市内で働きたいと思っています。病気であること(あったこと)を理解していただける職場環境であることを切に願っています。また、「収入」につきましても、働くことができれば解決するのでは…と思っています。行政に何もかもおんぶに抱っこは思っていません。自分がまた元のように元気になり働くことが出来れば、上記の収入+親も安心し、全てがよい方向に行くのでは…と思っています。
- 就労については給与面、又、途中障害でも仕事復帰が出来る仕組み(環境整備・周囲の理解・生きようとする気持ちを大事にする)(生きがい)。

- 就労出来ても正社員は厳しく、パート、バイトでは生活が苦しい。同じ年代の方達に比べ、3分の1の収入ではギリギリか赤字。頑張るだけ格差に虚しさを感じる。仕事場にも理解されない。体調への配慮、就労時間、勤務日数など。どれだけ頑張っても扶養の関係で収入は上がり終まい。障害者だからこの程度でいいだろう、文句を言うな的な風潮。健常者のみ幸せに暮らし、障害者は惨めな暮らし。この貧富の差が納得出来ない。2にも申し訳無いと思う。いつも色々と不安を抱え先が見えない暮らしでは無く一般的レベルの普通の暮らしがしたい。
- 障がい者の職安の場所、始良市でも可能になるようにしてほしい。遠くまで行かないといけないのは納得できない。

・「必要な情報の入手、情報の提供」について

- 障害の程度に合わせた具体的支援が簡単に分かる図示した物等のパンフレットがあれば、支援等に必要な手続き漏れが無くなると思う。
- その人に合った情報を教えてほしい。役所の方も聞かない限り教えて下さらないように思う時がある。後で知ってエーッと思う事があります。
- もう少し福祉制度の内容等を知りたい。
- 健常者目線での障害者への福祉サービスなど。予算や絶対数が少ないので個々の対応が難しいのはわかりますが、ホームページなどで分かりやすく福祉サービスなどを詳しく検索できるようにしてほしいです。例えばゴミ処理ですが、足が悪い人はどうすれば良いでしょうか？何とか燃えるゴミは捨てる事が出来ても、資源ゴミなどは、車を停めて収集場まで歩いて持ち運ぶのが困難な人はどうすれば良いでしょうか？HPを検索しても答えは見つけれませんでした。
- 現在の身体の状態が年齢と共にどう変化するか、身体が自分で動かせるか解らない。環境が悪化していく予想の中で、公共から受けられる福祉サービスの情報を入手していきたい。（自分自身の管理が病気の悪化又は高齢によって1人で出来なくなる不安がある）
- 現状は車の運転をして通院・買い物等の用事を済ませられるが、運転出来なくなった時の公共機関の事がわからない。それぞれの地区に合った交通等の事案を教えてほしい。例えば、この地区の人の病院に行く方法（タクシーを呼ぶしかない・バスがある etc.）
- もう少し誰でも見れるようなPR・広告などがあれば嬉しいです。特に情報が少なく、取り組みが遅いと思います。

・「将来の不安、後見人のこと」について

- 現在は透析を受けていますが、日常生活は自分で出来ているため、大きな不自由は感じておりません。しかし、徐々に体力も低下し、今後どうなっていくのか不安は拭えません。今の病院で治療出来るのか、今の病院で治療出来なくなったらどうなるのか等。市からの様々なサービス（申請書類提出時の対応等）には感謝しております。ありがとうございます。
- 私達親が無くなってからの事が心配です。働く事も出来ないのに障がい者年金だけでやっていけるのか…。障がい者年金もうちはこれからですが、1級は中々貰えないと聞きます。働けないのに足りるのか聞くと、ギリギリで、自分の欲しい物はとても買えないと聞きました。心配でたまりません。障がい者がもう少し暮らしやすい世の中になってほしいです。

- 障がい者も介助（介護）する家族も年々体力が落ち、先々の不安を感じる事が増えてきました。
- 人工透析を受けています。体調のすぐれない時が多々あります。将来の生活が不安です。
- 本人 56 才ともなりますと、家族（父 86 才、母 83 才）で今後どうして生きて行くか心配の毎日です。この子が1人になった時の事を毎日心配しております。
- 両親も高齢（77 歳・78 歳）で、年金生活の為、極力迷惑はかけられないので、そのような面でも「働くことができて＝収入」を強く望んでいます。 親の介護につきましても、現在健康に過ごしておりますのでありがたいですが、今後「8050問題」とも言われるように、まさに直面するのではと思っています。自分が元気になるないと、介護すること、面倒をみることも困難になってくるので、1日でも早く回復できるように努力しています…。
- 私は訓練等給付金を受けています。そのため、体調が優れないながらも仕事ができます。ありがとうございます。今後お金の事、結婚をしていないので将来身寄りがないための保証人の問題など、不安は大きいです。特に病院にかかる時などの保証人をどちらか公的機関や NPO 法人が対応して下さると安心なのですが…

・「障がい福祉の制度」について

- 1年1年の認定書類の提出も大変。色々な検査提出も小さな病院で出来なく、鹿児島県の病院に行く予約とかで提出しなかった。
- 問題点は多すぎて言う気にもなれない。要望もありますが、手続きが面倒であり福祉制度を利用する気にならない。
- 行政サービスは基本「高齢者ファースト」なので、自治体等は障がい者を町の障害者として見ていないような気がする
- 障害を持たれている方が障がい者支援施設から高齢者施設に移行の際に、もう少しスムーズに移れるようになってほしい。
- 障がい者手帳のサイズ見直し→カードサイズへ。持ち歩く時に定期券・IC カードと一緒にしたいがサイズが大きい。
- 障害年金の額を通常の給料同様に 11～12 万程度にしてほしい。

・「アンケート」について

- 「調査ご強力のお願い」の表紙自体の文字の大きさが、老人、障がい者がどのような身体的状況であるか、配慮出来ていない。
- 長い文章、内容が難しい
- 長い文章難しいです。
- このようなアンケートで意見を聞く機会を作って頂き有難かったです。これからも意見を聞いてどんどん取り入れて頂けると嬉しいです。この度はこのようなアンケート調査を行っていただき心より感謝申し上げます。
- 封筒にのり付けシールを貼ってくださると助かります。

・「医療費」について

- 医療費助成もとても有難いです。が、毎月書類提出のため市役所へ出掛けるのは障がい者家族の負担になります。医療機関の窓口払い時に手続き出来ないものか…。
- 重心医療費を自動償還してほしい。
- 現在、(病院での)窓口負担を1割にさせていただいていることが、大変助かっています(精神通院時)。
- 片手で何でもしないとならないから、肩が凄く凝るので、月に2回鍼をしに通院に行くので、半額になれば助かります。
- 医療費助成金の金額の明細が欲しい。医療費助成金と医療機関での自己負担金の領収書の内容が一致しない。確定申告の医療費控除を受ける為に必要だが、今後は医療費控除を受ける事は無いと思うので、助成金の明細も必要ないかな?…でも少しもやもやも残るかな?

・「障がいによる症状」について

- 日常生活で困っている事は片付け、整理が出来ない事。
- 「現在の体調、病状について」今まで再発した中でも1番ひどいのではないかと感じています…。いつも崩れる時は、夜ふかしもしていないのに朝起きれなくなり、昼頃やっと起きるという状態でした。ここ2年余り、夕方にやっと起きれるレベルで、このことにより「昼夜逆転の生活」になってしまいました…。狂った体内リズムはなかなか元に戻らず、これでもか…というくらい色々な方法を試していますが、なかなかです…。ここ半年くらいは特に1日おきにしか起きれず、1日おきに夜1食、食事を摂っている状態です。このことにより体重が10kg程落ちてしまいました。人間の生活リズムとして「朝起きて、夜寝る」「1日3食の食事を摂る」ことが出来れば、回復に大きく近づくと考えています。今それが出来ずにとっても苦しい毎日です。このアンケートも体調の比較的良い時に、少しずつ書いていました。しかし、3/27までに投函できず本当に申し訳ございませんでした。(参考)現在、夜中3:30です。
- 病気(精神病)は、精神的にしんどかったり、心理的にきつい時があります。

・「災害時のこと」について

- 始良図書館が災害時の避難場所になっているが、実際に自宅からどの位時間がかかるか計ってみた。しかし、図書館に着いたら、屋上の入口に鍵がかかって入れない状態。これでは避難場所にする意味がない。災害はいつ起こるかわからないので考えてほしい。
- 以前台風で市全体に避難を勧める事があった時に、福祉避難所の有無をお聞きし、「無し」だったためこれからは開設出来るようお願いしました。しかし、その後どうなったのか…。「住みたい市」であるためには、是非障がい者にもやさしい住みやすい市であってほしいです。
- 自然災害時の避難は特に四肢不自由な者にとって大変です。台風の度に自宅で災害時に備えて過ごしています。災害時の場所の案内を以前教えてもらいましたが、遠く不安です。何か障がい者本人家族に安心出来る様な防災マップが欲しいです。

・「交流できる場所、居場所」について

- 車椅子生活者もレクリエーション等、楽しむ場があればと思ったりします。
- 余暇活動できる場所や機会が欲しい。
- 異性との出会いの場
- 同土繋がれる機会や場所の充実

・その他

- 少しでも障がい者家族がほっとして暮らせる市をお願いします。
- 物価上昇のため生活が苦しいです。
- 養護学校まで遠く、子供の負担が大きい。あまりにも問題が多くて短絡的に見るのは難しい。
- 介護認定に要する時間の短縮を考えてほしい。
- 自分が脳出血の病気にかかりました。もう20年近くかかっています。
- 高齢者は増えてきます。これに対してどう市が対策をどうとってくれるか1番問題です。
- 障害早期発見の充実。子に障害ある理由で離婚した人がいます。逃げた旦那は養育費払ってないみたいです。海外みたいに口座の差し押さえ、裁判所の許可がないと再婚、転職、引っ越し出来ない様に出来ないの？義務を果たさないで自由ばかり望まないでほしい。

【障がい児調査】

問. 障がい福祉の各種制度・問題点、障がい児（者）を取り巻く環境の改善等についてご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

・「必要な情報の入手、情報の提供」について

- 学校や教室に、発達障害（自閉症、ADHD、ダウン症など）のお友達について知ることができるシリーズの本が、いつでも手に取れる場所にある環境も大きかなと思います。
- 発達ゆっくりでも受け入れてくれる園の情報が欲しい。情報なくて困っています。
- 就学前から健診時に保健師さんに話を聞いていただいたり、子どもに合った療育施設をすすめていただいたりして、十分支援を受けられたおかげで、現在本人が小学校でも大きな困り事なく過ごせているので、早めに相談する重要性を実感しています。ただ、まわりの子育てをしている方と話をすると、子どもの発達に関して不安があっても、本当に支援が必要か分からない、相談のハードルが高いという話を聞いたり、療育施設の存在を知らないと言われたりもするので、もっと施設の情報や療育の内容が細かく知れる方法があればいいなと思います。
- 障がいがあり介助が必要でも、入りやすい保育園を増やしてほしい。そしてその情報を広めてほしい。障がいがあり介助が必要でも、入りやすい保育園を増やしてほしい。そしてその情報を広めてほしい。障がい児を受け入れてくれる保育園とその障がい児を繋いでくれる人がいたら助かるのに。
- 障がいのあるお子さんがいるご家庭に対して、積極的に市から情報提供をしていただきたいと思います。我が家も含めてですが、何を相談してよいのかもわからない時がありました。その子の年齢に合わせた福祉サービスについてなど、その都度声掛けしてもらえたらとても助かります。弱い立場の人に優しい社会になってほしいです。頑張ってください。
- 福祉サービスに対しての情報が少ない。リーフレットもないので何があるのか分からない。明確に表示や表現されているものが極端に少ない。
- 情報が知りにくいので、もっといろいろな方法・手段があることを保護者が知れると、子どもも生きやすくなると思います。
- 障がい児が利用できる福祉などを、そのような情報に触れにくい環境にある人でも情報収集できる仕組みを充実させてほしいと思います
- 障がい児を育てていく中で、お金が必要だが、仕事をフルタイムでできない為、金銭的なサービス情報が欲しい。
- 目に見えない障害、特に ADHD なんかもその程度にもかなりの個別差があり、受けられる福祉サービスも多くはない。その保護者に対するケアもほぼ無いように思う。あるとするなら、それらが広まっていない、または認知度が低いのではないかと。日常生活は送れるものの、日々成長するはずのスピードがゆっくりで、義務教育を終えたあとの先が見えない。支援学校に通っていないこどものサポートや、情報発信がまだまだ弱いと思う。

・「福祉サービス」について

- 各施設での連携がむずかしい送り迎えや面談等、保護者の負担が多く、利用したくてもできない
- 前項目で記載したが、夫婦ともにシフト制で就労しているため、放デイへの送迎対応が負担になっている。送迎のできる事業所が増えてほしい。又、今の事業所を継続して利用できるよう、送迎サービスが別に欲しい。
- とても感謝しています。市の発達相談の方、ネクサスの〇〇（個人名のため伏字）さん、虹の家さん、ピースさん、フラットさん、みなさんがとてもとても温かく、みなさんが優しく、私たち親子は支えられています。正直、心中を考えていました。でも、こんな私たちにも親身になって、良い方向に前向きに寄りそってくださり、私もしっかりしなきゃ！と思いました。
- 放デイの支給日数をせめて 25 日に増やしていただきたい。小学校に入ると病院のリハビリを大体の子が卒業させられるため、放デイで同等のケアができるように、すべての事業所に専門の先生を配置していただきたいです。はなうた（事業所）さんの〇〇先生（個人名のため伏字）のような方が増える事を望みます。
- 24 時間付きっきりになるので、短期入所施設がもう少し増えてくれればありがたいです。
- 重度の障害児が通うデイサービスや生活介護の施設が少ないと思います。障がい児を持つ親も働きたい人はいると思うので、子供が通う所を作って、親も安心して働けたらな…と思う事があります。あと、ショートステイができる場所が少ないので作ってほしいです。
- 発達障害（医療ケアがある）という理由で預け先の確保が難しく、母親が正社員として働くことをあきらめざるを得ない状況があります。レスパイト施設、療育施設の充実が図れ、利用できる場所があること、うまく組み合わせることができるならば、長く続けていた仕事を諦めたり、子育てに詰まることもないのではないかと思います。レスパイトについては、保育園の代わりに使う事ができるなら、自己負担額がいくらか発生しても良いのではないかと思います。
- 福祉サービスについて大変有難く思っています。家庭も頑張ろうと思えます。
- 保育園では、怒られたことやお友達とのトラブルなどネガティブな情報しかなく、私もストレスに感じていましたが、療育では子供の個性をしっかり見てくれ、ほめていただくことも多く、子どもも楽しく通っています。正直、電話での話やミーティング等「面倒くさい」と思っていたところもありますが、子どもが日々楽しく過ごしているのを見て、私のストレスも少し減ったように思います。担当して下さっている皆様に感謝しています。ありがとうございます。

・「教育・保育」について

- 小学校の入学前健診など発達障害の子は、集団の中へ行くことも難しいため配慮してもらいたい。実際に我が子の時、グループでの行動、移動は大変だった。
- 発達障害があるというだけで保育園の入園を断られたり、あからさまに嫌な態度で対応されたりする園があるそうです。発達ゆっくりのクラスなど、新たに増設していただきたい。（療育園等ぜひ作ってほしい）
- 通級指導教室にも1年間お世話になりました、子どもに合った支援を即座に取り入れてくださり、本人の成長につながりました。もっと今日教室数が増える事を願っています。

- 我が家の場合、9歳の子が ASD のグレーゾーンの子どもです。検査を（WISC）受けて「ASD を強く示唆する」と書かれた書面を頂きました。自宅でも言葉を選んで色々な努力の結果、生活もなんとか進みます。学校で、特別支援級に入級しましたが、なかなかうまくいかず、ストレスもあり、家でも乱されてしまいます。支援級の先生が、教員 1 年ほどのキャリアだったようで、なかなかのようです。障がいという診断を受けていない分、「勝手」（自分勝手）という言葉は何度も言われて、子どももその言葉しか頭に残らないようでした。支援級に、支援の先生は…。1年目の支援級の先生にあと1人補助がついていただけるといいのかなと思いました。家で頑張って療育先で頑張っても、学校で乱されるとつらいです。
 - 学校での学習について、補習という形でもいいので、ゆっくりペースの学びに対してのサポートが欲しい。今度6年生になるが、中学校での学習がさらに心配である。
 - 始良市に発達障害・知的障害の子の特別支援学校がほしいです。牧之原はスクールバスがありがたいことにありますが、出来ることなら、始良市内のどこかにあったら、自家用車で送迎したいなど。でも始良市にはとても感謝しています。
 - 支援学校を勧められますが、遠いので、支援学級に行かせています。支援学校が行きやすい場所にあれば良いと思います。
 - 障がい児(者)だけに視点をあてることも大切ですが、兄弟のお世話や預け先、通い先、保護者の仕事等の生活背景も視野に入れて支援や配慮が欲しい。軽度の子、グレーゾーンの子は通常の子供達とあまり変わらない生活・制度の中に居るため、負担はそれなりにあるが養う為に親は働かなければならない。世間的な保育園問題の中に障がい児を抱えた親まで放り込まないで。
 - 療育事業所、学校、家庭との連携がなかなか難しい。
 - 学校のバリアフリー化をもっと進めてほしい。
- ・「相談対応、手続き、障害年金」について
- 福祉にお金がかかるのはわかるが、必要な補助具の申請がなかなか通らない。車イス使用者はどここの駅を利用すればいいのか。重心医療も子供医療費のように役所に領収書の提出をしなくても済むようにして欲しい。
 - 1歳半健診、2歳半健診など療育に通っている子どもや、発達に悩んでいる子ども、相談している子どもに限り、時間を別で対応していただきたいです。実際に私が、他の定型の子どもと比較して落ち込んでしまったり、特性により初めての場所が苦手な息子は終始ずっと泣いており、とても疲れしました。疲労しかない。もう私、健診には連れていかないと。そういった特性に配慮していただけるなら連れて行きます。それくらい大変でした。ぜひご検討よろしくをお願いします。
 - 保育園での子どもの様子を先生から聞いていく中で、私の中で「あれ？やっぱりうちの子おかしいのかな？」と思ったことから、子どもへキツく声をかけることがあり、市役所からの電話でご相談する流れになりました。私としては、やっぱり大丈夫なのでは？と思っていましたが、保健師の方や臨床心理士の方のすすめもあって、現在の担当のケアマネジャーさんや療育事業の方にお世話になっています。
- ・「交流の場、居場所、楽しめる場」について
- 遊ぶ場所が少ない。

- すき間なくフェンスでしっかり囲まれた出入口が1か所のみ、かつユニバーサルデザインの公園を、是非ご検討お願いいたします。ラバー材の地面など、足が不自由な子どもたちも動きやすい空間や、外遊びの経験と命の危険をてんびんにかけながら、緊張とストレスで過ぎる時間ではなく、少しはその場の方と笑顔で共有できる時間の中、安全な場で、子どもを見張るのではなく、見つめる過ごし方をいつかしてみたいです。 ※障害の有無に関係なく、赤ちゃんを抱えたお母さんが兄妹を連れていく際や、双子の親の方にとっても助かると思います。
- 買い物や外食の時など子どもが動き回ったり、叫んだり、暴れたりするため、他の方に気を遣いゆっくり行くことができません。この場所やこの時間は気を遣わずゆっくりしていよ、という所があればいいなあと思います。
- 発達障害の子のペースで通えるスポーツクラブがあったら、通わせてあげたいです。そして、できることがあったら本人も自信が付き、成人になって社会で前向きに生かせられたらと思う。

・「障がい者への理解」について

- 発達障害は目に見えない分、中々周りに理解されることは難しいです。もう少し周りの理解が得られればもっと過ごしやすいのかなと思います。
- 保育園や学校等の先生方の知識や経験などがまだまだとぼしく、否定されたり、情報提供しても、対応してくれなかったりすることがまだまだある。うちの子も、療育に通うことを保育園の園長先生から否定されり、保育中に療育に行ったら、その日は戻ってこないよと言われたり保育園の学童を利用できなくなったりした。現場はまだまだこんな状況です。
- 目に見えない障がいとなると、保護者でも理解に苦しむこともあります。それでももっと周りの理解が少しでもあれば、保護者や子の支援につながるのかなと思う。また、支援級の先生だけでなく、通常級の先生にも、もう少し理解してほしいと願います。
- 療育手帳を持っていないと理解されにくくいくら説明してもわかって貰えない。グレーゾーンでももう少し理解して頂けたら学校生活も普段の生活もとても過ごしやすくなると思います。

・「障がい福祉の制度」について

- 始良市の障害福祉に大変お世話になっています。オムツのサービスや療育・児発などなど。私が宝くじで10億当たって市に寄付出来たらな…、お世話になっている療育・児発・計画事業所にも寄付出来れば…と思うくらい感謝しております。意見・要望としては障害児に関わるお仕事をされている方々の賃金を上げてほしいです。様々な特性を持った子の保育はとてつもなく大変で精神・体力の疲弊はすさまじいです。私は、もし福祉のサービスを受けれていなかったら、子どもを殺めていたと思います。療育や児発でちょっと預かってもらい、子と距離を取れたおかげで、心が安定しました。これからも始良市で子育てしたいなと思います。ありがとうございます。
- 始良市はとても充実した支援やサポート、サービスがあると思います。財源、予算等あると思いますが、障害福祉関係のお仕事をされている方への給与が上がってほしいと思います。

- 今後もハンディキャップのある方々、子どもが生活しやすい制度の構築などができればと思います。

・その他

- 小学校は2年生まで公立学校に行かせました。3年生から牧之原養護学校へ通い、今月卒業します。これまでの12年間、7度の手術を頑張り、そのたびに仕事を辞めざるを得ず、子ども親も必死でした。入学したら卒業できることが当たり前と思っていた自分を反省しました。寝たきりの生活、車椅子の生活、我が子にさせてしまっ、ほんとに申し訳なく思う時もあります。今、仕事をしていますが、日中は上の子が見てくれる現実、早く学校に通える日常を取り戻したいです。長々失礼しました。
- 両親ともに共働き家庭なので、生活していく上で必要な、金銭面的にも子どもに合わせた支援があると助かります。靴：大きくなったから新しいのを買う¥1500→すぐ大きくなって使えなくなる→また新しいのを買う¥1500、すぐにだめになる→指定のものを買う¥3600、中学校など指定のもの高いです。くつ、シューズ、体育館シューズ、靴下、ズボン、下着、パンツ、筆箱、えんぴつ、消しゴム、メガネ、右利き・左利き用ハサミ、彫刻刀、傘、チリ紙、タオル、これ以外にも子どもに合わせて買わなければならない。学校に行くため、必要なものを買うなどで、とても生活に苦勞しています。消しゴム1つ買うのを細かく計算して家計簿をつけてしないと、やりくりが大変です。
- もう少し精神系の医療費（薬代）が安くなる制度などあったらうれしい。3割負担でも精神系の薬は高く、子どもにかかる病院代は、一部返ってきてても、月4万払って5000円返ってきてても、家計はきつい。そんな子が一人だけない場合、月に出ていくお金がほぼ薬代で、電気・ガス・水道を払ったら、おむつ代も残らない月もある。
- 成年後見制度は、一度利用すると途中でやめる事が出来ないため、不正とかトラブルがあると聞くので、制度の見直しをしてほしい。

資料編

1 障がい者調査・調査票

18歳以上の障がいに関する手帳をお持ちの方、難病患者の方
自立支援医療、障害福祉サービスを受給している方

第3次始良市障がい者計画

第7期始良市障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画

策定のためのアンケート調査

調査ご協力のお願い

日頃から、始良市の市政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では現在、「第2次始良市障がい者計画」「第6期始良市障がい福祉計画及び第2期
始良市障がい児福祉計画」の見直しを行い、新たに、「第3次始良市障がい者計画」「第7期
障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画」の策定に向けた取り組みを進めています。そ
こで、このたび市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握
し、計画策定に必要な基礎資料を作成するためのアンケート調査を実施することになりました。
調査対象となる方は、市内にお住まいの障がいに関する手帳をお持ちの方、難病患者の方
及び療育を必要とするお子様の保護者の方など無作為に選ばせていただきました。

なお、この調査は無記名で回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理されますので、
回答された方が特定されたり、個々の回答内容が明らかになることはありません。調査票は、
始良市個人情報保護条例に従い、適切に管理いたします。他の目的で使用することは一切
ありません。

ご多用のところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう
お願い申し上げます。

令和5年2月

始良市長 湯元 敏浩

<ご記入にあたって>

<注意事項>

- このアンケート調査票及び返信用封筒には、ご住所・お名前を記入する必要はありません。また、個人が特定されることはございません。率直なお考えや実情をありのままにお答えください。
- 回答は封筒のあて名の方ご本人についてお答えください。ご本人が記入できない場合には、ご家族や援助者の方などがご本人と相談したり、ご本人の立場に立って回答してください。
- 回答は、当てはまる番号に○を指定された数だけつけてください。また、「その他」に○をつけた場合は、()の中なるべく具体的に記入ください。
- ご記入後は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）にて、
3月27日（月）までにポストに投函してください。
- 今回の調査は、インターネットからも回答いただけます。
以下のURLにアクセスしてご回答ください。
<https://logofrm.jp/form/wy6B/219598>
(右のQRコードからもアクセスいただけます。)



※この調査票の内容についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

あいらし 保健福祉部 長寿・障害福祉課 障害者福祉係
 電話：0995-66-3251（内線123・274）
 FAX：0995-65-6964
 メール：shogai@city.aira.lg.jp

《あて名のご本人についておたずねします》

問1. この調査に回答していただく方はどなたですか。(〇は1つだけ)

1. あて名のご本人 (ご本人が意思表示した回答の代筆者を含む)
2. 家族
3. 施設職員・サービス提供者 (ヘルパーなど)
4. その他

問2. あて名のご本人の年齢をお答えください。

満 歳

問3. 現在、あて名のご本人が暮らしているところはどこですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅 (持ち家、賃貸、社宅など) 2. 親族や知人・友人の家 3. グループホーム、福祉ホーム
(介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場) 4. 障がい者の入所の福祉施設 5. 病院に入院中 6. 介護保険関係の施設 7. その他 | <p>問4へお進みください</p> <p>問6へお進みください</p> |
|---|-------------------------------------|

問4. あて名のご本人はどなたと一緒に暮らしていますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 配偶者 |
| 3. 父母・祖父母 | 4. 兄弟姉妹 (兄弟姉妹の配偶者を含む) |
| 5. 子ども・孫(子ども・孫の配偶者を含む) | |
| 6. その他の親族 | 7. 友人・知人 |
| 8. その他 | |

※あて名のご本人からみた続柄 (関係) で回答してください。

問5-1. あて名のご本人の介護や支援をしている人はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

介護や支援をしている人 ※あてはまるものすべてに○

1. 配偶者
2. 父母
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）
5. 子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）
6. その他の親族
7. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
8. 施設の職員・世話人
9. 友人・知人
10. その他
11. 介護や支援は必要ない

※あて名のご本人からみた続柄（関係）で回答してください。

問5-1で「11.介護や支援は必要ない」以外を選んだ方におたずねします。

問5-2. 問5-1で○をつけた人のうち、主に介護や支援をしている人の番号を記入してください。

主に介護や支援をしている人の番号（1つだけ） → （ ）

問6. あて名のご本人がお持ちの手帳や障がいについて、あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 身体障害者手帳
2. 療育手帳
3. 精神障害者保健福祉手帳
4. 難病（医療受給者証）の認定を受けている
5. 自立支援医療（精神通院）を受給している

《医療に関する状況についておうかがいします》

問7-1. あて名のご本人は、現在、医療的ケアを受けていますか。

(○は1つだけ)

※医療的ケアとは、病院などの医療機関以外の場所（自宅や学校など）で人工呼吸器や胃ろう等を使用し、日常的に継続して行われる、たんの吸引や経管栄養、気管切開部の衛生管理等の医療行為を指すもので、病气や怪我等の治療のために入院や通院で行われる医療行為は含みません。

1. 受けている
2. 受けていない

問7-1で「1. 受けている」に回答された方におたずねします。

問7-2. あて名のご本人が、現在受けている医療的ケアをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 気管切開 | 2. 人工呼吸器 (レスピレーター) |
| 3. 吸入 | 4. 吸引 |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 6. 鼻腔経管栄養 |
| 7. 中心静脈栄養 (IVH) | 8. 透析 |
| 9. カテーテル留置 | 10. ストマ (人工肛門・人工膀胱) |
| 11. 服薬管理 | 12. その他 |

しょうらい
《将来のことについておたずねします》

とい 問8. あて名のご本人の将来について、ご本人や介護者(介助者)の方はどのようなことが気になりますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校(学校生活・進学先など)に関する事
2. 就職、就労に関する事
3. 買い物や食事など身の回りのことや日々の生活に関する事
4. 住まいに関する事
5. 在宅での福祉サービスに関する事
6. グループホームや入所施設に関する事
7. 障がいの状態や体調面に関する事
8. 収入や年金など金銭面に関する事
9. 親など介護者・介助者亡き後の支援に関する事
10. その他()
11. 特に気になることはない
12. わからない

がいしゅつ
《外出についておたずねします》

とい 問9. 外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 歩道、道路、出入口に段差がある
2. 階段の昇降が困難である
3. 路上に障がい物がある
4. 標識・表示の案内がわかりにくい
5. 点字ブロック・盲人用信号がない
6. 手すりがない
7. 付き添ってくれる人がいない
8. 移動の手段がない
9. 障がい者が使えるトイレがない
10. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である
11. 乗車券の購入・料金の支払いが困難である
12. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい
13. 福祉(介護)タクシーが利用しにくい
14. 障がいがあることや症状について理解されにくい
15. その他()
16. 特にない

問10. ヘルプマークについて知っていますか。また、利用して（持って）いますか。（○は1つだけ）

1. 知っているし、利用して（持って）いる
2. 知っているが、利用して（持って）いない
3. 知らない

問11. 外出時にどのような支援やサービスがあるとよいと思いますか。（○は最も必要と思うもの1つだけ）

1. 外出時の介助者の派遣
2. 電車やバス、タクシー運賃の補助
3. 施設の入園料・入場料の補助や割引
4. 交通や施設のバリアフリー情報
5. イベントや遊ぶことのできる場所についての情報
6. その他（)
7. 特に必要な支援やサービスはない

《ふだんの生活と就労についておたずねします》

問12-1. あて名のご本人は、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。

(主なもの1つに○)

1. 働いている(常勤、非常勤、アルバイト、パートなど)
2. 作業が中心の施設に通っている
(就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援)
3. 身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通っている(自立訓練)
4. 生活リズム・生活習慣の維持が中心の施設に通っている(生活介護)
5. デイサービスに通っている
6. 家にいる
7. その他()

問12-1で「1. 働いている」に回答した方におたずねします。

問12-2. どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他()

問13. 今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい(続けたい)
2. 仕事はしたくない(やめたい)、できない

問14. 障がい者への就労支援として、どのようなことが必要だと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮
4. 勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること
5. 在宅勤務の拡充
6. 職場の上司や同僚に障がいの理解があり、職場で介助や援助等が受けられること
7. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
8. 企業ニーズに合った就労訓練
9. 仕事についての職場外での相談対応、支援
10. その他 ()
11. 特にない

《福祉サービス等についておたずねします》

問15. 福祉サービスを利用するときに何か困ったことがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 日程や時間が合わず、サービスが使えなかった
2. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった
3. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い
4. どの事業所が良いのかわからない
5. 利用方法、契約の方法がわからなかった(わかりにくかった)
6. 利用してトラブルがあった
7. 費用負担があるため、サービスが使づらい
8. どんなサービスがあるのかわからない
9. 事業所情報が不十分
10. その他 ()
11. 特に困ったことはない
12. 福祉サービスを利用したことがない

あて名のご本人が40歳以上の場合にうかがいます。

問16. あて名のご本人は、介護保険において要支援または要介護と認定されていますか。(○は1つだけ)

1. 要支援または要介護と認定されている
2. 認定されていない
3. 認定されているかどうかわからない

《相談相手についておたずねします》

問17. あて名のご本人が生活をしていく上で、悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 知人・友人
3. 同じ病気や障がいのある仲間
4. 会社の人、学校の先生
5. 医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者
6. 福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員
7. 民生委員・児童委員
8. 健康増進課
9. 子どもみらい課(あいぴあ(子ども相談支援センター)を含む)
10. 長寿・障害福祉課(あいか(基幹相談支援センター)、地域包括支援センターを含む)
11. 8～10以外の行政機関の相談窓口
12. 社会福祉協議会
13. 障がい者団体や当事者団体
14. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板
15. その他
16. 相談するところがない
17. 相談するところがわからない
18. 相談するほどの悩みや困ったことはない

《成年後見制度についておたずねします》

問18. 障がいや高齢化などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。また、利用したいですか。
(○は1つだけ)

1. 成年後見制度をすでに利用している
2. どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい
3. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない
4. どのような制度か知らない

《情報の入手方法についておたずねします》

問19. 症状や障がいのこと、自分が使える福祉サービスのことについて、どのように情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市報や市のリーフレット、市のホームページ
2. 家族・親戚
3. 知人・友人
4. 同じ病気や障がいのある仲間
5. 会社の人、学校の先生
6. 医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者
7. 福祉施設・作業所・サービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員
8. 民生委員・児童委員
9. 健康増進課
10. 子どもみらい課(あいびあ(子ども相談支援センター)を含む)
11. 長寿・障害福祉課(あいか(基幹相談支援センター)、地域包括支援センターを含む)
12. 9～11以外の行政機関の相談窓口
13. 社会福祉協議会
14. 障がい者団体や当事者団体
15. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板
16. その他
17. 特に情報を得る機会がない

《災害時の避難などについておたずねします》

問20-1. あて名のご本人は、火事や風水害、地震等の災害時に避難することができるとおもいますか。(〇は1つだけ)

1. 自力で避難することができる
2. 家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う
3. 避難することは難しい
4. そもそも避難しようと思わない
5. わからない

問20-1で「2. 家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う」に回答された方におたずねします。

問20-2. あて名のご本人の避難について、どなたが手伝ってくれますか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者
2. 父母
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹 (兄弟姉妹の配偶者を含む)
5. 子ども・孫 (子ども・孫の配偶者を含む)
6. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
7. 施設の職員・世話人
8. 友人・知人
9. その他

問21. 災害発生時や避難所での生活について、不安に思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 避難所までの移動 | 2. 安否確認をしてくれるか |
| 3. 介助者・介護者がいない | 4. 自分にあった食事や必要な薬の入手 |
| 5. おむつやアルコールなど衛生消耗品の入手 | |
| 6. 医療機器の電源や管理 | |
| 7. 避難先での移乗、移動、排せつ管理の支援や資器材の確保 | |
| 8. 災害発生の連絡や避難所での情報を伝えてくれる人がいるか | |
| 9. 他の避難者が障がいや症状について理解してくれるか | |
| 10. その他 () | |
| 11. 特にない | |

《権利擁護についておたずねします》

問22-1. これまでに差別をされたと感じたことはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問22-1で「1. ある」に回答された方におたずねします。

問22-2. どのような場所や場面で差別をされたと感じましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 学校・仕事場 | 2. 仕事を探すとき |
| 3. 住まいを探すとき | 4. 外出中 |
| 5. 余暇を楽しむとき | 6. 病院などの医療機関 |
| 7. 住んでいる地域 | 8. その他 () |

《障がい者のための取組についておたずねします》

問23. 障がい者が地域で自立して生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談窓口や情報提供の充実
2. 身体機能や生活能力向上のために必要な訓練の充実
3. 日常生活や余暇活動を充実させることができる場の充実
4. 在宅生活に必要なサービスの充実
5. 買い物や通院などの外出に必要な移動支援の充実
6. グループホームなど地域での生活の場の充実
7. 短期入所サービスの充実
8. 入所施設の充実
9. 障がいの早期発見・早期療育体制の充実
10. 障がい特性にあった適切な保育、教育の充実
11. 就労に対する支援の充実
12. 雇用環境の整備
13. ボランティア活動などの地域活動の促進
14. 建物や道路等のバリアフリー化の促進
15. 誰もが利用しやすい交通機関等の整備
16. 障がいや病気に対する理解のための普及・啓発・交流の促進
17. その他 ()
18. 特になし

問24. 障がい福祉の各種制度・問題点、障がい者を取り巻く環境の改善等についてご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

ご記入漏れがないかも一度ご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、
3月27日(月曜日)までにご投函くださいますようお願いいたします。

2 障がい児調査・調査票

児童の保護者用

第3次障がい者計画 第7期始良市障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画 策定のためのアンケート調査

調査ご協力をお願い

日頃から、始良市の市政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では現在、「第2次始良市障がい者計画」「第6期始良市障がい福祉計画及び第2期始良市障がい児福祉計画」の見直しを行い、新たに、「第3次始良市障がい者計画」「第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画」の策定に向けた取り組みを進めています。そこで、このたび市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定に必要な基礎資料を作成するためのアンケート調査を実施することになりました。調査対象となる方は、市内にお住まいの障がいに関する手帳をお持ちの方、難病患者の方及び療育を必要とするお子様の保護者の方など無作為に選ばせていただきました。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理されますので、回答された方が特定されたり、個々の回答内容が明らかになることはありません。調査票は、始良市個人情報保護条例に従い、適切に管理いたします。他の目的で使用することは一切ありません。

ご多忙のところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年2月

始良市長 湯元 敏浩

<ご回答にあたって>

<注意事項>

- このアンケート調査票及び返信用封筒には、ご住所・お名前を記入する必要はありません。また、個人が特定されることはありません。率直なお考えや実情をありのままにお答えください。
- 回答は封筒のあて名の方ご本人について、保護者またはご本人がお答えください。
- 回答は、当てはまる番号に○を指定された数だけつけてください。また、「その他」に○をつけた場合は、()の中になるべく具体的にご記入ください。
- ご記入後は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）にて、3月27日（月）までにポストに投函してください。
- 今回の調査は、インターネットからも回答いただけます。
以下の URL にアクセスしてご回答ください。
<https://logoform.jp/form/wy6B/220542>
(右の QR コードからもアクセスいただけます。)



※この調査票の内容についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

始良市 保健福祉部 長寿・障害福祉課 障害者福祉係
電話：0995-66-3251（内線 123・274）
FAX：0995-65-6964
メール：shogai@city.aira.lg.jp

《回答者についておたずねします》

問1. この調査に回答していただく方はどなたですか。(○は1つだけ)

- 1. 父親
- 2. 母親
- 3. 本人
- 4. 両親以外の家族
- 5. その他

※あて名のお子さんからみた続柄(関係)で回答してください。

《あて名のお子さんについておたずねします》

問2. あて名のお子さんの年齢をお答えください。

満()歳 ※年齢を記入

問3. あて名のお子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 父母・祖父母
- 2. 兄弟姉妹
- 3. その他の親族
- 4. その他

※あて名のお子さんからみた続柄(関係)で回答してください。

問4-1. あて名のお子さんの介助や支援をしている人はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

介護や支援をしている人 ※あてはまるものすべてに○

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1. 父 | 2. 母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. その他の親族 | |
| 6. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者 | |
| 7. 友人・知人 | 8. 近所の人 |
| 9. その他 | |
| 10. 介護や支援は必要ない | |

※あて名のお子さんからみた続柄(関係)で回答してください。

問4-1で「10.介護や支援は必要ない」以外を選んだ方におたずねします。

問4-2. 問4-1で○をつけた人のうち、主に介助や支援をしている人の番号を記入してください。

主に介護や支援をしている人の番号(1つだけ)→ ()

問5. あて名のお子さんがお持ちの手帳や、医師から診断を受けているもので該当するものすべてに○をしてください。

1. 身体障害者手帳
2. 療育手帳
3. 精神障害者保健福祉手帳
4. 難病(医療受給者証)の認定を受けている
5. 発達障がい※
6. 自立支援医療(精神通院・育成医療)を受給している

※発達障がい:自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど

あて名のお子さんが障害者手帳をお持ちの場合にうかがいます。

問8. 障害者手帳が初めて交付されたのはいつですか。(○は1つだけ)

1. 生まれてから幼児期までの時期(小学校入学前まで)
2. 小学校入学後から小学校卒業まで
3. 中学校入学以降

問9. 発達に関する不安や障がいのあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 専門家による相談体制を充実させる
2. 乳幼児の健康診査を充実させる
3. 電話・メールによる相談体制を充実させる
4. 関連するサービスについての情報提供を充実させる
5. 居宅訪問による相談や支援サービスの提供
6. その他()
7. 特にない

《あて名のお子さんの療育・教育についておたずねします》

問12. あて名のお子さんに対する療育や教育、支援について、充実させるべきだ
と思う点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会話などコミュニケーションに対する支援
2. 友達など人との関わり方に対する支援
3. トイレや食事など日常生活に対する支援
4. 言葉や読み書きの指導、補習の実施など学習に対する支援
5. 就労に向けた教育・支援
6. クラブ、部活動などの課外活動
7. 送り迎えなど通所・通園・通学に対するサービス
8. 療育を行う施設の増設
9. 施設や学校の整備
10. 施設や保育所(園)職員・幼稚園教諭・学校教職員のスキルアップ
11. 療育の内容や施設についての情報
12. 医療的ケアが必要な児童・生徒への支援
13. 自宅での療育
14. 費用に対する補助
15. 保護者への支援
16. 放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援
17. その他()
18. 特にない
19. 支援やサービスを受けていないためわからない

《あて名のお子さんの将来のことについておたずねします》

問 13. あて名のお子さんの将来についてどのようなことが気になりますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学校（学校生活・進学先など）に関する事
2. 就職、就労に関する事
3. 買い物や食事など身の回りのことや日々の生活に関する事
4. 住まいに関する事
5. 在宅での福祉サービスに関する事
6. グループホームや入所施設に関する事
7. 障がいの状態や体調面に関する事
8. 収入や年金など金銭面に関する事
9. 親など介護者・介助者亡き後の支援に関する事
10. その他（)
11. 特に気になることはない

《あて名のお子さんとの外出についておたずねします》

問 14. あて名のお子さんと一緒に、またはあて名のお子さんが一人で外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 歩道、道路、出入口に段差がある
2. 階段の昇降が困難である
3. 路上に障がい物がある
4. 標識・表示の案内がわかりにくい
5. 保護者以外の介助者や付き添いがいない
6. お子さんが使えるトイレがない
7. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である
8. 電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい
9. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい
10. 福祉（介護）タクシーが利用しにくい
11. 障がいがあることや症状について理解されにくい
12. その他（)
13. 困ったり不便に感じることはない

《相談相手についておたずねします》

問18. あて名のお子さんのことで悩んでいることや困っていることについて、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 知人・友人
3. 同じ病気や障がいをもつ子の保護者
4. 保育所(園)職員・幼稚園教諭・学校教職員
5. 医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者
6. 通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員
7. 民生委員・児童委員
8. 健康増進課(市の保健センターを含む)
9. 子どもみらい課(あいぴあ(子ども相談支援センター)を含む)
10. 長寿・障害福祉課(あいか(基幹相談支援センター)を含む)
11. 8～10以外の行政機関の相談窓口
12. 社会福祉協議会
13. 児童発達支援センター
14. 障がい者団体や当事者団体
15. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板
16. その他
17. 相談するところがない
18. 相談するところがわからない
19. 相談するほどの悩みや困ったことはない

《成年後見制度についておたずねします》

問19. 障がいや高齢化などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. どのような制度か知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、どのような制度か知らない
3. どのような制度か知らず、名前も聞いたことがない

《情報の入手方法についておたずねします》

問 20. 発達に関する不安や障がいのこと、あて名のお子さんが使えるサービスのことについて、どのように情報を得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報、リーフレット、ホームページ
2. 家族・親戚
3. 知人・友人
4. 同じ病気や障がいをもつ子の保護者
5. 保育所（園）職員・幼稚園教諭・学校教職員
6. 医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者
7. 通所支援事業所などサービス提供事業者の職員、相談支援事業所の相談支援員
8. 民生委員・児童委員
9. 健康増進課（市の保健センターを含む）
10. 子どもみらい課（あいびあ（子ども相談支援センター）を含む）
11. 長寿・障害福祉課（あいか（基幹相談支援センター）を含む）
12. 9～11 以外の行政機関の相談窓口
13. 社会福祉協議会
14. 児童発達支援センター
15. 障がい者団体や当事者団体
16. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板
17. その他
18. 特に情報を得る機会がない

《災害時の避難などについておたずねします》

問 21-1. あて名のお子さんについて、火事や風水害、地震などの災害時に避難することができると思いますか。(○は1つだけ)

1. 自力で避難することができる
2. 家族や近所の人などの支援があるため、避難することができると思う
3. 避難することは難しい
4. そもそも避難しようと思わない
5. わからない

→問 21-1で「2. 家族や近所の人などの支援があるため、避難することができる」に回答された方におたずねします。

問 21-2. あて名のお子さんの避難について、手伝ってくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父
2. 母
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
6. 友人・知人
7. 近所の人
8. その他

※あて名のお子さんからみた続柄(関係)で回答してください。

問 22. 災害発生時や避難所での生活について、不安に思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 避難所までの移動
2. 安否確認をしてくれるか
3. 保護者以外の介助者の確保
4. お子さんにあった食事や必要な薬の入手
5. おむつやアルコールなど衛生消耗品の入手
6. 医療機器の電源や管理
7. 避難先での移乗、移動、排せつ管理の支援や資器材の確保
8. 災害発生時の連絡や避難所での情報を伝えてくれる人がいるか
9. 他の避難者が障がいや症状について理解してくれるか
10. その他 ()
11. 特にない

《権利擁護についておたずねします》

問 23-1. これまでにあて名のお子さんに病気や障がいがあることで、差別をされたと感じたことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある 2. ない

→ 問 23-1 で「1. ある」に回答された方におたずねします。

問 23-2. どのような場所や場面で差別をされたと感じましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. お子さんが通う学校など | 2. 家族が通う学校・仕事場 |
| 3. お子さんや家族が仕事を探すとき | 4. 住まいを探すとき |
| 5. 外出したとき | 6. 病院などの医療機関 |
| 7. 住んでいる地域 | 8. その他 () |

問 25. 保護者や家族の方に対する支援として必要性を感じているもの、又はあれば利用したいと思われるものがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 専門家による障がい児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談
2. 発達障がい児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て経験者の体験談や情報提供
3. 保護者への心理的ケアやカウンセリング
4. 兄弟姉妹児への心理的ケアやカウンセリング
5. レスパイトケア※
6. 障がい特性に関する情報提供
7. その他 ()
8. 特にない

※レスパイトケア：在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス

問 26. 障がい福祉の各種制度・問題点、障がい児（者）を取り巻く環境の改善等についてご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

ご記入漏れがないかもう一度ご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、
3月27日（月曜日）までにご投函くださいますようお願いいたします。

第3次障がい者計画
第7期始良市障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画
策定のためのアンケート調査報告書

令和5年5月

発行 始良市 長寿・障害福祉課
〒899-5492
鹿児島県始良市宮島町25番地
TEL 0995-66-3332
FAX 0995-65-6964
